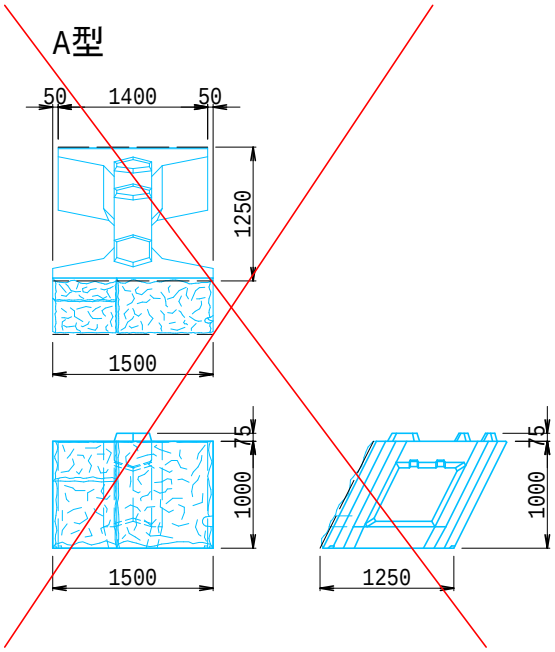
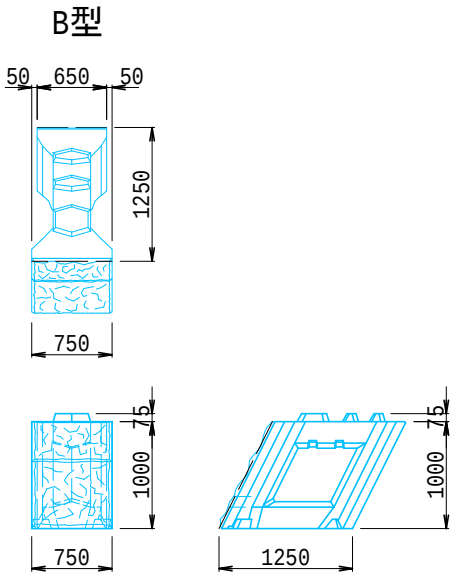
ポーラスホライズンⅡ 125型

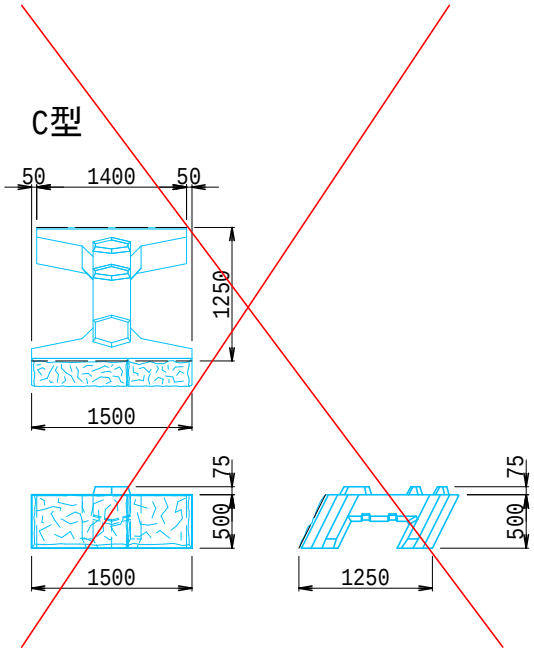
A型



B型



C型



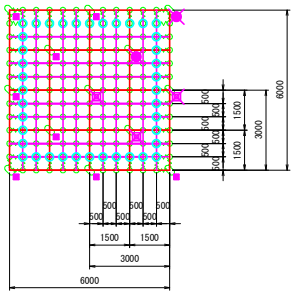
R7_1

ロープ伏展開図(1)　S=1:100

ロープ伏(1)

No. 5-1

A=36.0 m2



高耐久仕様

プラスネット相当品
PSA-12

材 料 明 細 表

A=36.0 m2

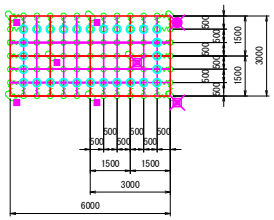
名称		仕様・寸法(mm)		単重(kg)	総重量(kg)	数量	単位	記号
主ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	15.0	30.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	15.0	30.0	m	
補強ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	24.0	48.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	24.0	48.0	m	
巻付グリップ(E型)		12φ用-800	ZA-300	0.6 kg/本	31.2	52	本	
岩部用TSKセメントアンカー		D22(M20)×1000	Znめっき	4.7 kg/本	37.6	8	本	
土被り部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1100 D22(M20)×750	Znめっき	23.4 kg/本	46.8	2	本	
土砂部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1400 D22(M20)×750	Znめっき	25.3 kg/本	75.9	3	本	
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	0.7 kg/個	9.1	13	個	
Vクリップ		(大) 4.0t×109	Znめっき	0.3 kg/個	12.0	40	個	
		(小) 3.2t×92	Znめっき	0.2 kg/個	23.2	116	個	
プラスネット材料		合計			313.8 kg			

※下記割合にて数量算出。
岩部用アンカー：土砂部用アンカー：土被り部用アンカー = 60 : 20 : 20
※アンカーの型式は設置箇所の土質状況により変更とする。
※施工寸法は現地にて適宜調整し変更のこと。

ロープ伏(2)

No. 7-1

A=18.0 m2



高耐久仕様

プラスネット相当品
PSA-12

材 料 明 細 表

A=18.0 m2

名称		仕様・寸法(mm)		単重(kg)	総重量(kg)	数量	単位	記号
主ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	7.5	15.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	9.0	18.0	m	
補強ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	12.0	24.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	12.0	24.0	m	
巻付グリップ(E型)		12φ用-800	ZA-300	0.6 kg/本	24.0	40	本	
岩部用TSKセメントアンカー		D22(M20)×1000	Znめっき	4.7 kg/本	23.5	5	本	
土被り部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1100 D22(M20)×750	Znめっき	23.4 kg/本	23.4	1	本	
土砂部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1400 D22(M20)×750	Znめっき	25.3 kg/本	50.6	2	本	
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	0.7 kg/個	5.6	8	個	
Vクリップ		(大) 4.0t×109	Znめっき	0.3 kg/個	8.4	28	個	
		(小) 3.2t×92	Znめっき	0.2 kg/個	11.0	55	個	
プラスネット材料		合計			187.0 kg			

※下記割合にて数量算出。
岩部用アンカー：土砂部用アンカー：土被り部用アンカー = 60 : 20 : 20
※アンカーの型式は設置箇所の土質状況により変更とする。
※施工寸法は現地にて適宜調整し変更のこと。

平成３０年度		図面番号	12/19
事業名	一般国道423号道路防災測量委託		
道路名	一般国道 423号		
工事名			
施工地名	池田市 伏尾町 知内		
図面名	ロープ伏展開図(1)	縮尺	1:100

大阪府池田土木事務所

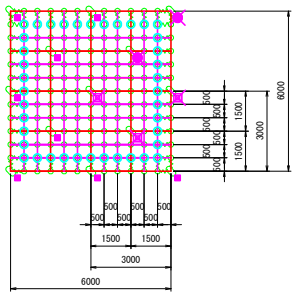
R7_2

ロープ伏展開図(2)　S=1:100

ロープ伏(3)

No. 8

A=36.0 m2



高耐久仕様

プラスネット相当品
PSA-12

材料明細表

A=36.0 m2

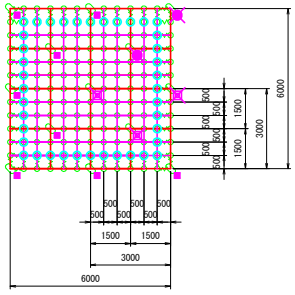
名称		仕様・寸法(mm)		単重(kg)	総重量(kg)	数量	単位	記号
主ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	15.0	30.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	15.0	30.0	m	
補強ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	24.0	48.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	24.0	48.0	m	
巻付グリップ(E型)		12φ用-800	ZA-300	0.6 kg/本	31.2	52	本	
岩部用TSKセメントアンカー		D22(M20)×1000	Znめっき	4.7 kg/本	37.6	8	本	
土被り部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1100 D22(M20)×750	Znめっき	23.4 kg/本	46.8	2	本	
土砂部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1400 D22(M20)×750	Znめっき	25.3 kg/本	75.9	3	本	
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	0.7 kg/個	9.1	13	個	
Vクリップ		(大) 4.0t×109	Znめっき	0.3 kg/個	12.0	40	個	
		(小) 3.2t×92	Znめっき	0.2 kg/個	23.2	116	個	
プラスネット材料		合計			313.8kg			

※下記割合にて数量算出。
岩部用アンカー：土砂部用アンカー：土被り部用アンカー = 60 : 20 : 20
※アンカーの型式は設置箇所の土質状況により変更とする。
※施工寸法は現地にて適宜調整し変更のこと。

ロープ伏(4)

No. 10-1

A=36.0 m2



高耐久仕様

プラスネット相当品
PSA-12

材料明細表

A=36.0 m2

名称		仕様・寸法(mm)		単重(kg)	総重量(kg)	数量	単位	記号
主ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	15.0	30.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	15.0	30.0	m	
補強ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	24.0	48.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	24.0	48.0	m	
巻付グリップ(E型)		12φ用-800	ZA-300	0.6 kg/本	31.2	52	本	
岩部用TSKセメントアンカー		D22(M20)×1000	Znめっき	4.7 kg/本	37.6	8	本	
土被り部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1100 D22(M20)×750	Znめっき	23.4 kg/本	46.8	2	本	
土砂部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1400 D22(M20)×750	Znめっき	25.3 kg/本	75.9	3	本	
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	0.7 kg/個	9.1	13	個	
Vクリップ		(大) 4.0t×109	Znめっき	0.3 kg/個	12.0	40	個	
		(小) 3.2t×92	Znめっき	0.2 kg/個	23.2	116	個	
プラスネット材料		合計			313.8kg			

※下記割合にて数量算出。
岩部用アンカー：土砂部用アンカー：土被り部用アンカー = 60 : 20 : 20
※アンカーの型式は設置箇所の土質状況により変更とする。
※施工寸法は現地にて適宜調整し変更のこと。

平成３０年度		図面番号	13/19
事業名	一般国道423号道路防災測量委託		
道路名	一般国道 423号		
工事名			
施工地名	池田市 伏尾町 知内		
図面名	ロープ伏展開図(2)	縮尺	1:100

大阪府池田土木事務所

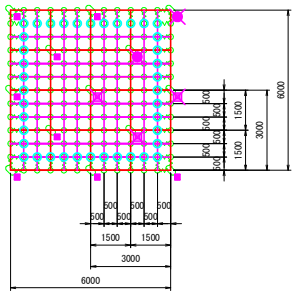
R7_3

ロープ伏展開図(3)　S=1:100

ロープ伏(5)

No.18-1

A=36.0 m2



高耐久仕様

プラスネット相当品

PSA-12

材料明細表

A=36.0 m2

名称		仕様・寸法(mm)		単重(kg)	総重量(kg)	数量	単位	記号
主ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	15.0	30.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	15.0	30.0	m	
補強ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	24.0	48.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	24.0	48.0	m	
巻付グリップ(E型)		12φ用-800	ZA-300	0.6 kg/本	31.2	52	本	
岩部用TSKセメントアンカー		D22(M20)×1000	Znめっき	4.7 kg/本	37.6	8	本	
土被り部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1100 D22(M20)×750	Znめっき	23.4 kg/本	46.8	2	本	
土砂部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1400 D22(M20)×750	Znめっき	25.3 kg/本	75.9	3	本	
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	0.7 kg/個	9.1	13	個	
Vクリップ		(大) 4.0t×109	Znめっき	0.3 kg/個	12.0	40	個	
		(小) 3.2t×92	Znめっき	0.2 kg/個	23.2	116	個	
プラスネット材料		合計			313.8 kg			

※下記割合にて数量算出。
　岩部用アンカー：土砂部用アンカー：土被り部用アンカー = 60 : 20 : 20
※アンカーの型式は設置箇所の土質状況により変更とする。
※施工寸法は現地にて適宜調整し変更のこと。

R7_4

平成３０年度		図面番号	14/19
事業名	一般国道423号道路防災測量委託		
道路名	一般国道 423号		
工事名			
施工地名	池田市 伏尾町 知内		
図面名	ロープ伏展開図(3)	縮尺	1:100

大阪府池田土木事務所

ロープ伏詳細図

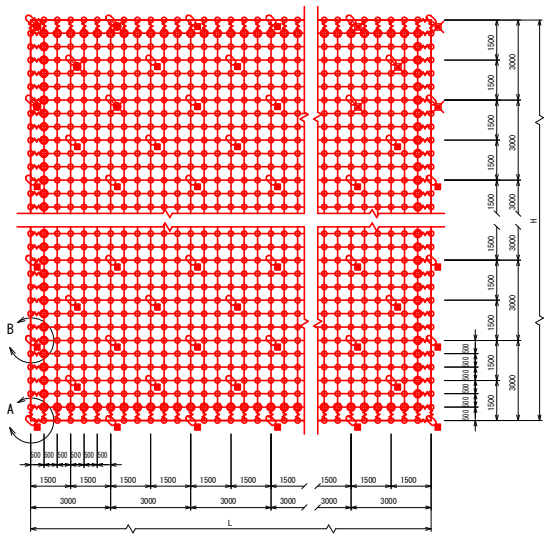
PSA-12

高耐久仕様　「亜鉛－１０%アルミ合金めっき（ジンカールめっき）」

ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛－１０%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類（めっき付着量３５０　）は、溶融亜鉛めっきとしています。

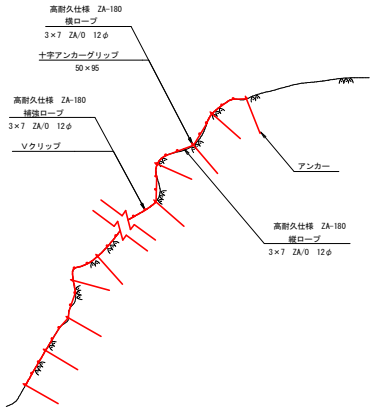
標準構造展開図

S=1/100



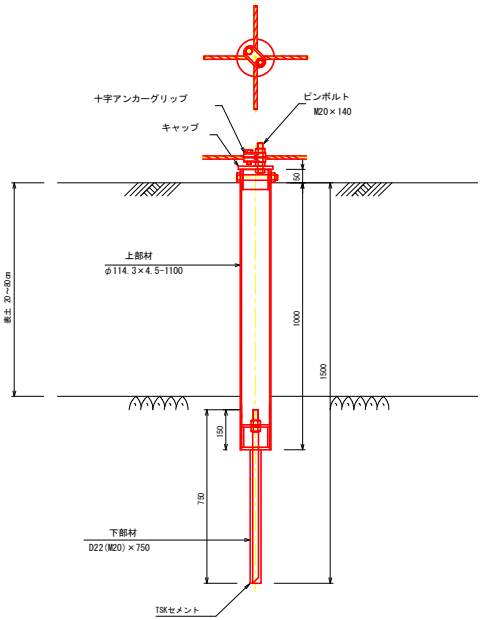
横断図

S=1/100



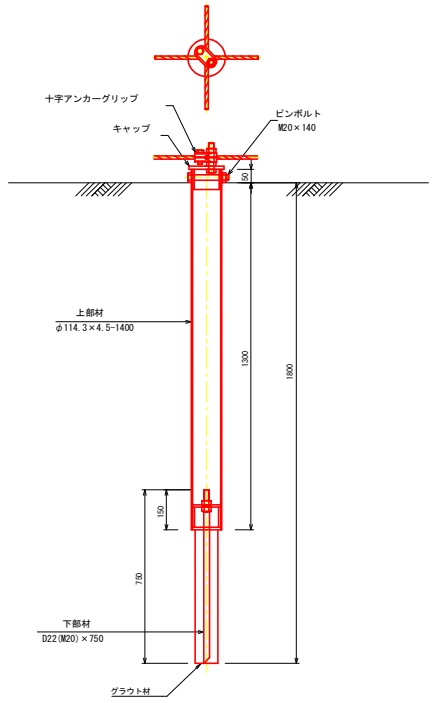
土被り部用TSKブレイクアンカー25

S=1/10



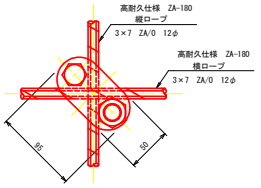
土砂部用TSKブレイクアンカー25

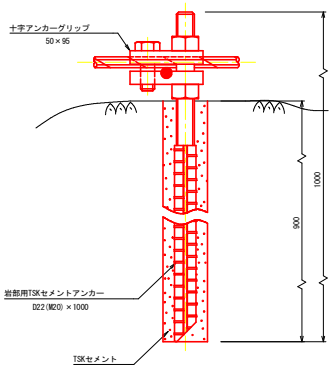
S=1/10



岩部用TSKセメントアンカー　十字アンカーグリップ

S=1/3

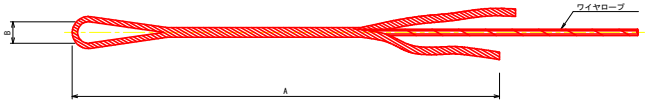




巻付グリップ

S=1/5

高耐久仕様　ZA-300



寸法表

名　称	A	B
巻付グリップ（E型）　12φ用-800	800	40

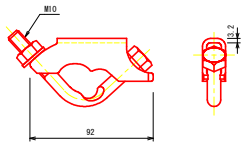
部 品 明 細 表

名　称		仕　様・寸　法（mm）		記号
主ロープ	縦	3×7　ZA/0　12φ	ZA-180	｜
	横	3×7　ZA/0　12φ	ZA-180	―
補強ロープ	縦	3×7　ZA/0　12φ	ZA-180	｜
	横	3×7　ZA/0　12φ	ZA-180	―
巻付グリップ（E型）		12φ用-800	ZA-300	～
岩部用TSKセメントアンカー		D22(M20)×1000	Znめっき	■
土被り部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1100 D22(M20)×750	Znめっき	
土砂部用TSKブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1400 D22(M20)×750	Znめっき	
十字アンカーグリップ		12φ用　50×95	Znめっき	
Vクリップ		(大)　4.0t×109	Znめっき	
		(小)　3.2t×92	Znめっき	

※　表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

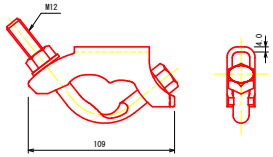
Vクリップ（小）

S=1/2



Vクリップ（大）

S=1/2



R7_5

平成３０年度		図面番号	15/19
事　業　名	一般国道423号道路防災測量委託		
道　路　名	一般国道　423号		
工　事　名			
施 工 地 名	池田市 伏尾町 知内		
図　面　名	ロープ伏詳細図	縮尺	図示

大阪府池田土木事務所

ロープ伏展開図(3)　S=1:50

落石No.25
(A=9.0m2)

材 料 明 細 表

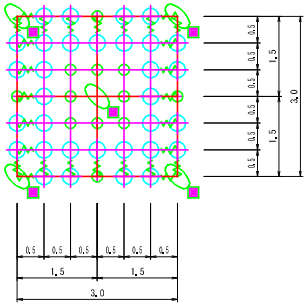
名　称		仕　様・寸　法 (mm)	数 量	単位	割　増	記号
主ロープ	縦	3×7　G/O　12φ　Znめっき	9.5	m	9.0　×1.05	｜
	横	3×7　G/O　12φ　Znめっき	9.5	m	9.0　×1.05	―
補強ロープ	縦	3×7　G/O　12φ　Znめっき	12.6	m	12.0　×1.05	｜
	横	3×7　G/O　12φ　Znめっき	12.6	m	12.0　×1.05	―
巻付グリップ（E型）主ロープ用		12φ用-800　Znめっき	12	本		
巻付グリップ（E型）補強ロープ用		12φ用-800　Znめっき	16	本		
岩部用セメントアンカー		D22(M20)×1000　Znめっき	3	本		■
土砂部用ブレイクアンカー25		114.3φ×4.5-1400 D22(M20)×750　Znめっき	2	本		●
十字アンカーグリップ		12φ用　50×95　Znめっき	5	個		
Vクリップ		(大)　4.0t×109　Znめっき	32	個		⊕
		(小)　3.2t×92　Znめっき	12	個		⊕

※ 下記割合にて数量算出（但し、図中表記はすべて岩部用）

アンカー
岩部用　　-70%
土砂部用　-30%

※ 本図面は概略設計である。施工範囲・アンカー種類等は現地詳細測量後に決定すること。

※ 岩部用・土被り部用・土砂部用アンカーは、せん断方向及び引抜方向に抵抗するアンカーとすること。

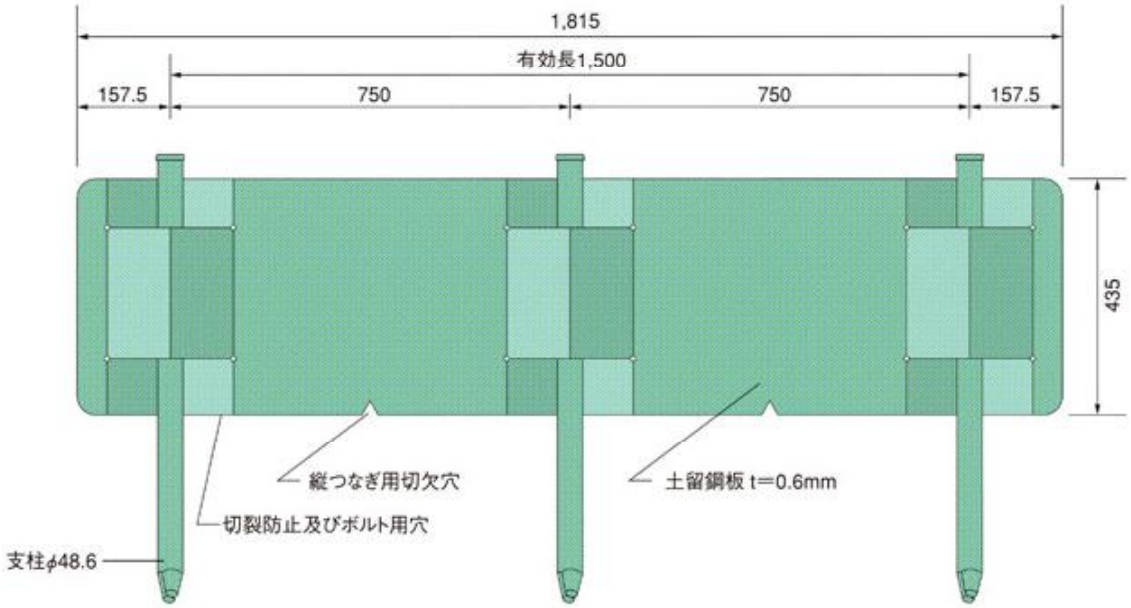


年　度	令和5～6年度	作成年月	令和5年8月
路 線 名	一般府道　島能勢線		
工 事 名	道路防災工事		
施工地名	豊能郡能勢町山田地内		
図 面 名	ロープ伏展開図(3)		
縮　尺	S=1:50	図面番号	33/45
大 阪 府 池 田 土 木 事 務 所			

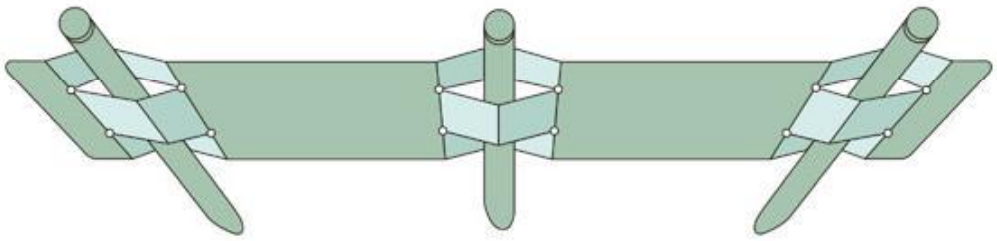
R7_6

土留鋼板

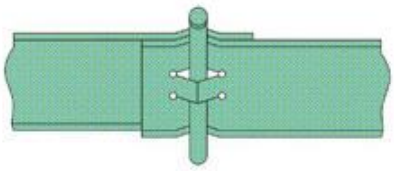
1 寸法図



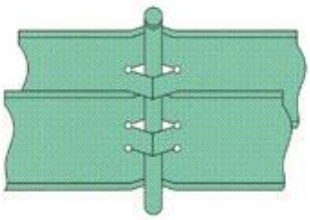
●斜上から見た土留鋼板の構造



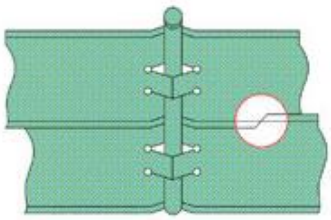
●土留鋼板の継ぎ方にはこんな方法が…



横つなぎの場合



縦つなぎの場合



切欠穴の場合

●土留鋼板の算出方法

本体の数量 P＝延長m÷1.5（端数は切上げ）　支柱の数量 P×2＋1

2 仕様

区　分	記　号	寸　法（mm）	重量kg/枚、本、個
PSW（本　体）	1845	0.6t×435×1815	4.06
PSP（支柱）	4810	φ48.6×1000	2.73
	4815	φ48.6×1500	4.10
	4820	φ48.6×2000	5.46
PSM CAP（鋼製キャップ）	—	—	0.06

※標準は、本体、カラー支柱、鋼製キャップのセット販売となります。

3 カラーコーディネーション

土留鋼板は組み合わせによって、豊富なカラーバリエーションが表現できます。

本体カラー
3色

うぐいす

ダークブラウン

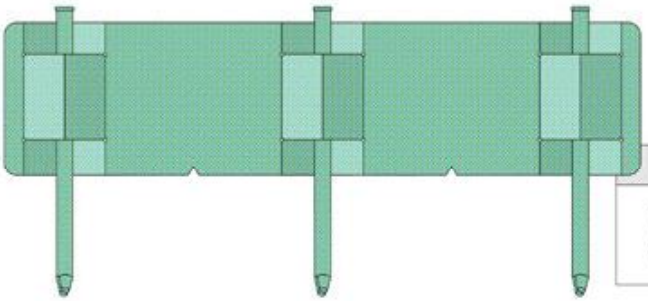
緑

パイプカラー
3色

うぐいす

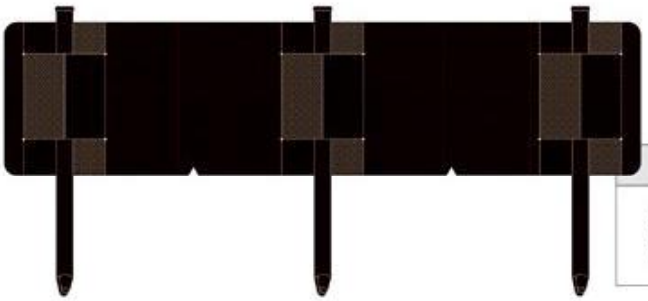
ダークブラウン

緑



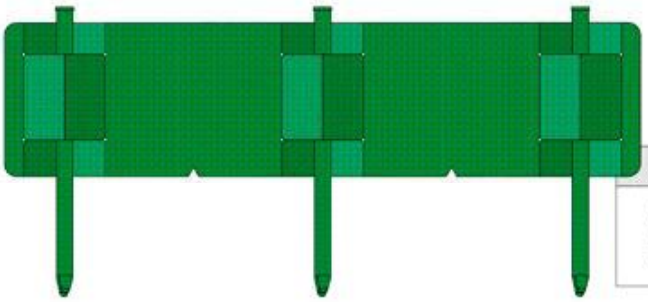
組み合わせ例 1

本体カラー　うぐいす
パイプカラー　うぐいす



組み合わせ例 2

本体カラー　ダークブラウン
パイプカラー　ダークブラウン

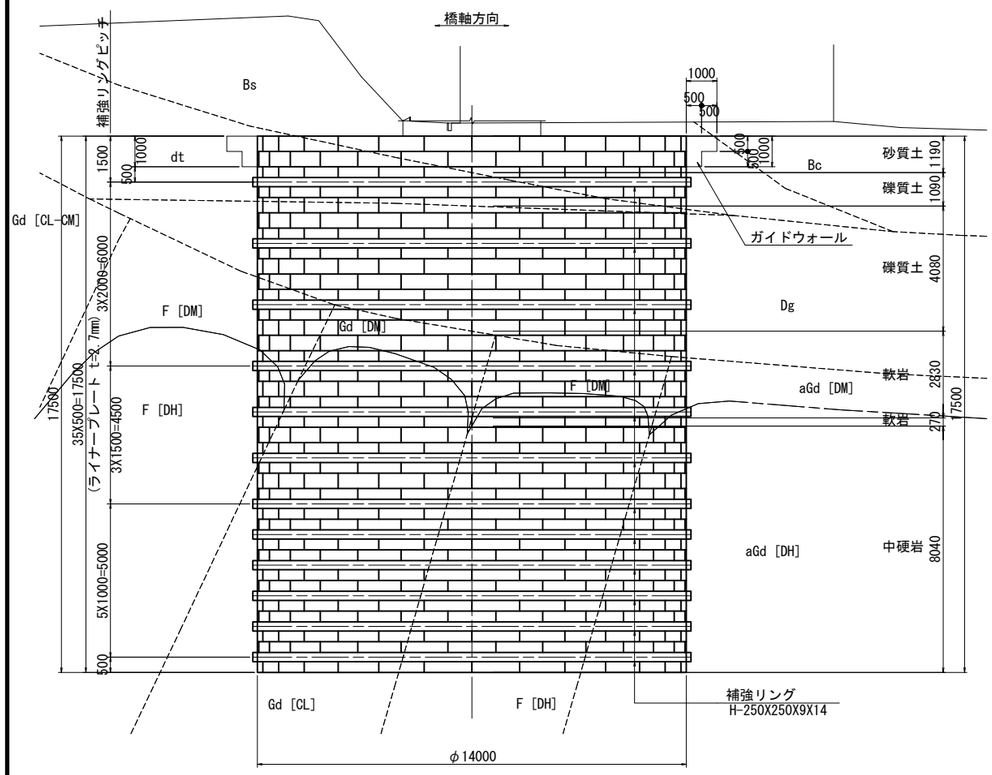


組み合わせ例 3

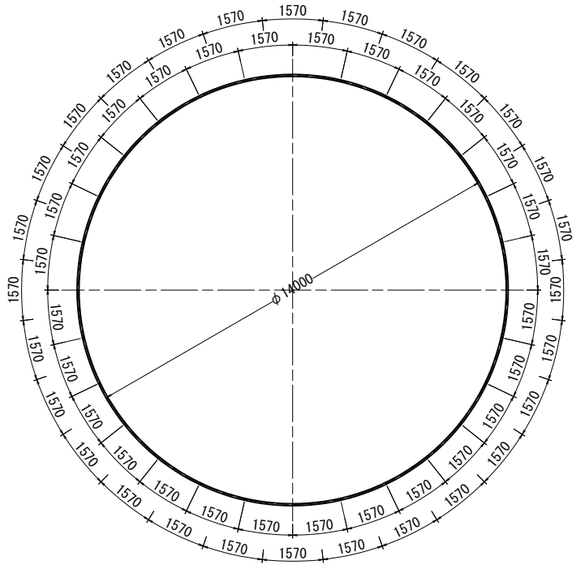
本体カラー　緑
パイプカラー　緑

＊本体カラーおよびパイプカラーは、印刷インクなどから実際の色とは異なります。

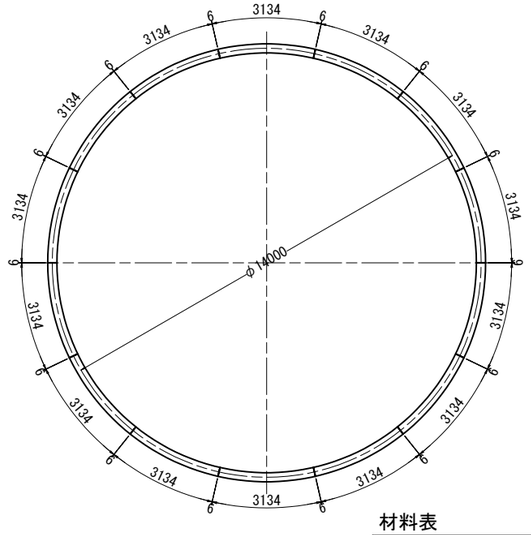
柱状体深礎基礎土留工　S=1:100
φ14000



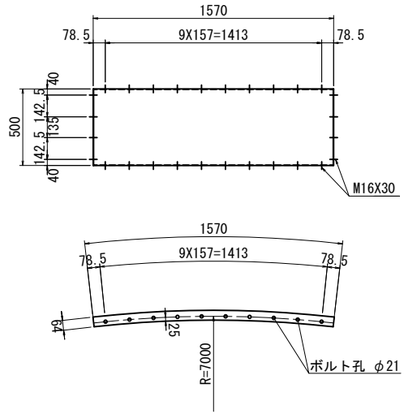
ライナープレート配置図



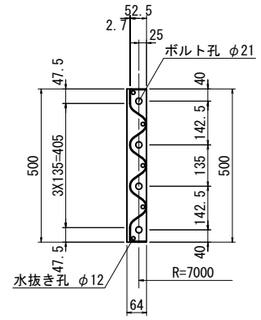
補強リング配置図



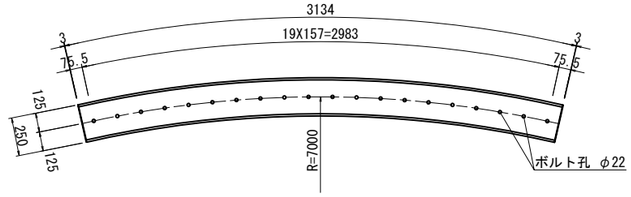
ライナープレート形状図
S=1:20



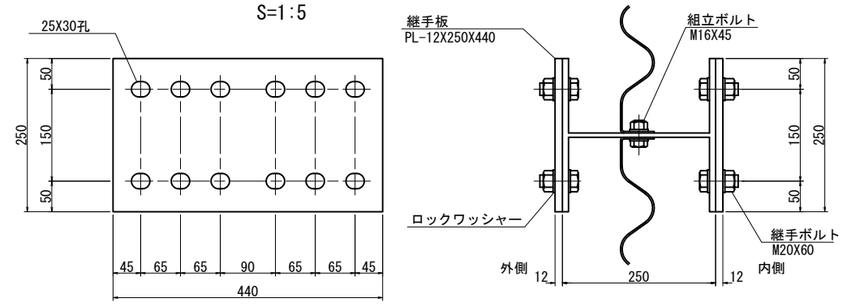
ライナープレート断面形状図
S=1:10



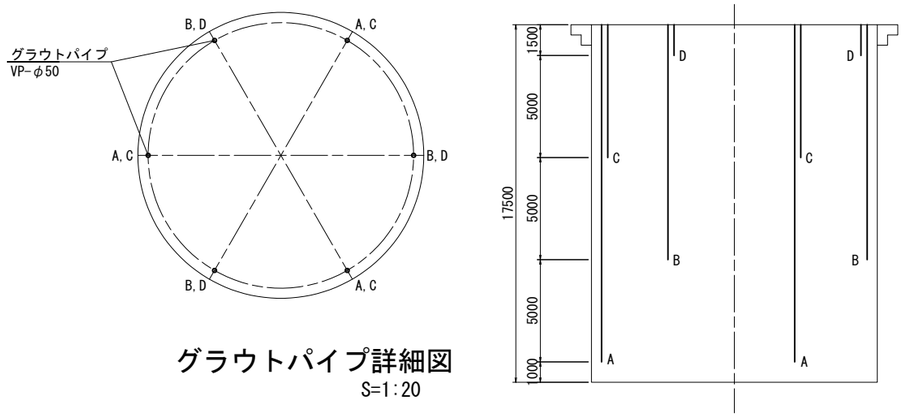
補強リング詳細図
S=1:20



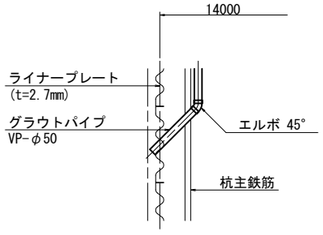
継手板詳細図
S=1:5



グラウトパイプ配置図　S=1:150



グラウトパイプ詳細図
S=1:20

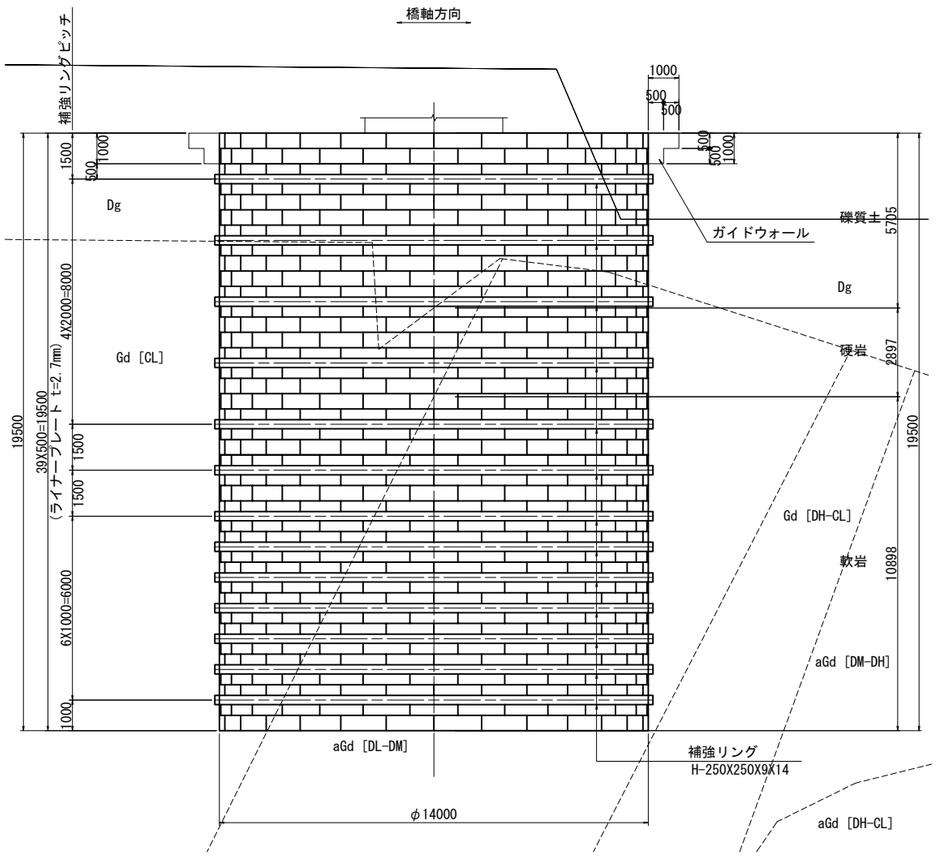


※湧水が多い場合や孔壁崩壊などが生じる可能性がある場合は裏込めを逐次施工する方法を検討する。その場合は，グラウトホールを5～10㎡毎に1箇所設け，通常3リング毎にモルタルを打設する。ただし，著しく自立性が悪い場合は２リングや１リング毎とする。

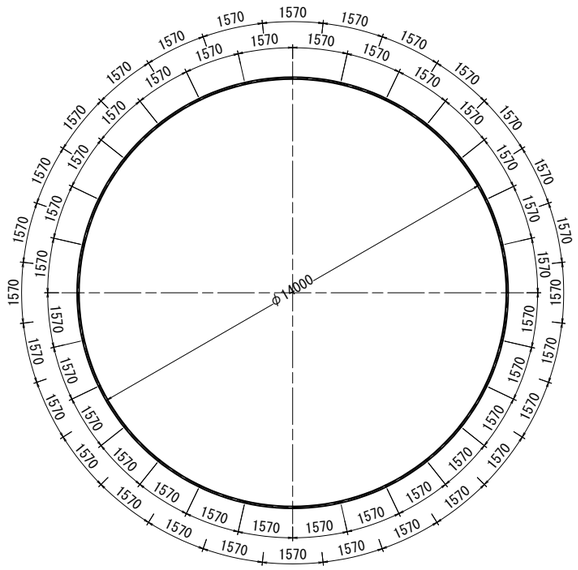
材料表

品　名	サイズ（mm）	単位	数 量	単位質量	質 量	備　考
ライナープレート	P-10　t=2.7	枚	980	26.0	25480	SS330
組立ボルト	M16X30（4.6）	本	10080	0.137	1381	
〃	M16X45（8.8リング用）	〃	3360	0.158	531	
補強リング	H-250X250X9X14X3134	枚	168	225	37800	SS400
継手板	PL-12X250X440	〃	336	10.4	3494	SM490
継手ボルト	M20X60（10.9）	本	5376	0.297	1597	
ロックワッシャー	M20ボルト用	枚	2688	-	-	
合　計					70283 kg	
グラウトパイプ	VP-φ50		108.0 m			
エルボ	45L		12 個			

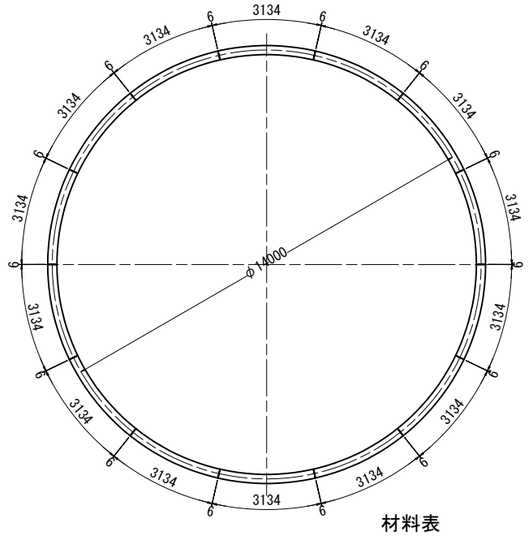
柱状体深礎基礎土留工　S=1:100
φ15000



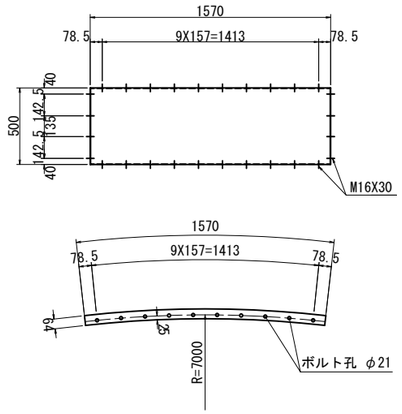
ライナープレート配置図



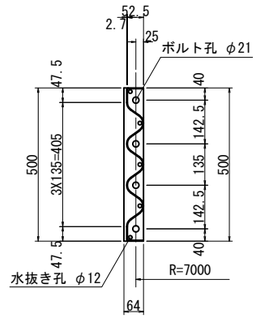
補強リング配置図



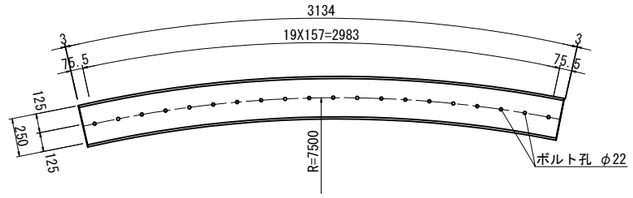
ライナープレート形状図
S=1:20



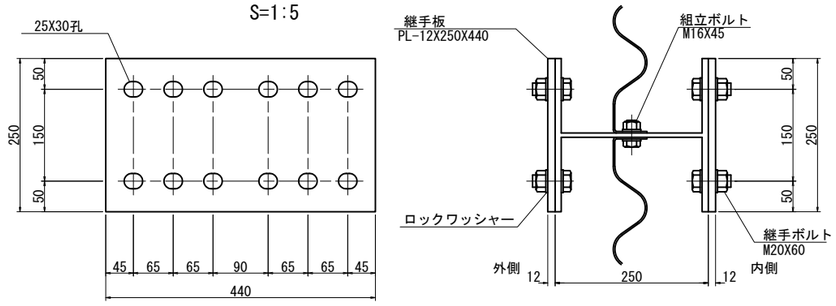
ライナープレート断面形状図
S=1:10



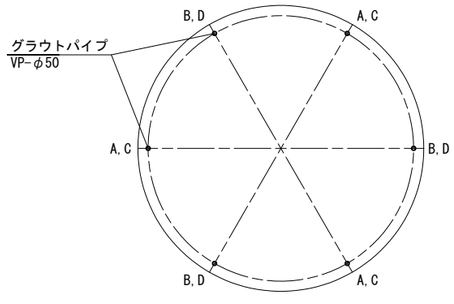
補強リング詳細図
S=1:20

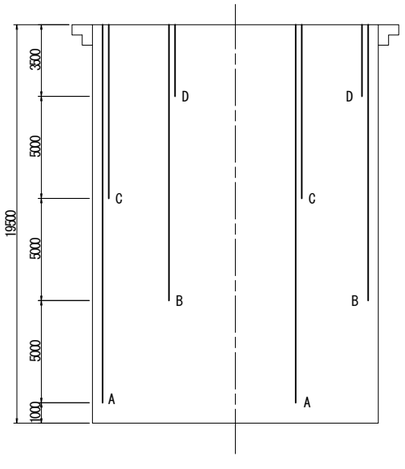


継手板詳細図
S=1:5

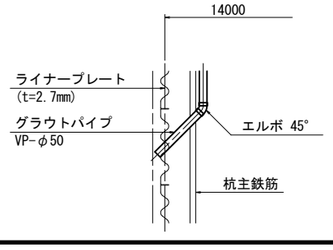


グラウトパイプ配置図　S=1:150





グラウトパイプ詳細図
S=1:20

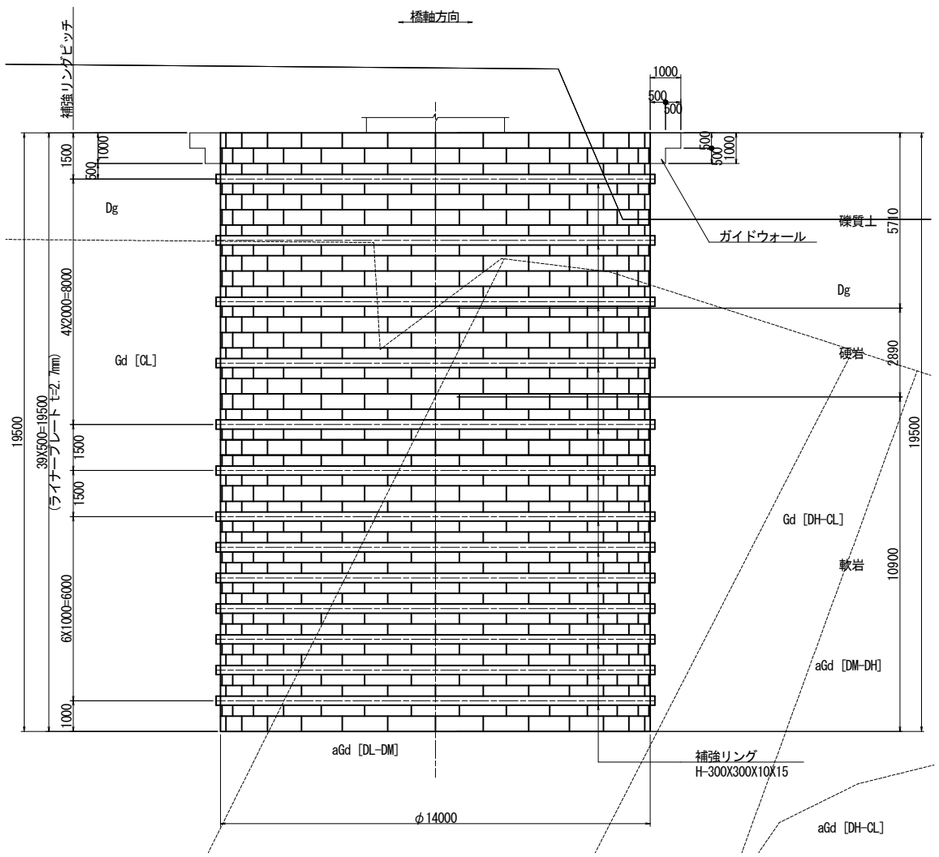


※湧水が多い場合や孔壁崩壊などが生じる可能性がある場合は裏込めを逐次施工する方法を検討する。その場合は，グラウトホールを5～10㎡毎に1箇所設け，通常3リング毎にモルタルを打設する。ただし，著しく自立性が悪い場合は２リングや１リング毎とする。

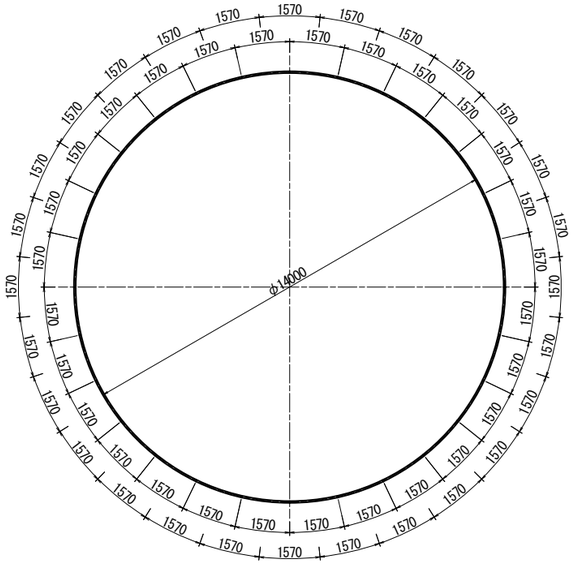
材料表

品　名	サイズ（mm）	単位	数 量	単位質量	質 量	備　考
ライナープレート	P-10　t=2.7	枚	1092	26.0	28392	SS330
組立ボルト	M16X30（4.6）	本	11368	0.137	1557	
〃	M16X45（8.8リング用）	〃	3640	0.158	575	
補強リング	H-250X250X9X14X3134	枚	182	225	40950	SS400
継手板	PL-12X250X440	〃	364	10.4	37856	SM490
継手ボルト	M20X60（10.9）	本	5824	0.297	1730	
ロックワッシャー	M20ボルト用	枚	2912	-	-	
合　計					111060　kg	
グラウトパイプ	VP-φ50		132.0　m			
エルボ	45L		12　個			

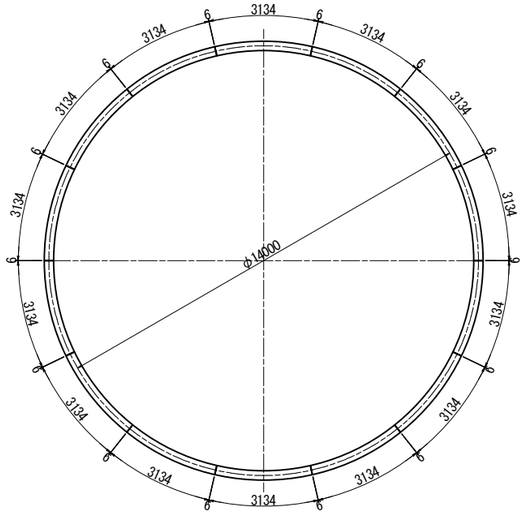
P2橋脚柱状体深礎基礎土留工　S=1:100



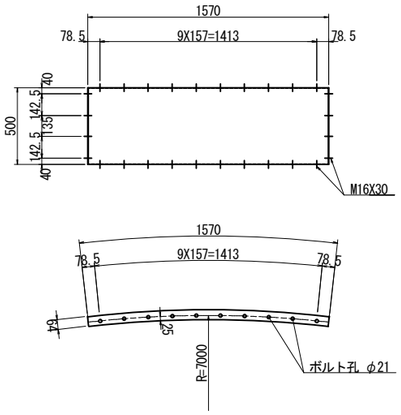
ライナープレート配置図



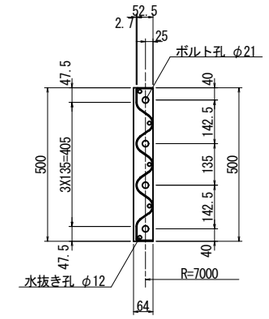
補強リング配置図



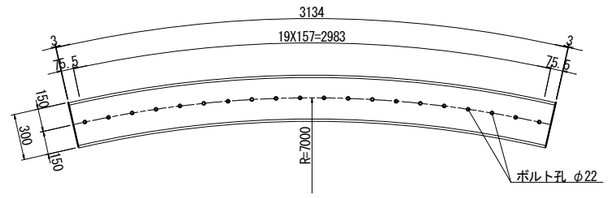
ライナープレート形状図　S=1:20



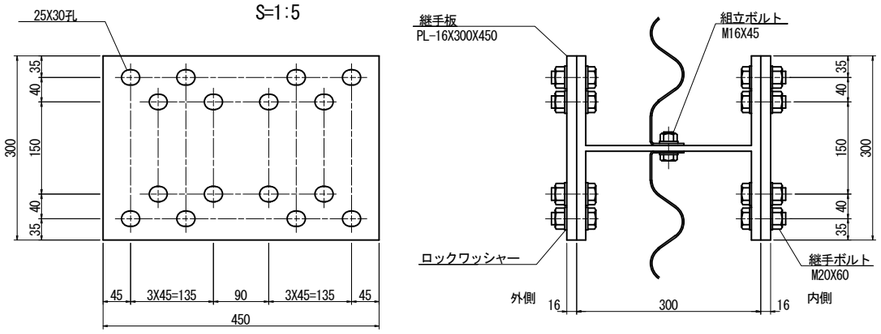
ライナープレート断面形状図　S=1:10



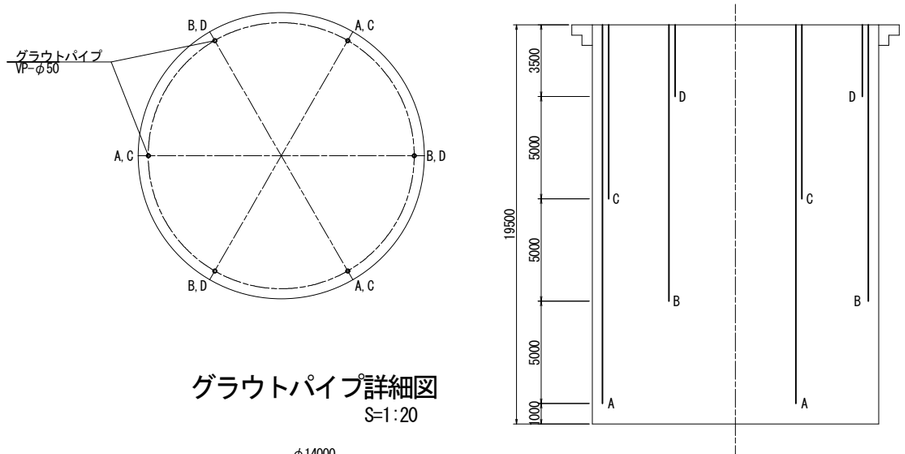
補強リング詳細図　S=1:20



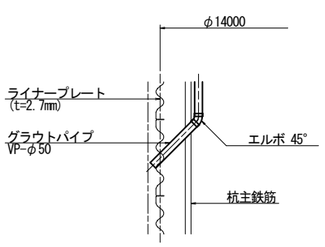
継手板詳細図　S=1:5



グラウトパイプ配置図　S=1:150



グラウトパイプ詳細図　S=1:20



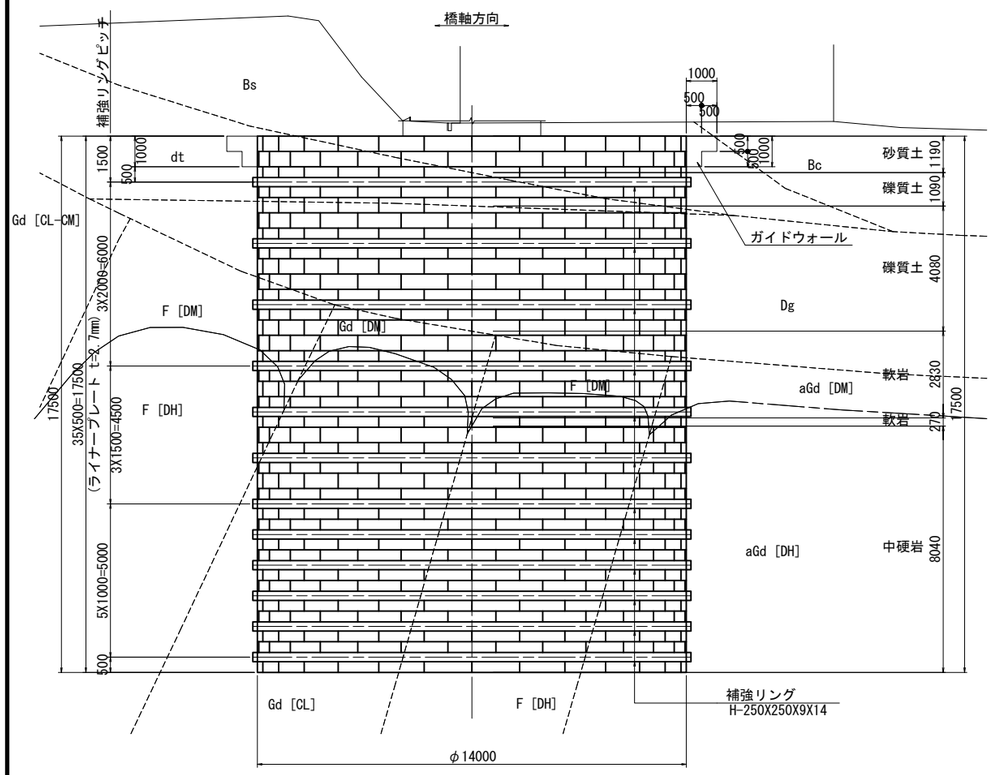
※湧水が多い場合や孔壁崩壊などが生じる可能性がある場合は裏込めを逐次施工する方法を検討する。その場合は、グラウトホールを5~10m毎に1箇所設け、通常3リング毎にモルタルを打設する。ただし、著しく自立性が悪い場合は2リングや1リング毎とする。

材料表

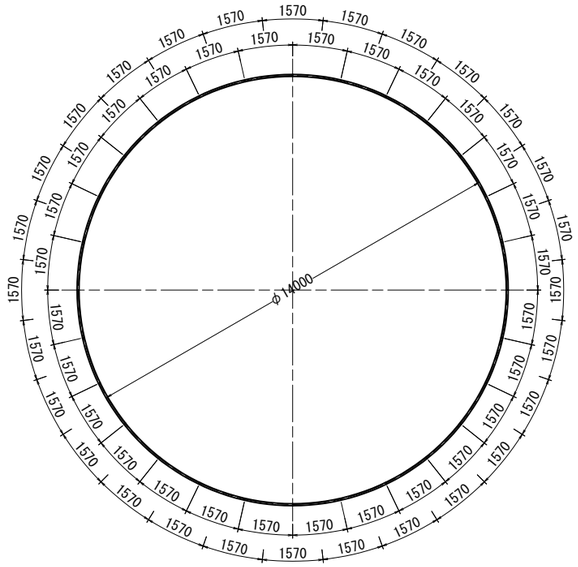
品　名	サイズ（mm）	単位	数 量	単位質量	質 量	備　考
ライナープレート	P-10　t=2.7	枚	1092	26.0	28392	SS330
組立ボルト	M16X30（4.6）	本	11368	0.137	1557	
〃	M16X45（8.8リング用）	〃	3640	0.158	575	
補強リング	H-300X300X10X15X3134	枚	182	291.5	53053	SS400
継手板	PL-16X300X450	〃	364	17.0	6188	SM490
継手ボルト	M20X60（10.9）	本	5824	0.297	1730	
ロックワッシャー	M20ボルト用	枚	2912	-	-	
合　計					91495 kg	
グラウトパイプ	VP-φ50		132.0 m			
エルボ	45L		12 個			

年　度	令和4~5年度	番　号	25/27
路線名	主要地方道 茨木摂津線（茨木箕面丘陵線）		
工事名			
所在地名	茨木市大字佐保地内　外		
図面名	P2橋脚柱状体深礎基礎土留工		
縮　尺	図示	作成年月	令和6年2月
大阪府　茨木土木事務所			

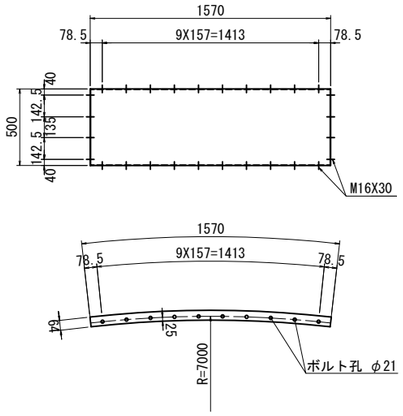
柱状体深礎基礎土留工　S=1:100
φ14000



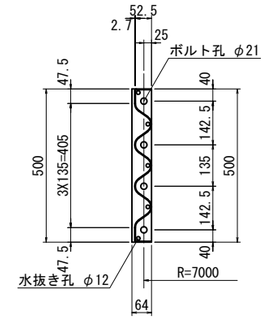
ライナープレート配置図



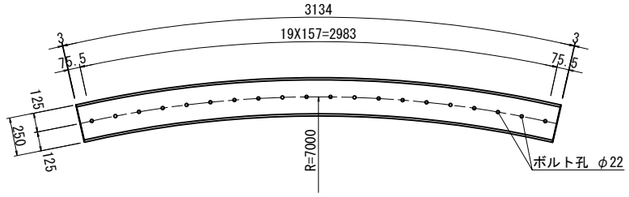
ライナープレート形状図
S=1:20



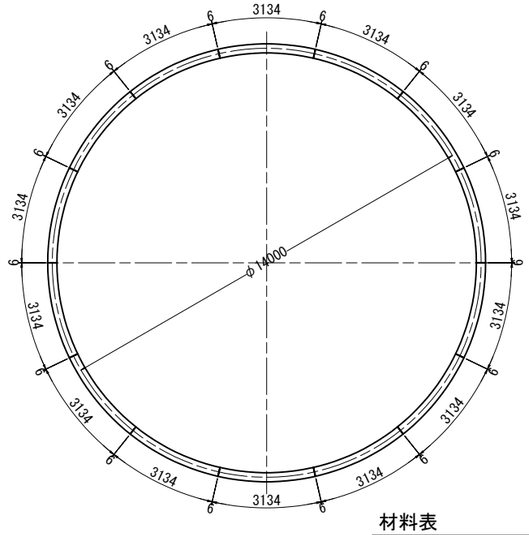
ライナープレート断面形状図
S=1:10



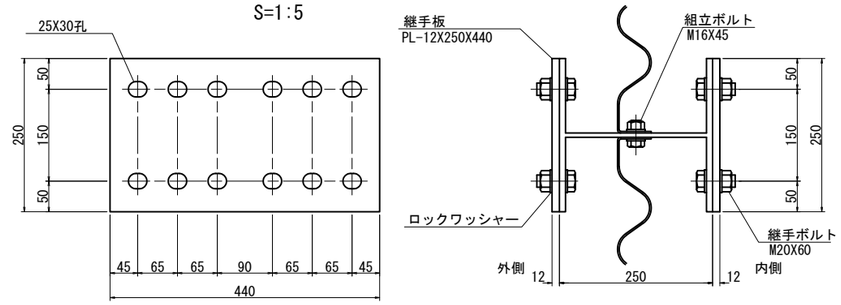
補強リング詳細図
S=1:20



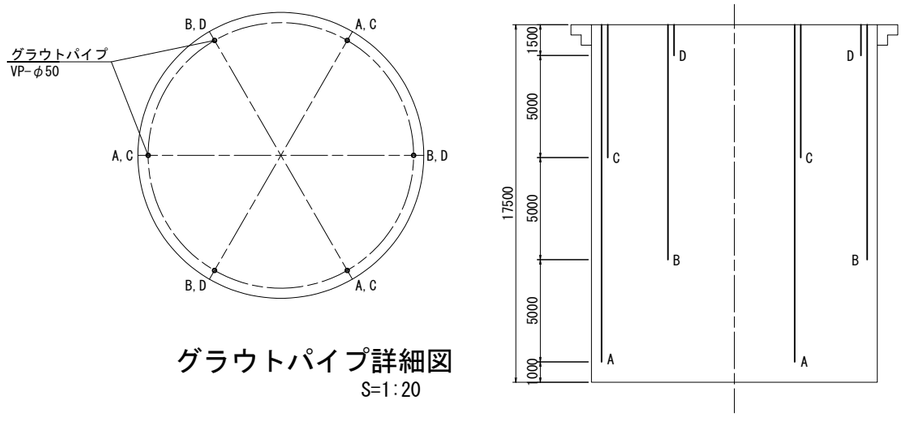
補強リング配置図



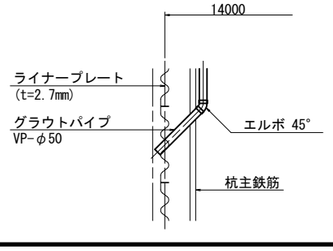
継手板詳細図
S=1:5



グラウトパイプ配置図　S=1:150



グラウトパイプ詳細図
S=1:20



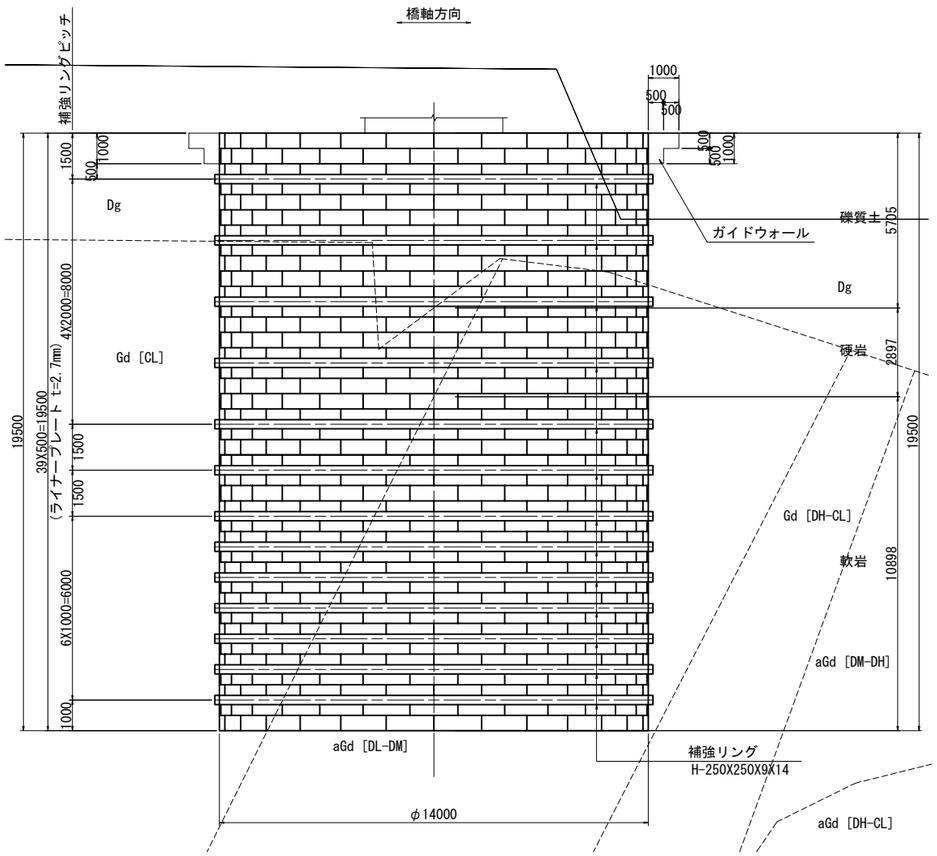
※湧水が多い場合や孔壁崩壊などが生じる可能性がある場合は裏込めを逐次施工する方法を検討する。その場合は，グラウトホールを5～10㎡毎に1箇所設け，通常3リング毎にモルタルを打設する。ただし，著しく自立性が悪い場合は２リングや１リング毎とする。

材料表

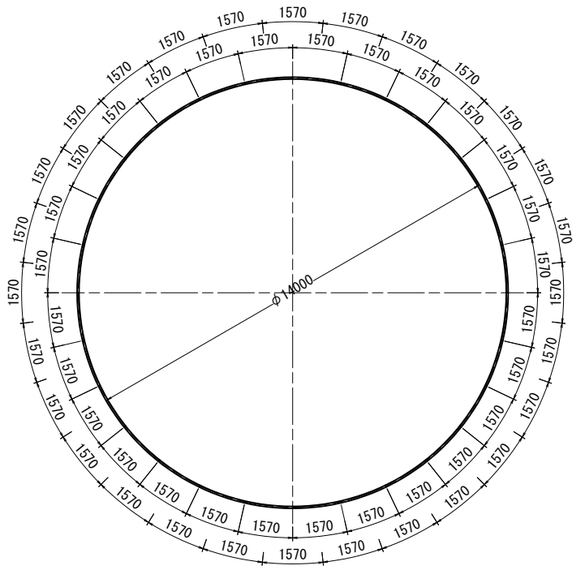
品　名	サイズ（mm）	単位	数 量	単位質量	質 量	備　考
ライナープレート	P-10　t=2.7	枚	980	26.0	25480	SS330
組立ボルト	M16X30（4.6）	本	10080	0.137	1381	
〃	M16X45（8.8リング用）	〃	3360	0.158	531	
補強リング	H-250X250X9X14X3134	枚	168	225	37800	SS400
継手板	PL-12X250X440	〃	336	10.4	3494	SM490
継手ボルト	M20X60（10.9）	本	5376	0.297	1597	
ロックワッシャー	M20ボルト用	枚	2688	-	-	
合　計					70283 kg	
グラウトパイプ	VP-φ50		108.0 m			
エルボ	45L		12 個			

R7_12

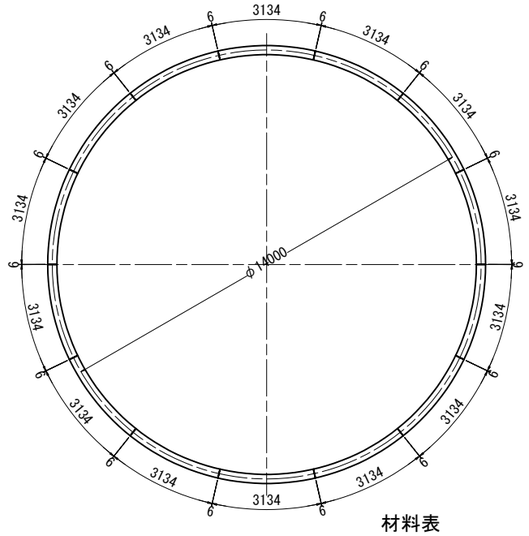
柱状体深礎基礎土留工　S=1:100
φ15000



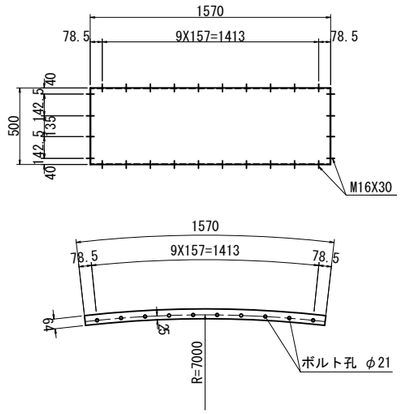
ライナープレート配置図



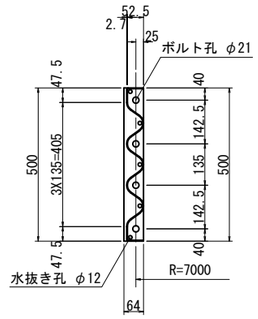
補強リング配置図



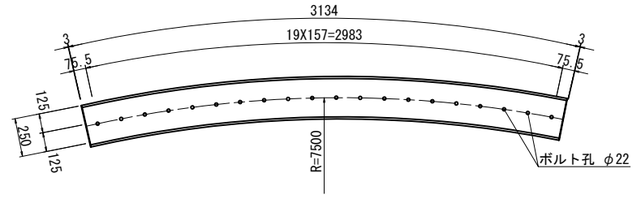
ライナープレート形状図
S=1:20



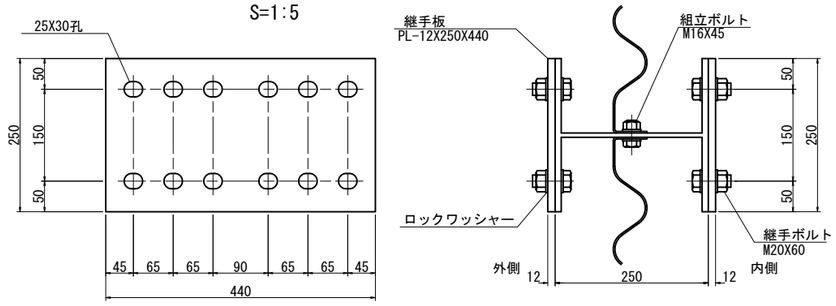
ライナープレート断面形状図
S=1:10



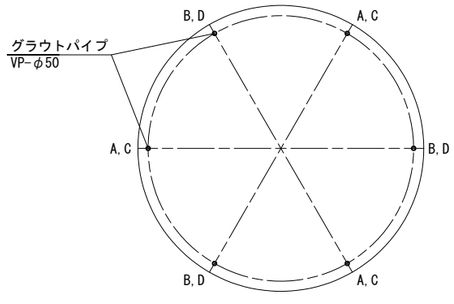
補強リング詳細図
S=1:20

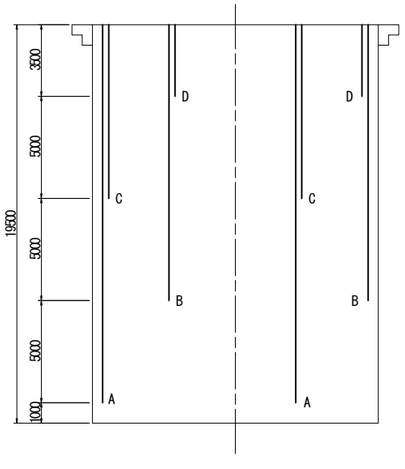


継手板詳細図
S=1:5

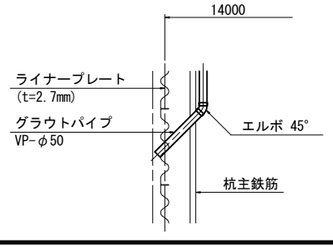


グラウトパイプ配置図　S=1:150





グラウトパイプ詳細図
S=1:20

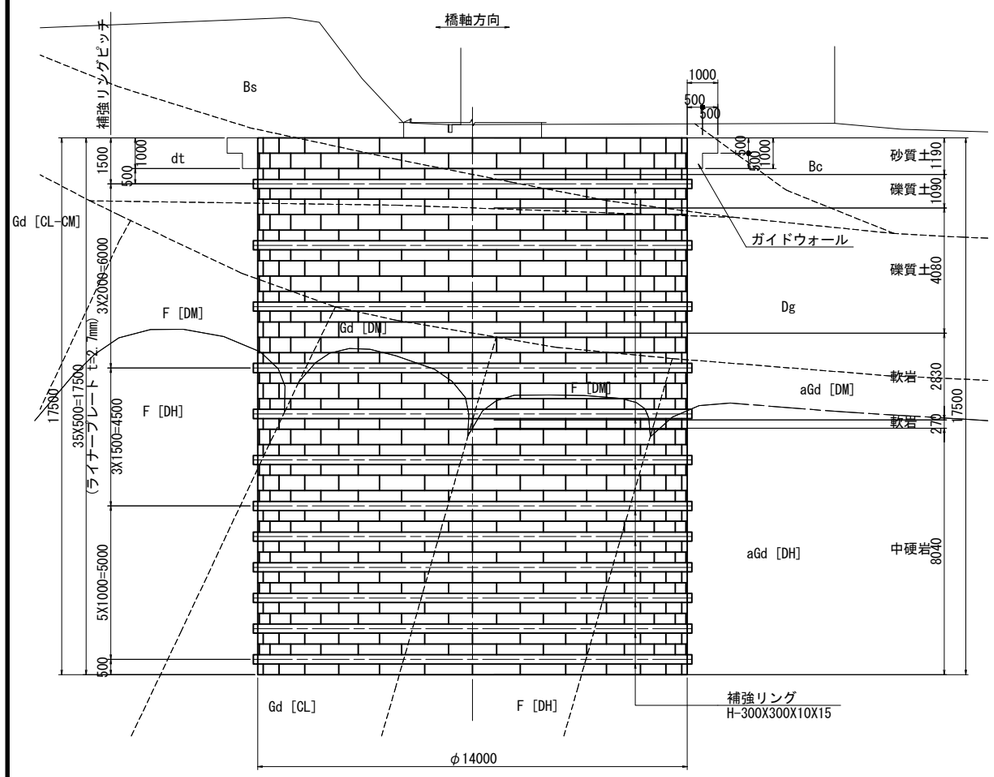


※湧水が多い場合や孔壁崩壊などが生じる可能性がある場合は裏込めを逐次施工する方法を検討する。その場合は，グラウトホールを5～10㎡毎に1箇所設け，通常3リング毎にモルタルを打設する。ただし，著しく自立性が悪い場合は２リングや１リング毎とする。

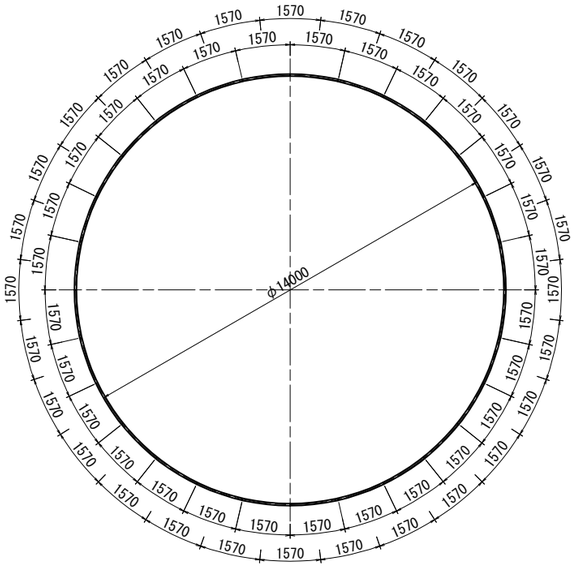
材料表

品　名	サイズ（mm）	単位	数 量	単位質量	質 量	備　考
ライナープレート	P-10　t=2.7	枚	1092	26.0	28392	SS330
組立ボルト	M16X30（4.6）	本	11368	0.137	1557	
〃	M16X45（8.8リング用）	〃	3640	0.158	575	
補強リング	H-250X250X9X14X3134	枚	182	225	40950	SS400
継手板	PL-12X250X440	〃	364	10.4	37856	SM490
継手ボルト	M20X60（10.9）	本	5824	0.297	1730	
ロックワッシャー	M20ボルト用	枚	2912	-	-	
合　計					111060　kg	
グラウトパイプ	VP-φ50		132.0　m			
エルボ	45L		12　個			

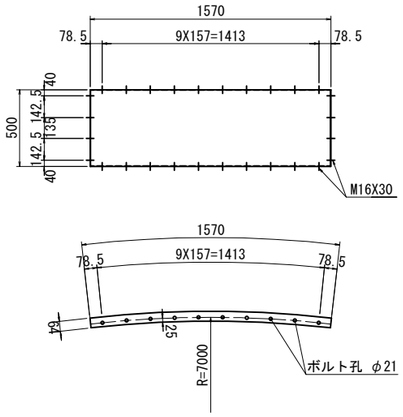
P1橋脚柱状体深礎基礎土留工　S=1:100



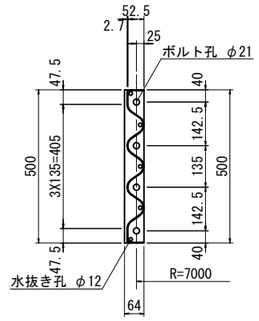
ライナープレート配置図



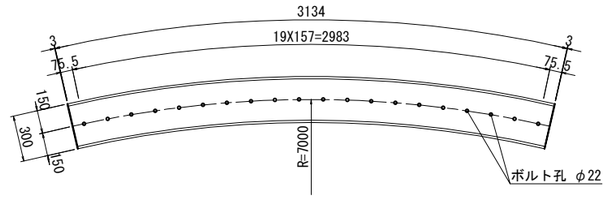
ライナープレート形状図
S=1:20



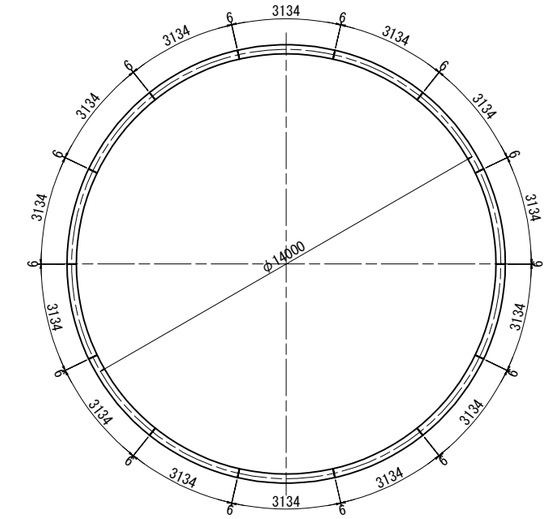
ライナープレート断面形状図
S=1:10



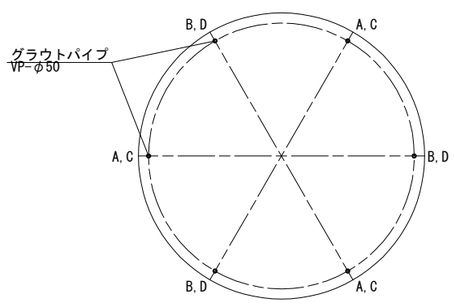
補強リング詳細図
S=1:20

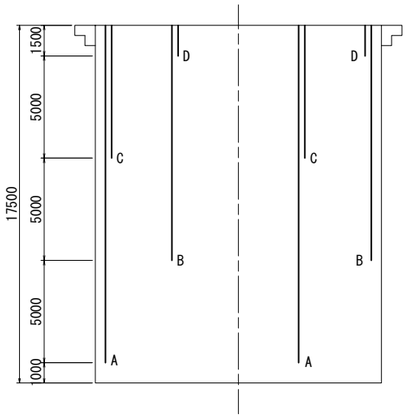


補強リング配置図

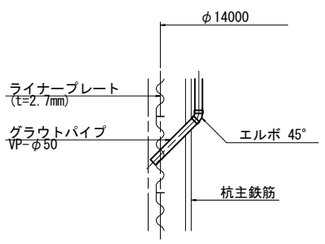


グラウトパイプ配置図　S=1:150



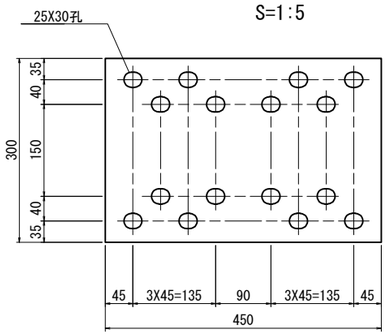


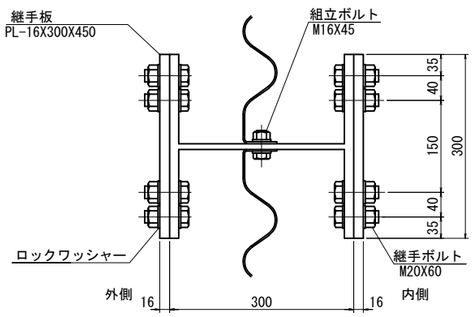
グラウトパイプ詳細図
S=1:20



※湧水が多い場合や孔壁崩壊などが生じる可能性がある場合は裏込めを逐次施工する方法を検討する。その場合は、グラウトホールを5～10m毎に1箇所設け、通常3リング毎にモルタルを打設する。ただし、著しく自立性が悪い場合は2リング毎や1リング毎とする。

継手板詳細図
S=1:5





材料表

品　名	サイズ (mm)	単位	数 量	単位質量	質 量	備　考
ライナープレート	P-10　t=2.7	枚	980	26.0	25480	SS330
組立ボルト	M16X30 (4.6)	本	10080	0.137	1381	
〃	M16X45 (8.8リング用)	〃	3360	0.158	531	
補強リング	H-300X300X10X15X3134	枚	168	291.5	48972	SS400
継手板	PL-16X300X450	〃	336	17.0	5712	SM490
継手ボルト	M20X60 (10.9)	本	5376	0.297	1597	
ロックワッシャー	M20ボルト用	枚	2688	-	-	
合　計					83673 kg	
グラウトパイプ	VP-φ50		108.0 m			
エルボ	45L		12 個			

年　度	令和4～5年度	番　号	25/27
路線名	主要地方道 茨木摂津線（茨木箕面丘陵線）		
工事名			
所在地名	茨木市大字佐保地内　外		
図面名	P1橋脚柱状体深礎基礎土留工		
縮　尺	図示	作成年月	令和6年2月
大阪府　茨木土木事務所			

上部工排水装置(その10) S=1:10

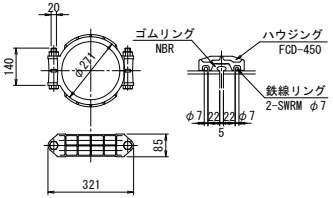
排水装置(8/9)

可とう継手

J

200A用

製作数:4



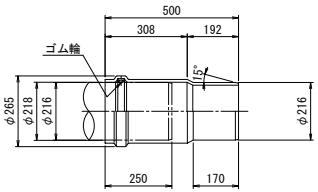
注.ゆるみ止めナットを用いる。

伸縮継手詳細

横引き用

EX

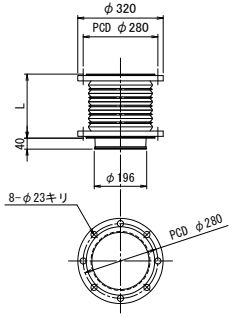
製作数:6



縦引き用

EJ1 EJ2 EJ3

製作数:n



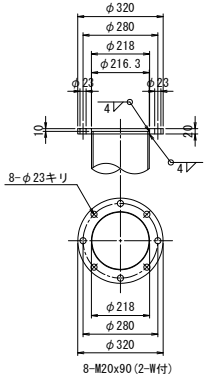
16-M20x90(2-W付)

	L	製作数
EJ1	240	6
EJ2	300	4
EJ3	340	2

SGP用ネックフランジ

200A用(5K)

製作数:2

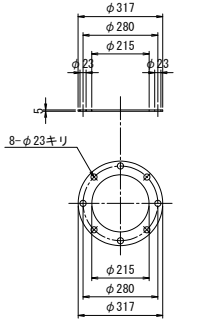


8-M20x90(2-W付)

ゴムパッキン

200A用(クロロプレンゴム)

製作数:2

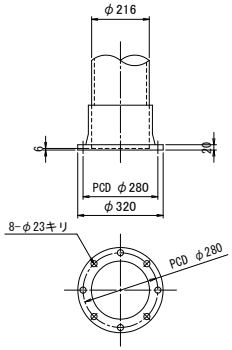


TSフランジ詳細

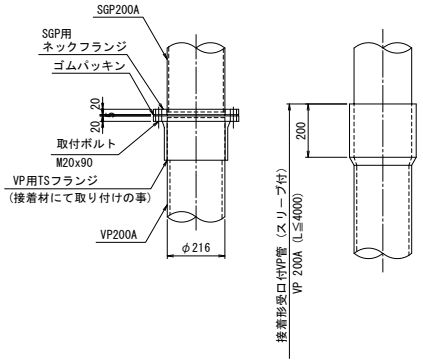
TS

200A用

製作数:14



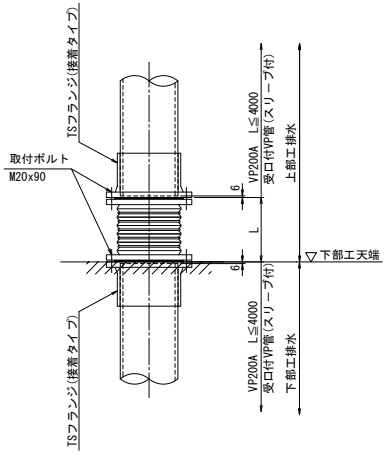
接続部詳細



伸縮継手部

VP 200A用

縦引き用

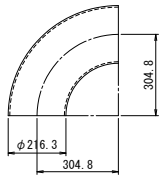


90° エルボ管

FSGP 200A

(ロング)

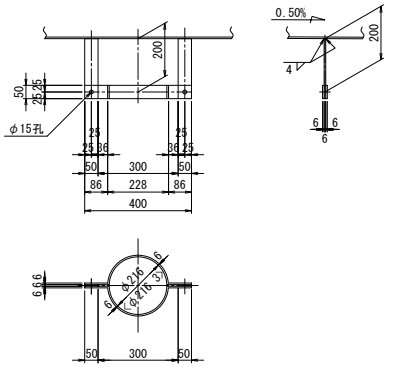
製作数:4個



取付金具詳細

ST1 <ST2>

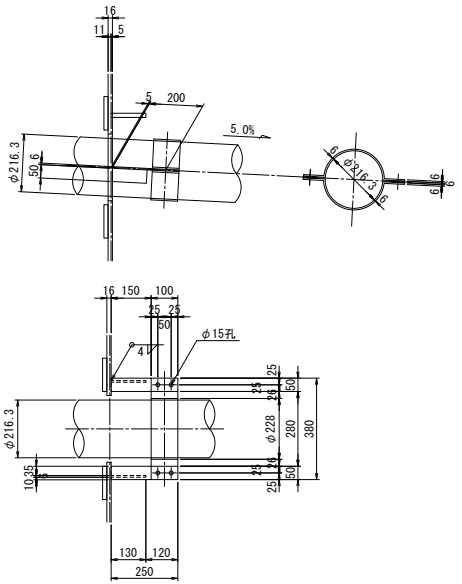
製作数:10<2>



※ 2-PL 50x6x225(SMA400AW)
2-FB 50x6x514
2-BN M12x40(2-W付)

ST3

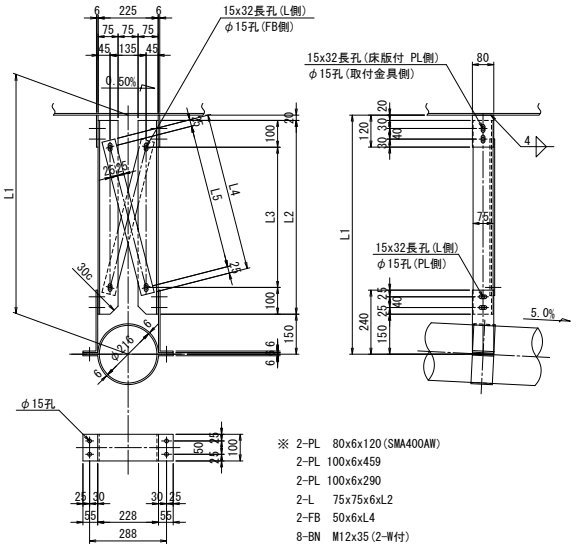
製作数:4



※ 2-PL 50x6x250(SM400A)
※ 2-PL 50x6x130(SM400A)
2-FB 100x6x495
4-BN M12x40(2-W付)

H1 H2 H3 H4

製作数:n



※ 2-PL 80x6x120(SMA400AW)
2-PL 100x6x459
2-PL 100x6x290
2-L 75x75x6xL2
2-FB 50x6xL4
8-BN M12x35(2-W付)
4-BN M12x35(2-W付)
4-BN M12x40(2-W付)

	L1	L2	L3	L4	L5	製作数
H1	903	733	533	600	550	8
H2	817	647	447	517	467	1
H3	925	755	555	621	571	1
H4	787	617	417	488	438	1

注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
3. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
   但し、厚さ3.2mm以上6mm未満の部材は、HDZ45とし
   ボルト・ナット・鋳鋼板及び厚さ3.2mm未満の
   部材は、HDZ35とする。

溶融亜鉛メッキ JISH8641 HDZT63

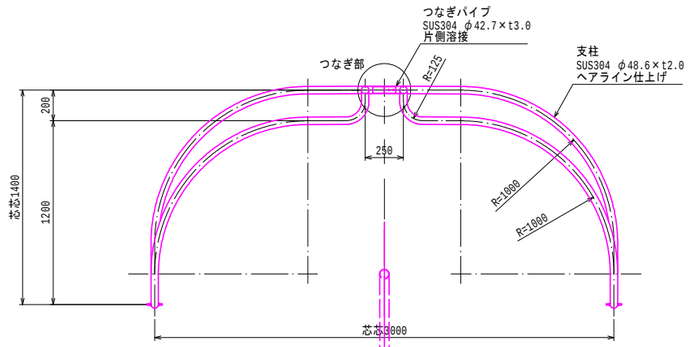
R7_15

施設詳細図

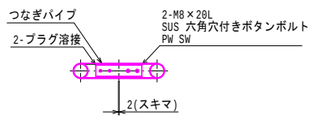
車いすゲート

S=1:20

平 面 図

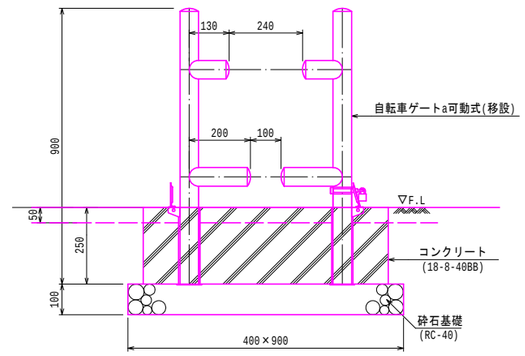


つなぎ部詳細図　S=1:10

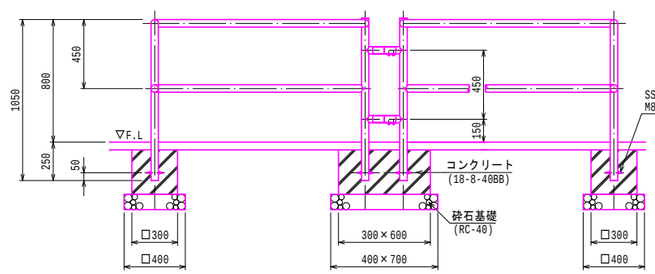


自転車ｹﾞｰﾄa可動式

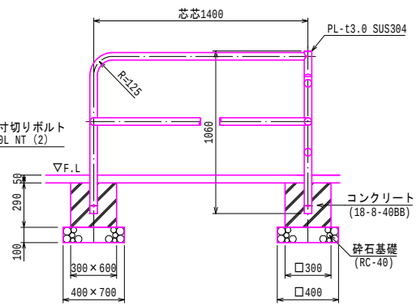
S=1:10



立 面 図



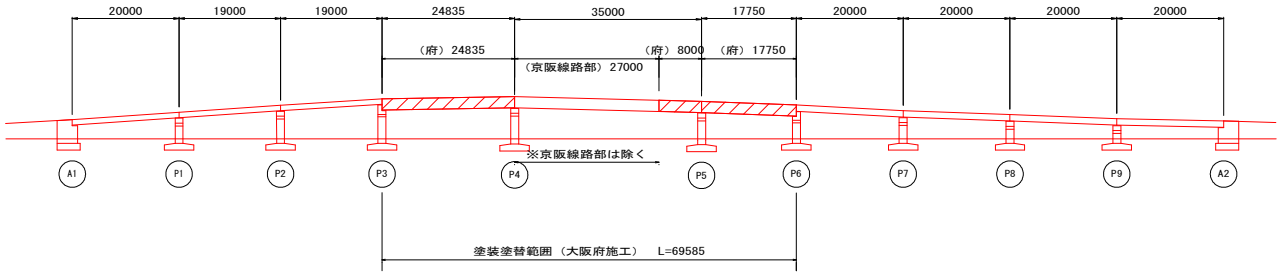
右 側 面 図



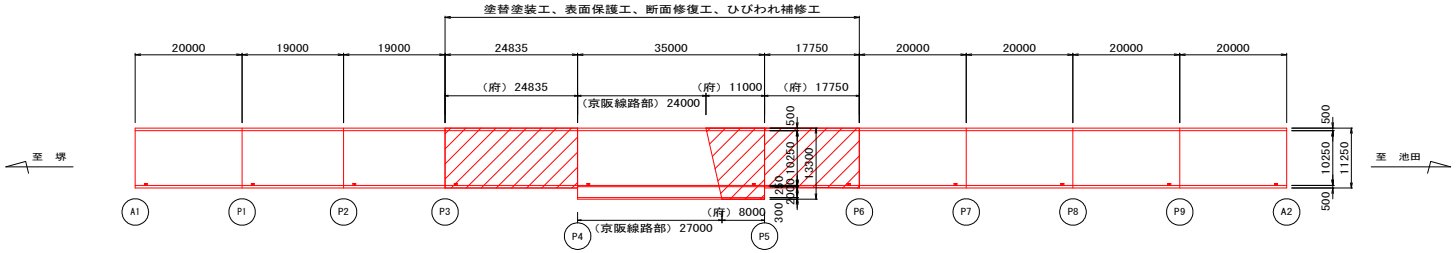
松葉跨線橋（南行）　補修一般図

S=1:500

側 面 図 （ 東 面 ）



平 面 図

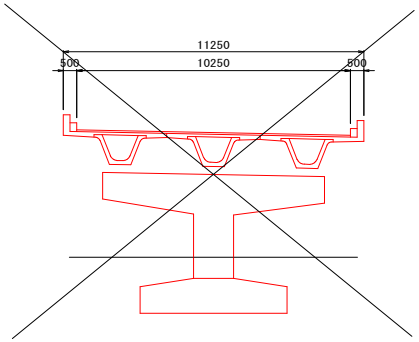


補修箇所一覧表

	項　目	補　修　箇　所
(1)	断面修復工	P3～P6　床版下面（京阪線路部は除く。）
(2)	ひびわれ補修工	P3～P6　床版下面（南行き車線橋梁部のみ、京阪線路部は除く。）
(3)	塗替塗装工	P3～P6　3径間鋼材全面（コンクリート接触面除く。支承含む。）
(4)	表面保護工	床版下面（既設剥落防止塗装部と鋼板補強部は除く。）

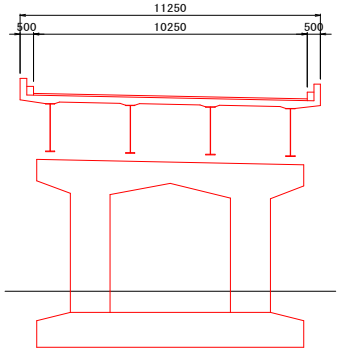
断 面 図　S=1:100

（ A1～P3 ， P6～A2 ）



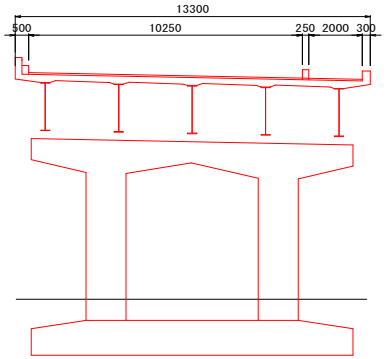
断 面 図　S=1:100

（ P3～P4 ， P5～P6 ）



断 面 図　S=1:100

（ P4～P5 ）



注記

1．施工にあたっては再度現地調査を行い損傷箇所を確認の上実施すること。
2．再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。
3．数量計算にて計上している注入量は、ひびわれ深さを想定して算出した体積であり、実際の注入量は計上数量以上となる可能性がある。よって、計上数量を全数注入したからといって注入終了せず、監督員の承諾を得ること。

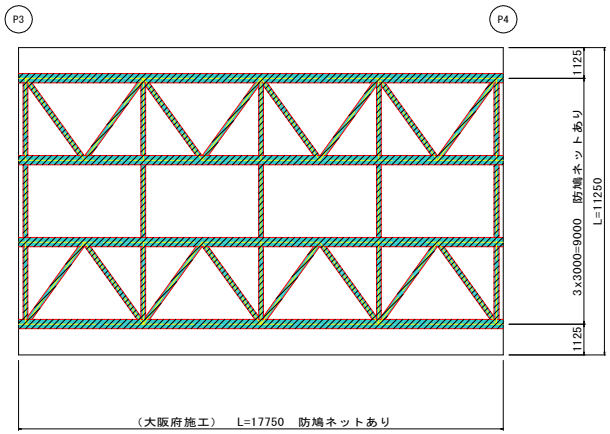
施工年度	
路線名	主要地方道　大阪中央環状線
工事名	松葉跨線橋塗装塗替工事
施工場所	門真市松葉町地内外
図面名	縮尺　図示
作成年月日	

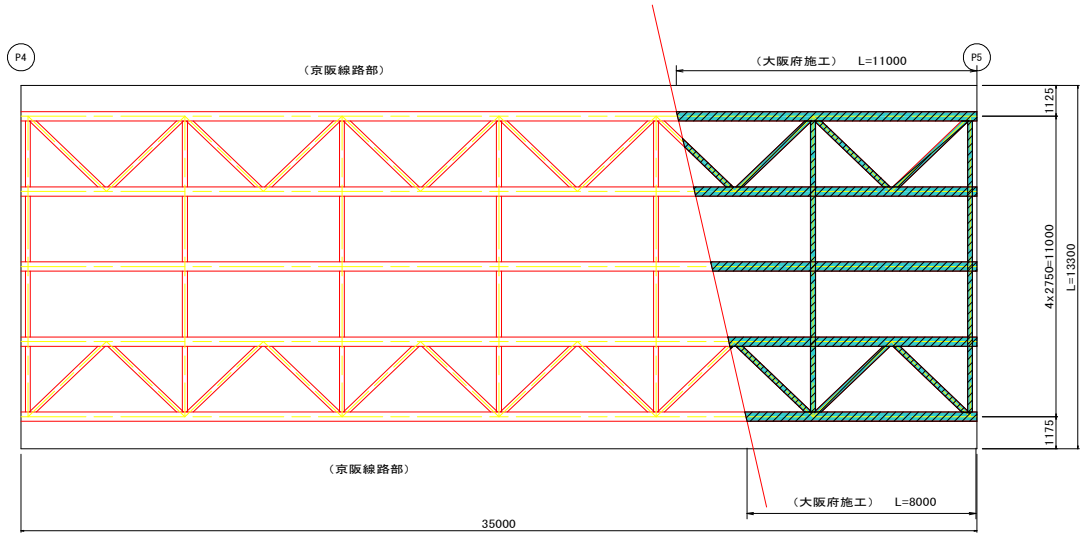
大阪府枚方土木事務所

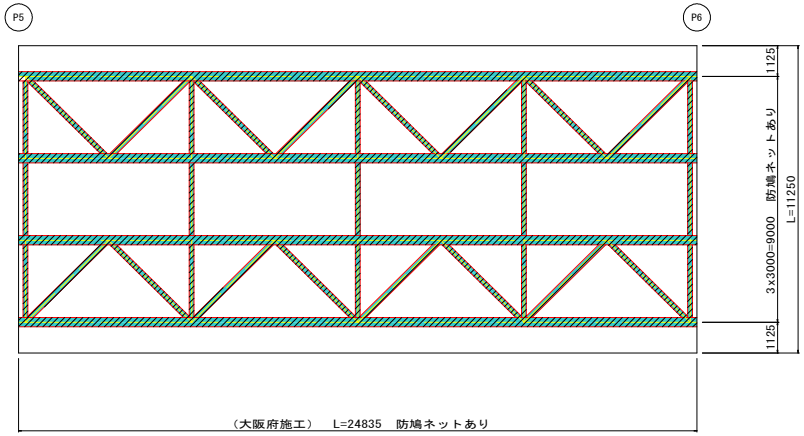
R7_17

松葉跨線橋（南行）　補修対策工図（その１）　S=1:100

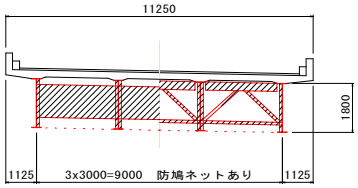
塗替塗装工



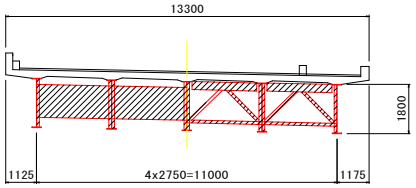




P3～P4, P5～P6
分配横桁　　端・中間対傾構



P4～P5
分配横桁　　端・中間対傾構



塗替塗装工仕様

塗装仕様　Rc－Ⅰ塗装系

塗装工程	塗料名	使用量（g/㎡）	面積（㎡）	備考
素地調整	1種ケレン			
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1460.7	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1460.7	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	233.6	予防保全
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1460.7	
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1460.7	

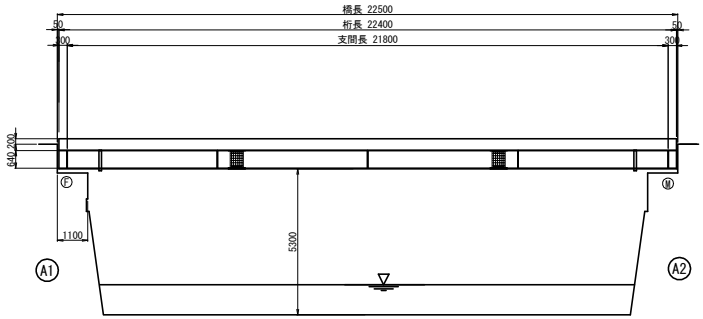
注　記）
1. 既設構造物寸法　形状は、工事に先立ち再計測再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
2. 塗替塗装工の施工範囲は鋼材全面（コンクリート接触面を除く。支承含む。）とする。

施工年度	
路線名	主要地方道　大阪中央環状線
工事名	松葉跨線橋塗装塗替工事
施工場所	門真市松葉町地内外
図面名	縮尺　図示
作成年月日	
大阪府枚方土木事務所	

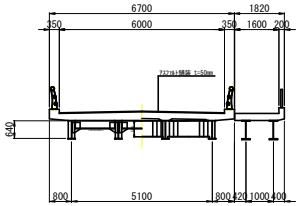
R7_18

新深野橋 一般図　S=1:80

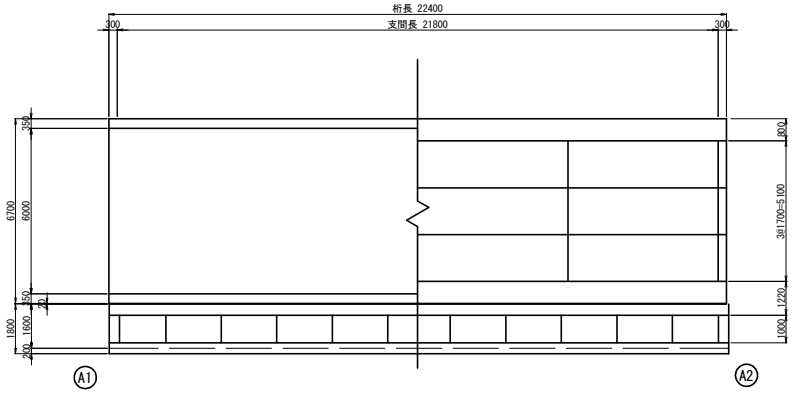
側 面 図



断 面 図　S=1:50



平 面 図



塗装仕様　Rc－Ⅰ塗装系

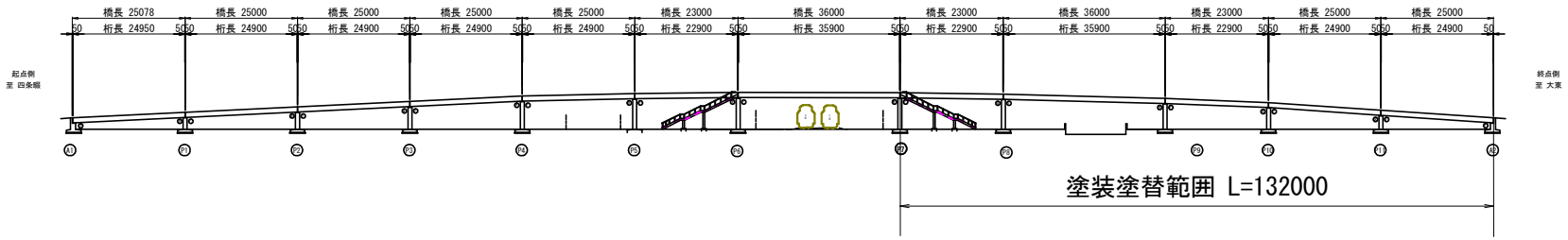
塗装工程	塗 料 名	使用量（g/㎡）	面 積（㎡）	備 考
素地調整	1種ケレン		247.16	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	247.16	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	247.16	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	－	予防保全
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	247.16	
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	247.16	

工事名	
図面名	新深野橋 一般図
作成年月日	
縮尺	図 示　図面番号
会社名	
事業者名	

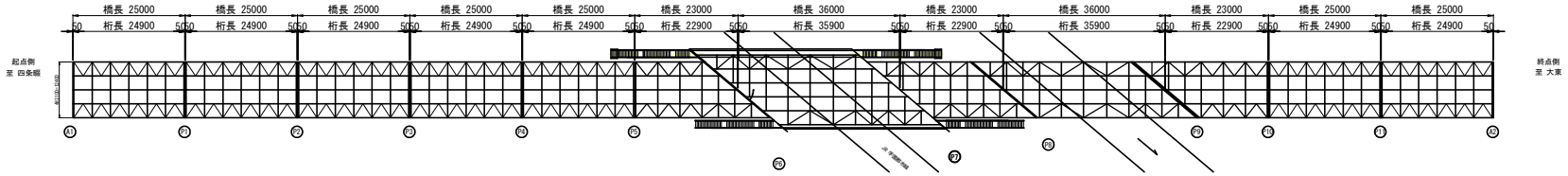
R7_19

野崎跨線橋 一般図　S=1:500

側 面 図

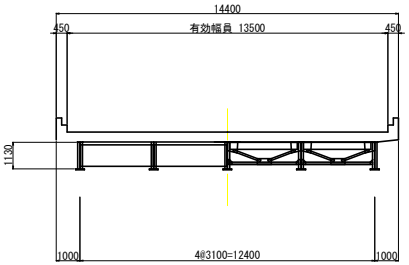


平 面 図

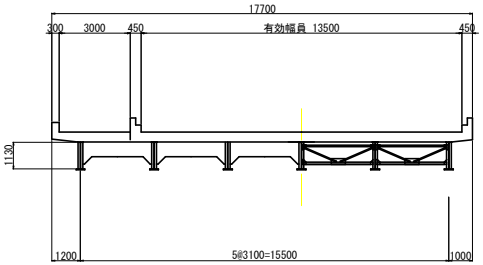


断 面 図　S=1:50

標準部



跨線部



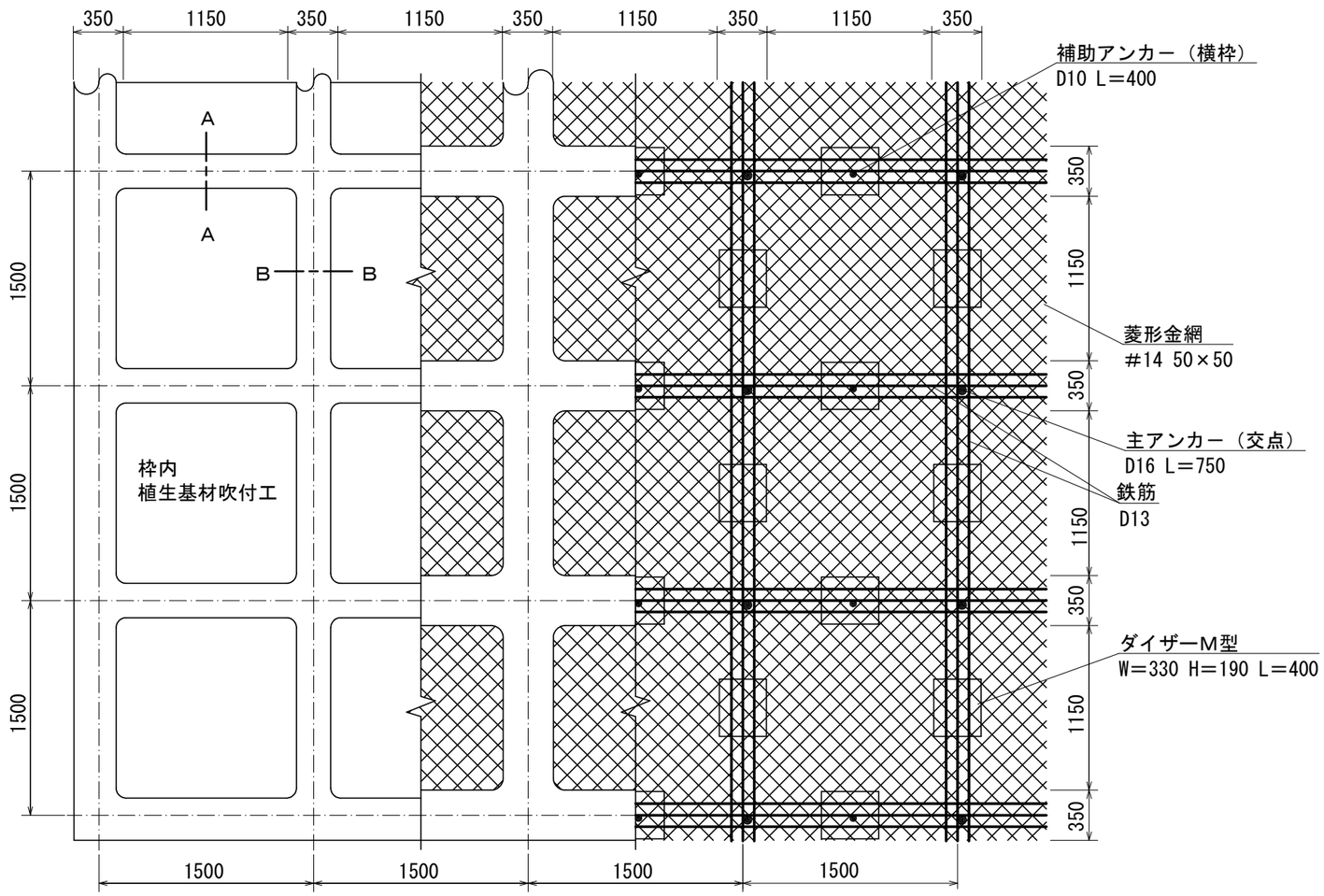
塗装仕様　Rc－Ⅰ塗装系

塗装工程	塗 料 名	使用量（g/㎡）	面 積（㎡）	備 考
素地調整	1種ケレン		5556.83	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	5556.83	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	5556.83	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	－	予防保全
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	5556.83	
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	5556.83	

工事名			
図面名	野崎跨線橋 一般図		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	
会社名			
事業者名			

簡易吹付法枠工詳細図（参考図）

標　準　展　開　図　S=1/20



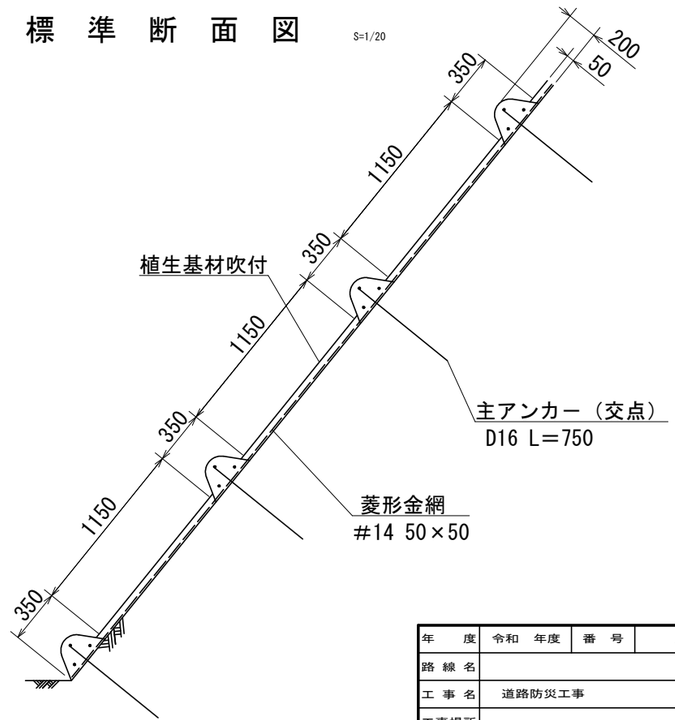
使用材料表

ソイルクリートエ　ダイザタイプ1500
枠内植生基材吹付工 t=3cm

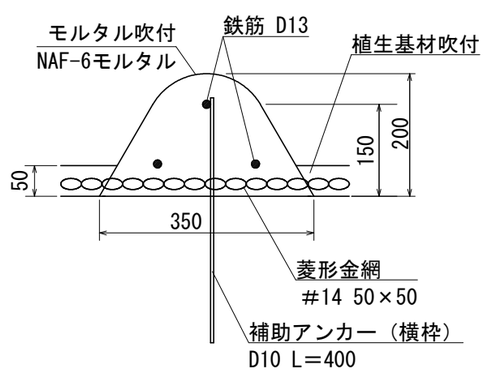
100m2当り

材料名		規格	単位	数量	割増率
菱形金網（市場単価）		#14 50×50	m2	140	40%
アンカー		φ16 L=400	本	30	
補助アンカー		φ9 L=200	本	150	
鉄筋		D13	kg	503.3	17%
主アンカー（交点）		D16 L=750	本	52	
補助アンカー（横枠）		D10 L=400	本	51	
組立枠		ダイザーM型 W=330 H=190 L=400	個	94	
枠用シート		ダイザタイプ1500用	枚	42.3	
枠吹付			m3	5.87	
NAF-6モルタル	セメント	普通ポルトランドセメント	kg	3,205.0	30%
	NAF-6（モルタル補強材）	共重合パラ型アラミド繊維	kg	7.6	30%
	砂		m3	9.5	30%
枠内植生基材吹付（市場単価）		t=3cm	m2	55.9	
生育基盤材	ソイルファクター	肥料入り	L	7,220.0	29%
	ベースソイラー		kg	25.3	29%

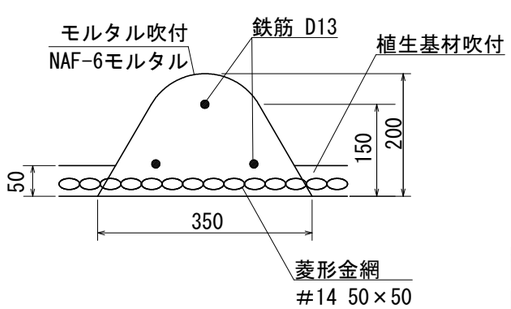
標　準　断　面　図　S=1/20



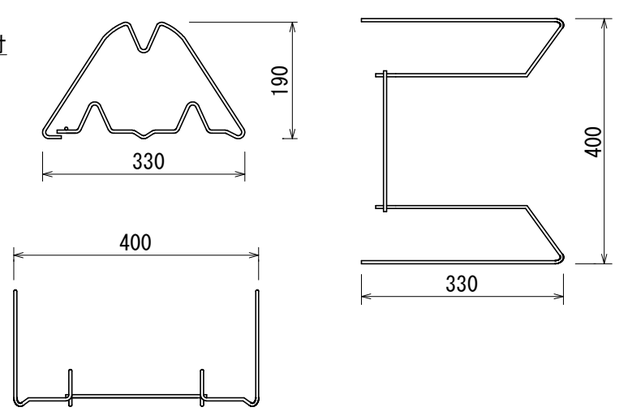
Ａ－Ａ断面　S=1/5



Ｂ－Ｂ断面　S=1/5



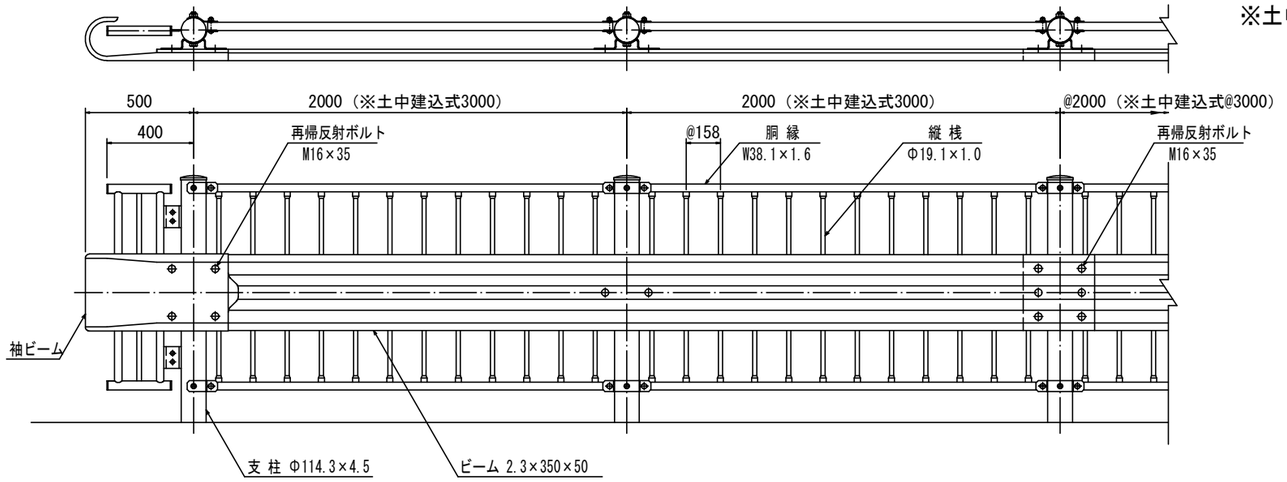
ダイザーM型部材模式図　S=1/5



年度	令和　年度	番号	/		
路線名					
工事名	道路防災工事				
工事場所					
図面名	簡易吹付法枠工詳細図（参考図）				
縮尺	図示	作成年月	令和　年　月		
大阪府富田林土木事務所					

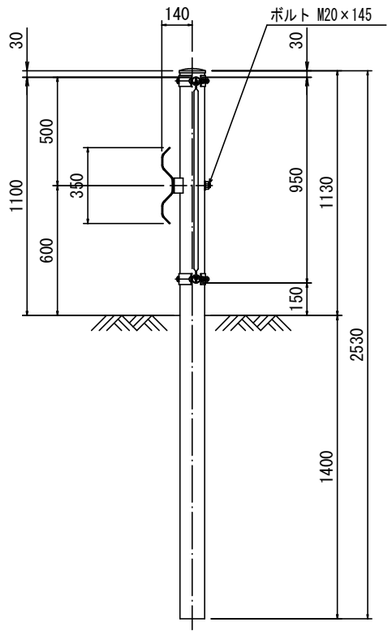
転落防止柵一体型ガードレール構造図
土中建込式（参考図）

組立図

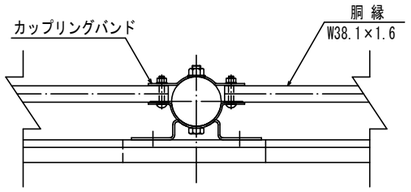


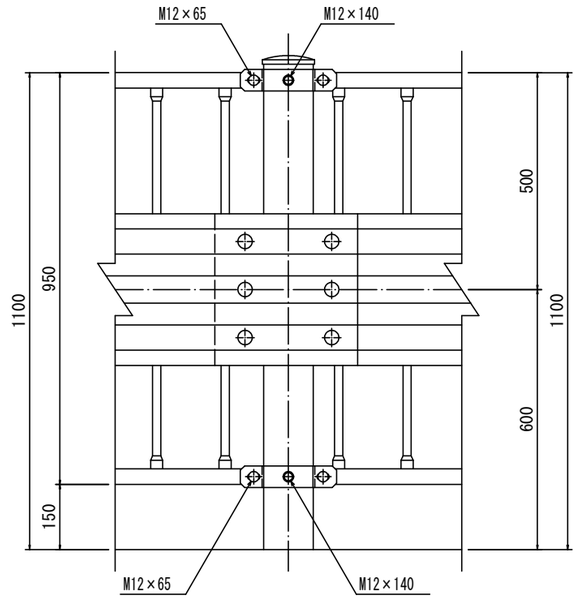
※土中建込式の支柱間隔は3.0mとする

断面図

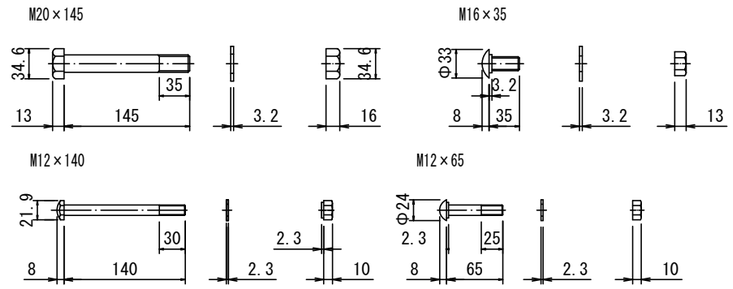


接合部詳細図





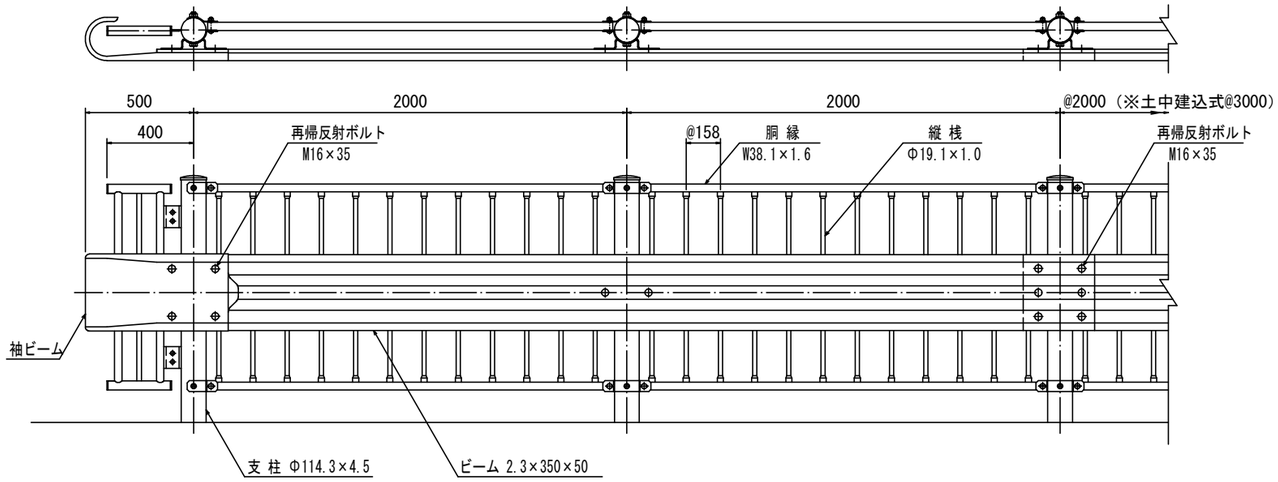
取付ボルト



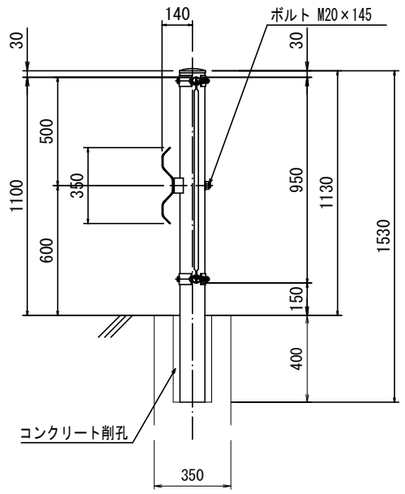
年度	令和 年度	番号	／
路線名			
工事名	防護柵改修工事		
所属地名			
図面名	転落防止柵一体型ガードレール構造図 土中建込式【参考図】		
縮尺	1：15 (A1)	作成年月	令和 年 月
大阪府富田林土木事務所			

転落防止柵一体型ガードレール構造図
コンクリート建込式【参考図】

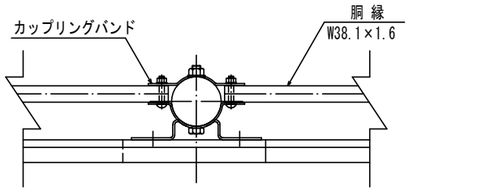
組立図

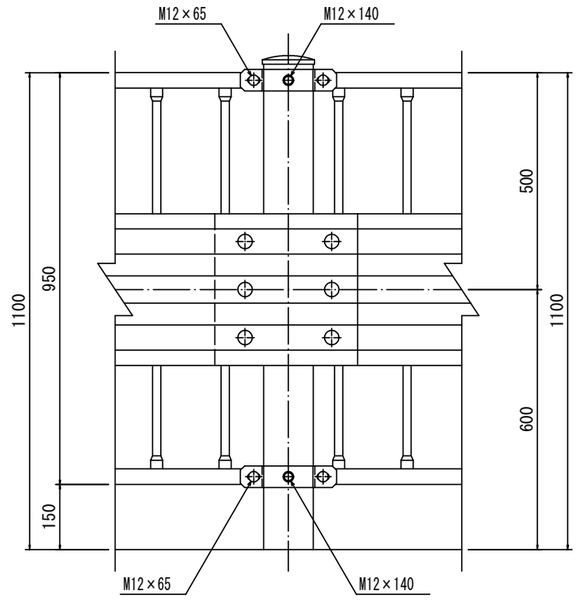


断面図

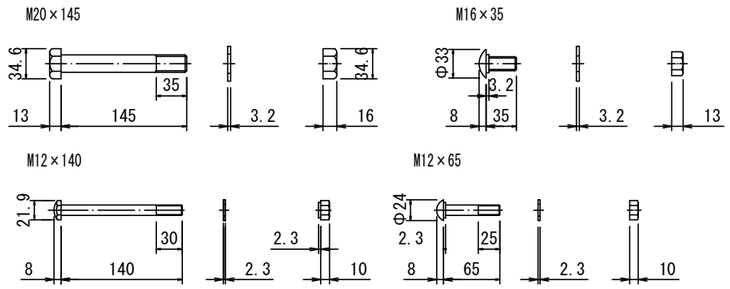


接合部詳細図





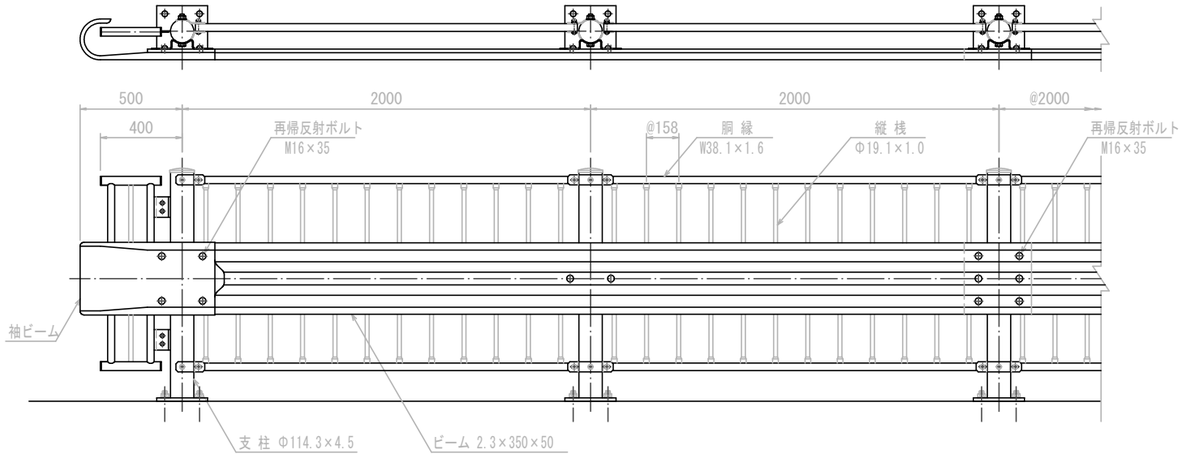
取付ボルト



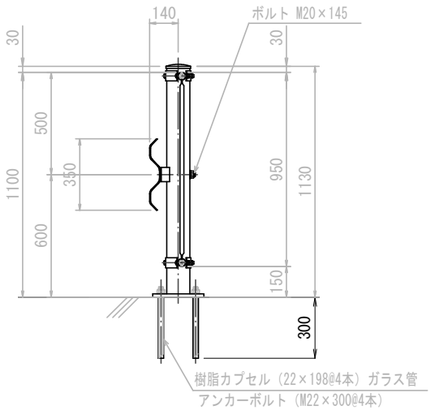
年　度	令和　年度	番号	／
路線名			
工事名	防護柵改修工事		
所属地名			
図面名	転落防止柵一体型ガードレール構造図 コンクリート建込式【参考図】		
縮　尺	1：15 （A1）	作成年月	令和　年　月
大阪府富田林土木事務所			

転落防止柵一体型ガードレール構造図
ベースプレート式【参考図】

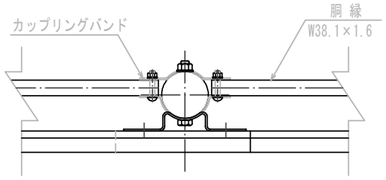
組立図

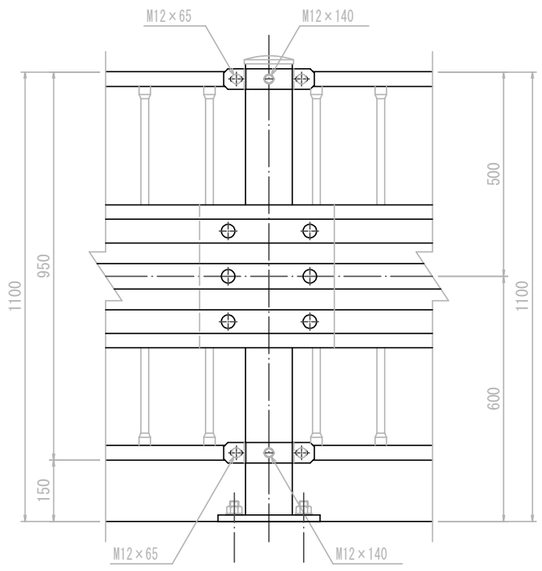


断面図

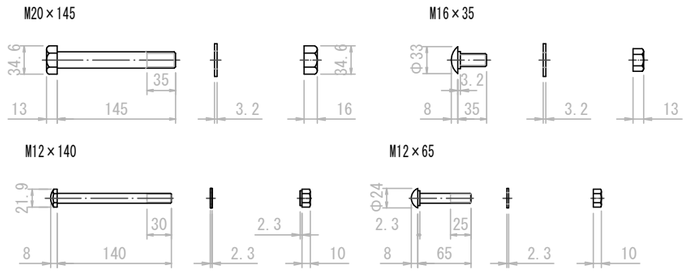


接合部詳細図

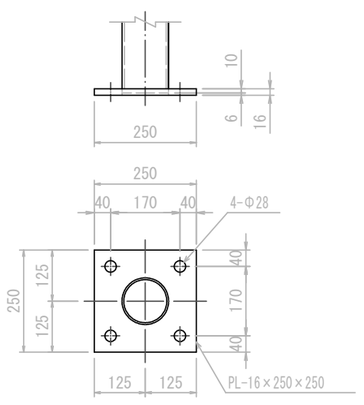




取付ボルト



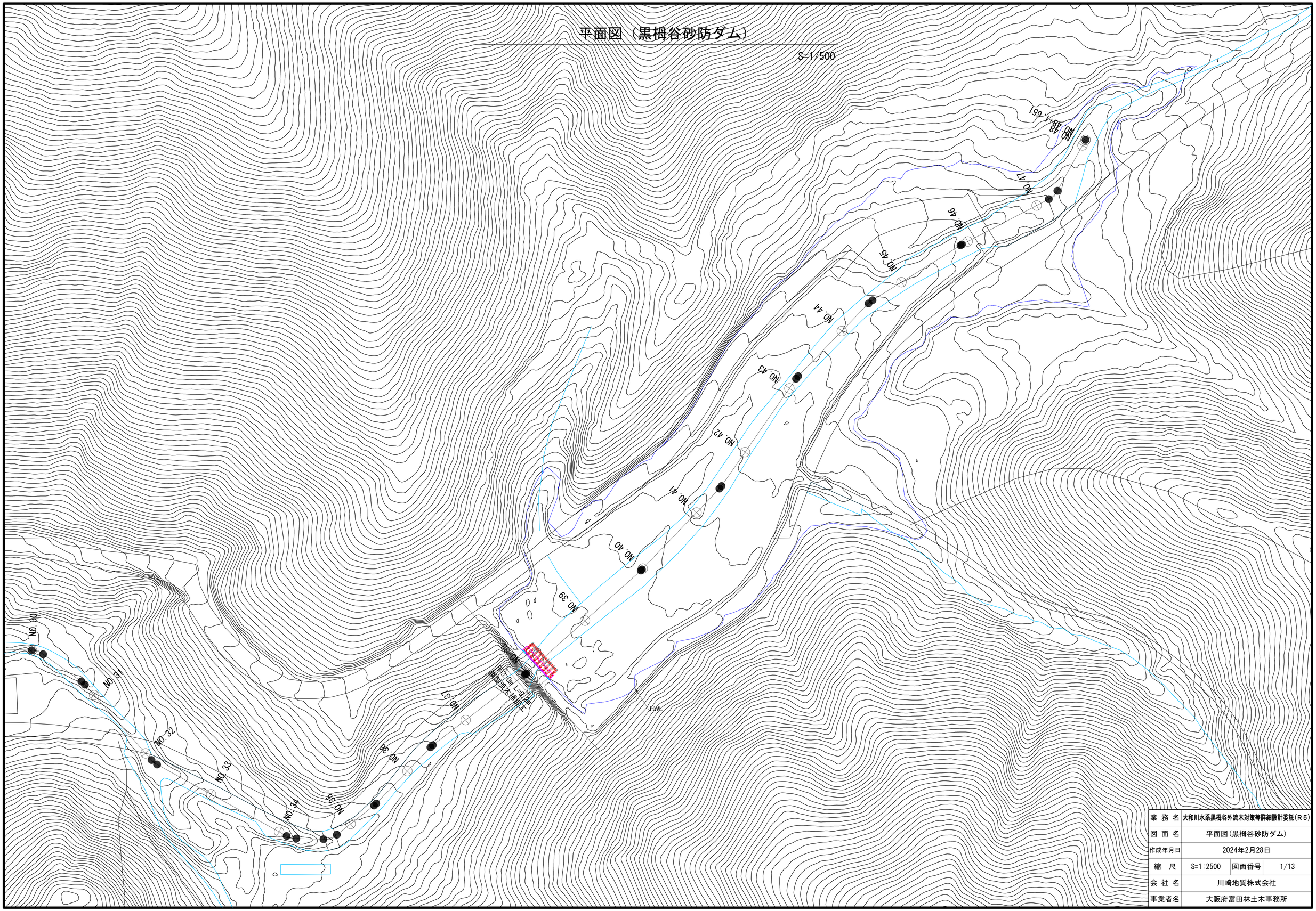
ベースプレート詳細図



年度	令和 年度	番号	／
路線名			
工事名	防護柵改修工事		
所属地名			
図面名	転落防止柵一体型ガードレール構造図 ベースプレート式【参考図】		
縮尺	1：15 (A1)	作成年月	令和 年 月
大阪府富田林土木事務所			

平面図（黒栂谷砂防ダム）

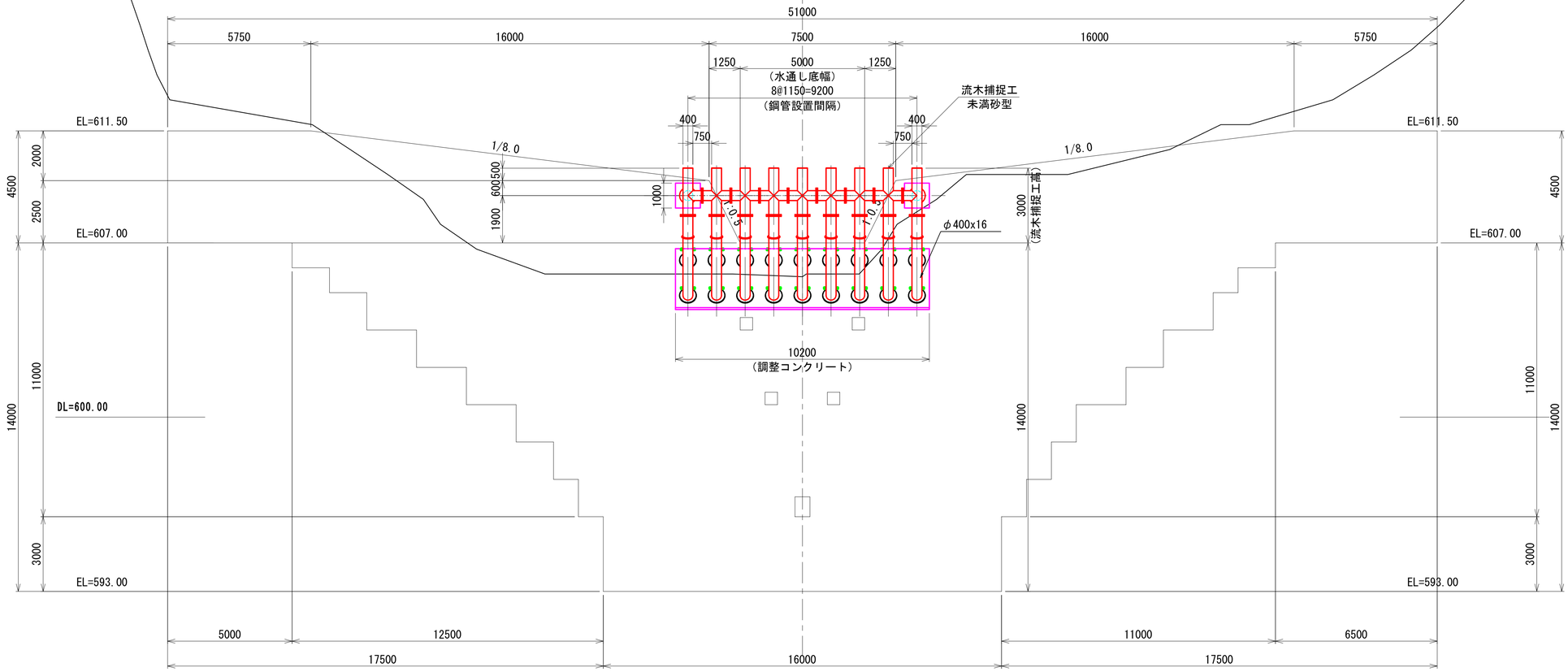
S=1/500



業 務 名	大和川水系黒栂谷外流木対策等詳細設計委託(R５)		
図 面 名	平面図(黒栂谷砂防ダム)		
作成年月日	2024年2月28日		
縮 尺	S=1:2500	図面番号	1/13
会 社 名	川崎地質株式会社		
事業者名	大阪府富田林土木事務所		

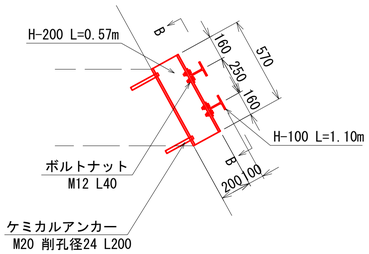
鋼製流木捕捉工一般図

（黒栂谷砂防ダム）



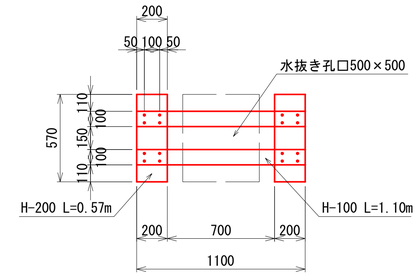
土砂抜け対策工

S=1:20



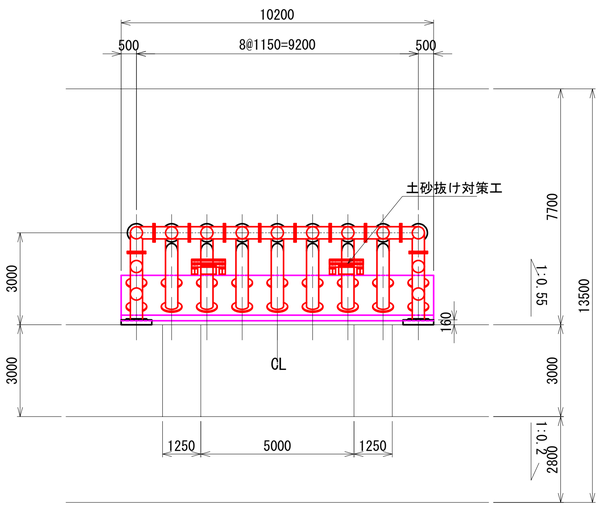
B-B断面図

S=1:20

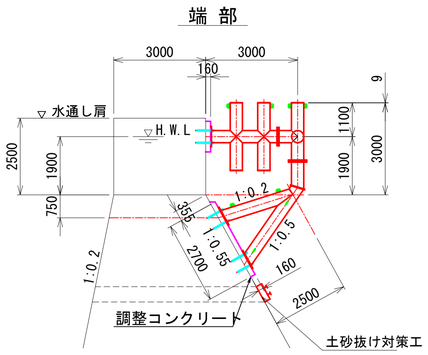


平面図

S=1:100

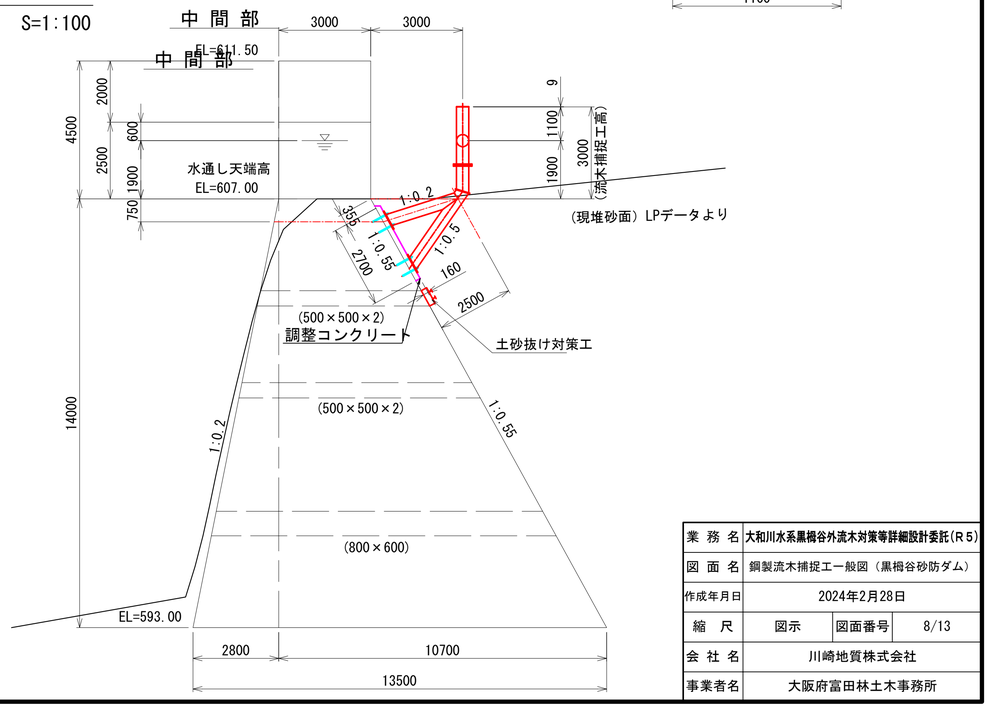


端　部



側面図

S=1:100



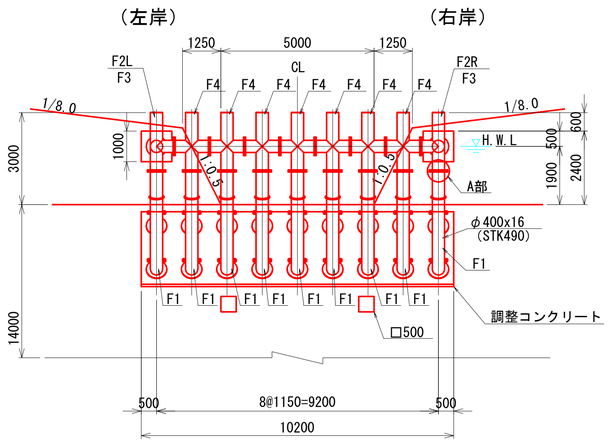
業　務　名	大和川水系黒栂谷外流木対策等詳細設計委託（R５）		
図　面　名	鋼製流木捕捉工一般図（黒栂谷砂防ダム）		
作成年月日	2024年2月28日		
縮　尺	図示	図面番号	8/13
会　社　名	川崎地質株式会社		
事業者名	大阪府富田林土木事務所		

鋼製流木捕捉工構造図(1/2)

（黒栂谷砂防ダム）

正面図 S=1/100

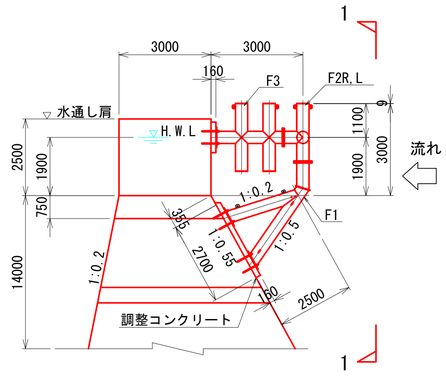
（上流面 1-1）



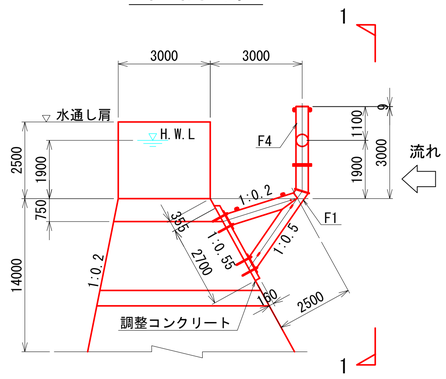
◎鋼管　φ400x16（STK490）

側面図 S=1/100

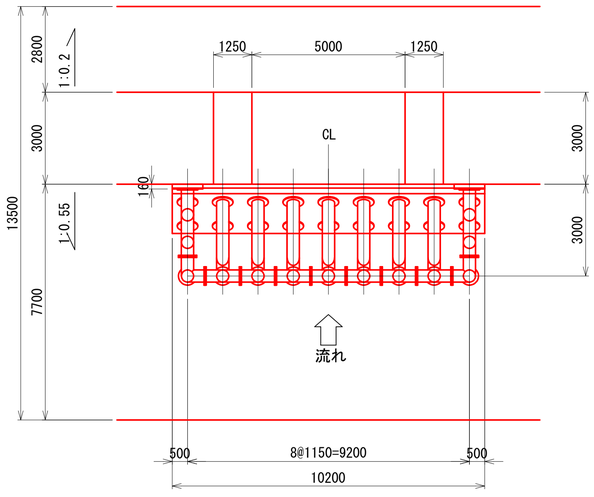
端 部



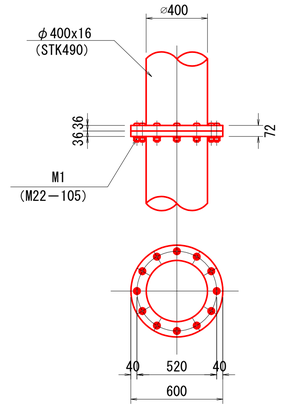
中 間 部



平面図 S=1/100



A部接合部詳細図



張り出しタイプ（H＝3.0m）						
番号	名称	規格	材質	数量	単位質量(kg)	質量(kg)
F1	フレーム	φ400×16	STK490	9	1,182.68	10,644.12
F2	フレーム	φ400×16	STK490	2	658.28	1,316.56
F3	フレーム	φ400×16	STK490	2	1,114.37	2,228.74
F4	フレーム	φ400×16	STK490	7	648.40	4,538.80
A2	座金プレート	PL-80×80×12(SW11)	SS400	80	0.553	44.24
M1	ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	M22-105(S10T),1N,1W		228	0.628	143.18
	合　　計					18,915.64

（無機系注入式アンカー材料の質量は、含んでおりません）

無機系注入式アンカーの強度計算は、既設砂防堰堤の圧縮強度を18N/mm2として計算しています。
したがって、既設砂防堰堤の圧縮強度が18N/mm2以上であることを確認して下さい。

全ねじボルト（SS400）、ナット、丸ワッシャーの表面処理はHZA35Bです。
全ねじボルトの頭部の100mmの範囲はネジさらいをして下さい。

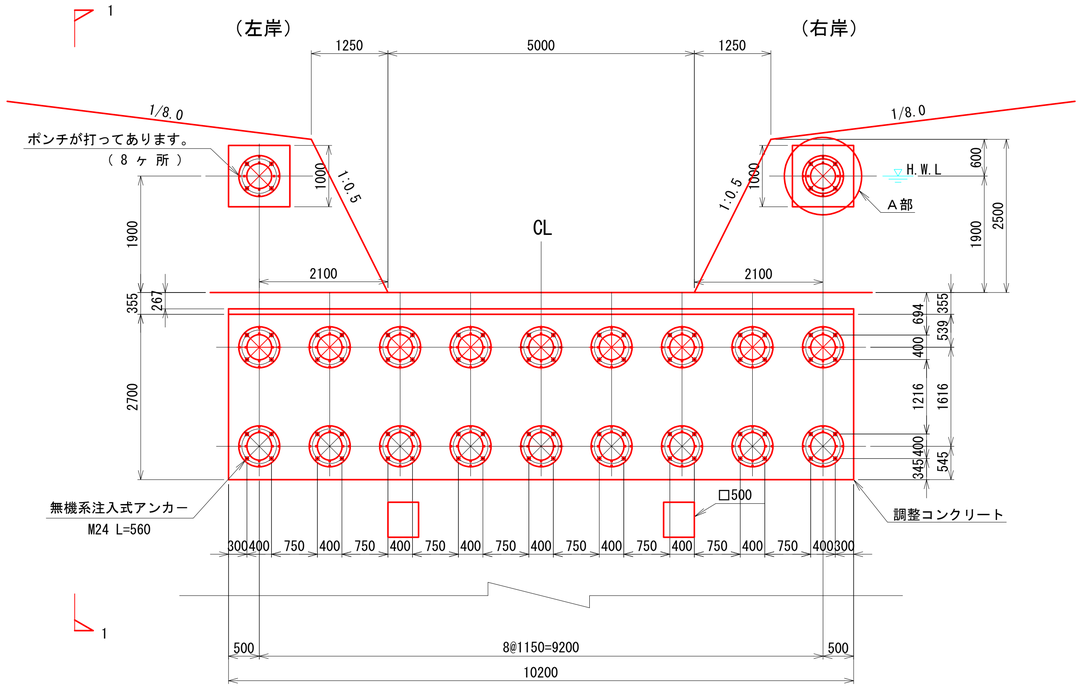
業 務 名	大和川水系黒栂谷外流木対策等詳細設計委託(R5)
図 面 名	鋼製流木捕捉工構造図(1/2)（黒栂谷砂防ダム）
作成年月日	2024年2月28日
縮 尺	図示　図面番号 9/13
会 社 名	川崎地質株式会社
事業者名	大阪府富田林土木事務所

鋼製流木捕捉工構造図(2/2)

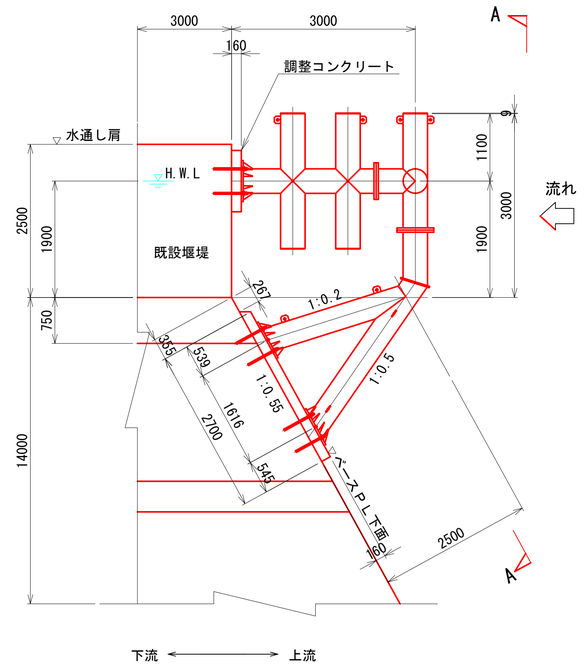
（黒栂谷砂防ダム）

正面図 S=1/100

（A-A矢視）

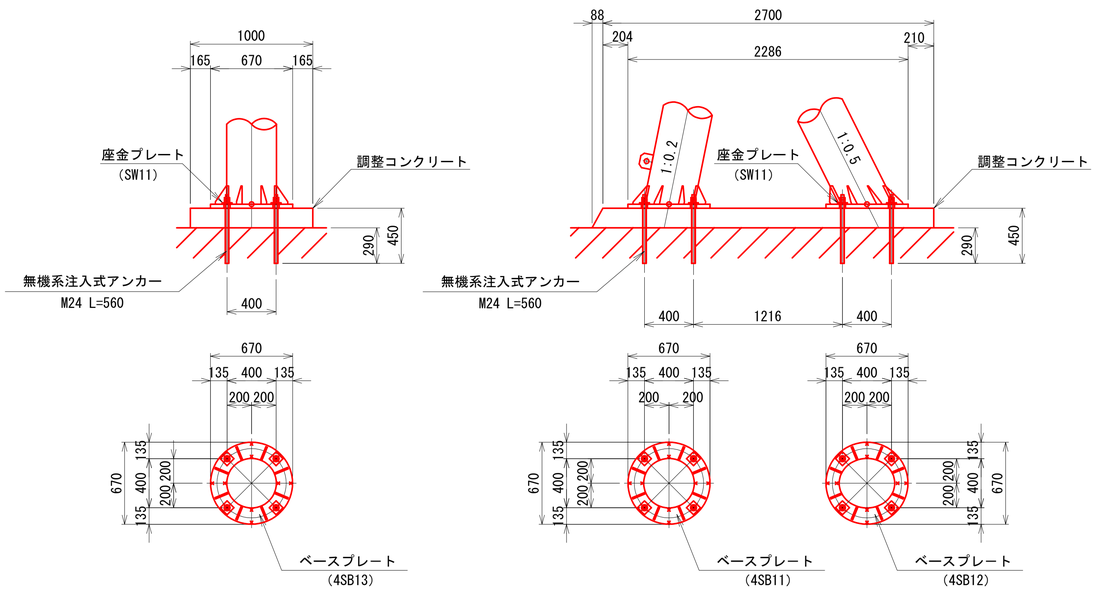


1-1側面図 S=1/50



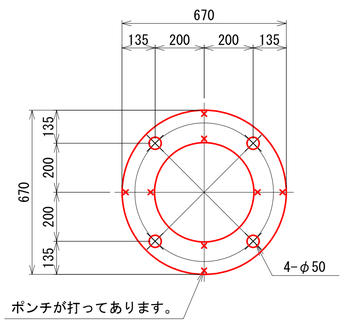
ベースプレート部詳細図

（A-A矢視）

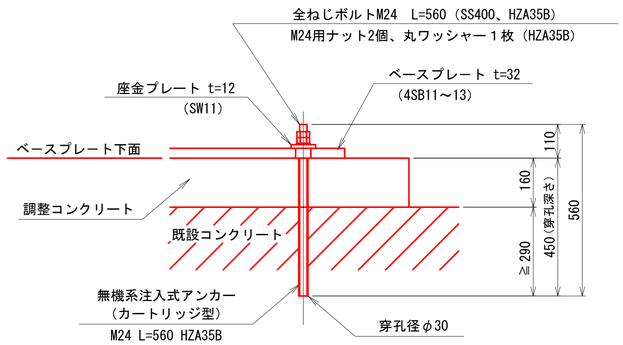


A 部 詳 細 図

ベースプレート（4SB13）



アンカー 詳細図



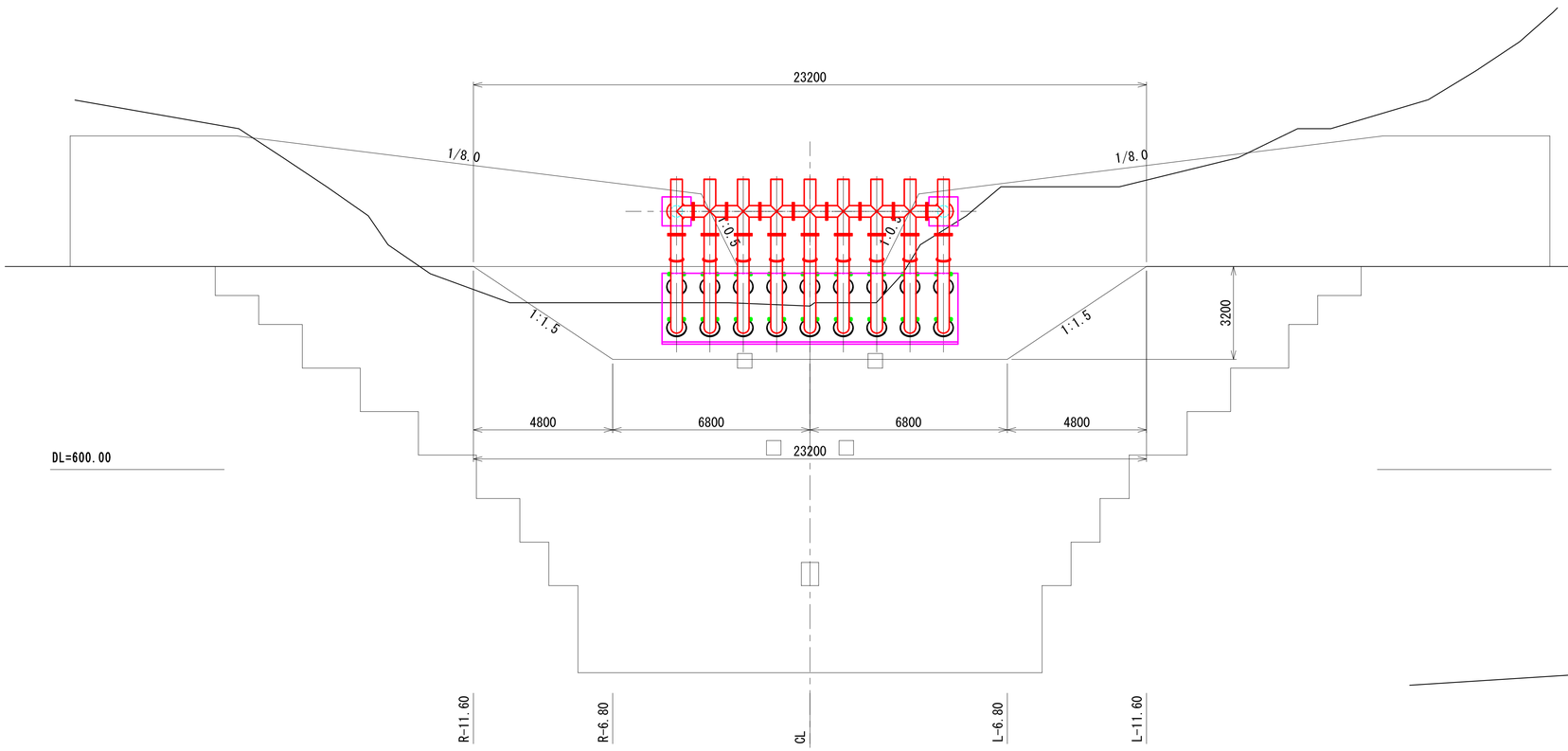
※既設コンクリートの不陸を整形して，ベースプレートを設置するための
平滑面を調整コンクリートで構築すること。
※アンカーは既設コンクリートに290mm以上埋め込むこと。
※アンカー径は腐食代片面0.5mmを含む。

業 務 名	大和川水系黒栂谷外流木対策等詳細設計委託(R５)		
図 面 名	鋼製流木捕捉工構造図(2/2)（黒栂谷砂防ダム）		
作成年月日	2024年2月28日		
縮 尺	図示	図面番号	10/13
会 社 名	川崎地質株式会社		
事業者名	大阪府富田林土木事務所		

鋼製流木捕捉工土工図

（黒栂谷砂防ダム）　S=1:100

正面図

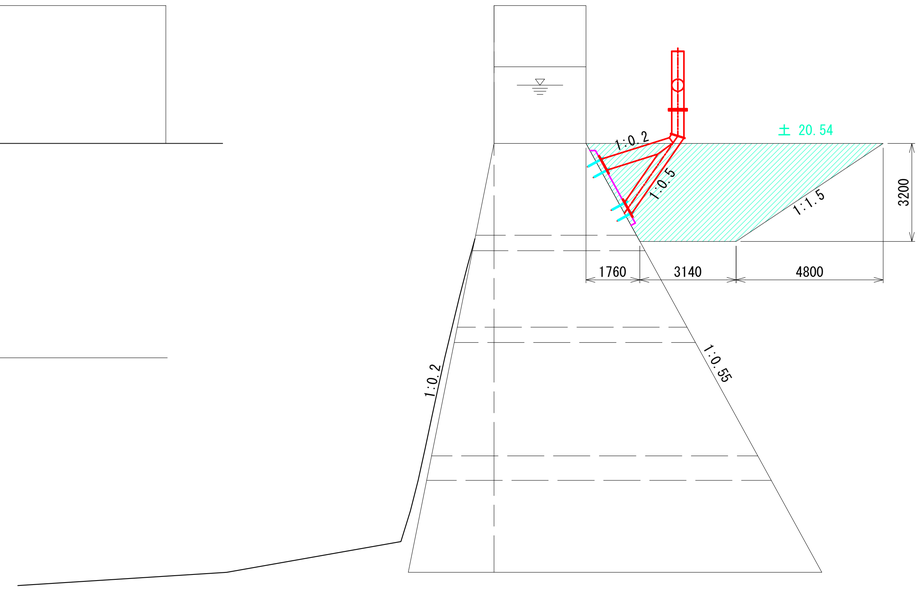


CL およびR-6.80,L-6.80

名　称	規　格	水替対象
床　掘	土　砂	20.5
	軟 岩 Ⅱ	-
	中硬岩	-

側面図

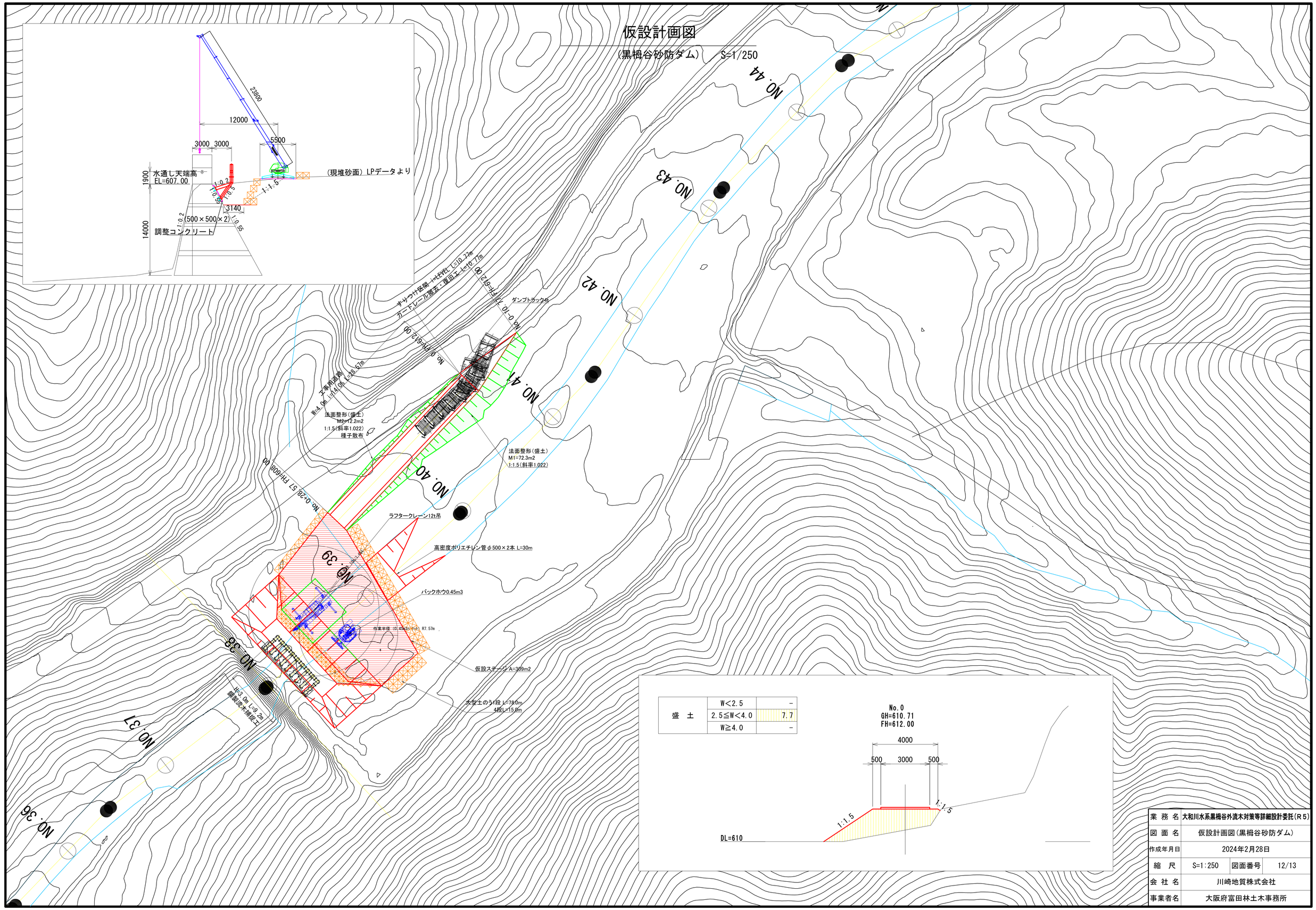
（CL およびR-6.80,L-6.80）



業 務 名	大和川水系黒栂谷外流木対策等詳細設計委託(R5)		
図 面 名	鋼製流木捕捉工土工図（黒栂谷砂防ダム）		
作成年月日	2024年2月28日		
縮　尺	S=1:100	図面番号	11/13
会 社 名	川崎地質株式会社		
事業者名	大阪府富田林土木事務所		

仮設計画図

（黒栂谷砂防ダム）　S=1/250



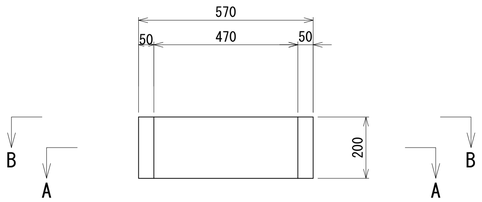
盛　土	W＜2.5	－
	2.5≦W＜4.0	7.7
	W≧4.0	－

業　務　名	大和川水系黒栂谷外流木対策等詳細設計委託(R５)		
図　面　名	仮設計画図(黒栂谷砂防ダム)		
作成年月日	2024年2月28日		
縮　尺	S=1:250	図面番号	12/13
会　社　名	川崎地質株式会社		
事業者名	大阪府富田林土木事務所		

土砂抜け対策工詳細図（参考図）

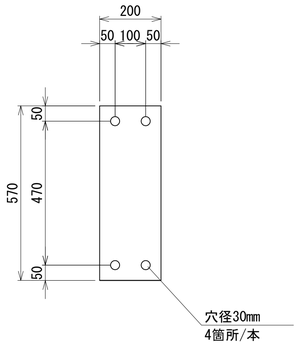
S=1:10

H-200



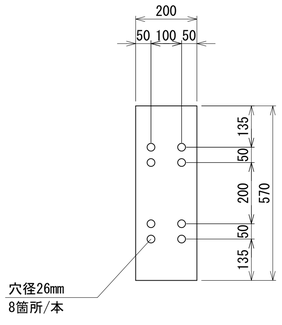
A - A

（下面）



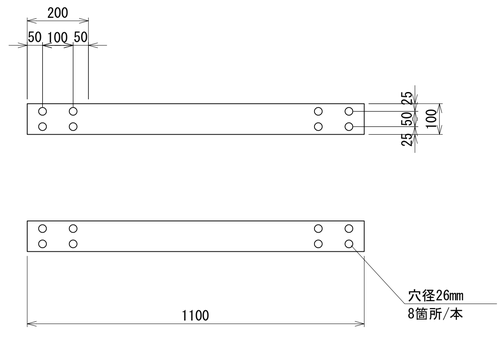
B - B

（上面）



※H-200　L0.57　4本
　H-100　L1.10　4本

H-100

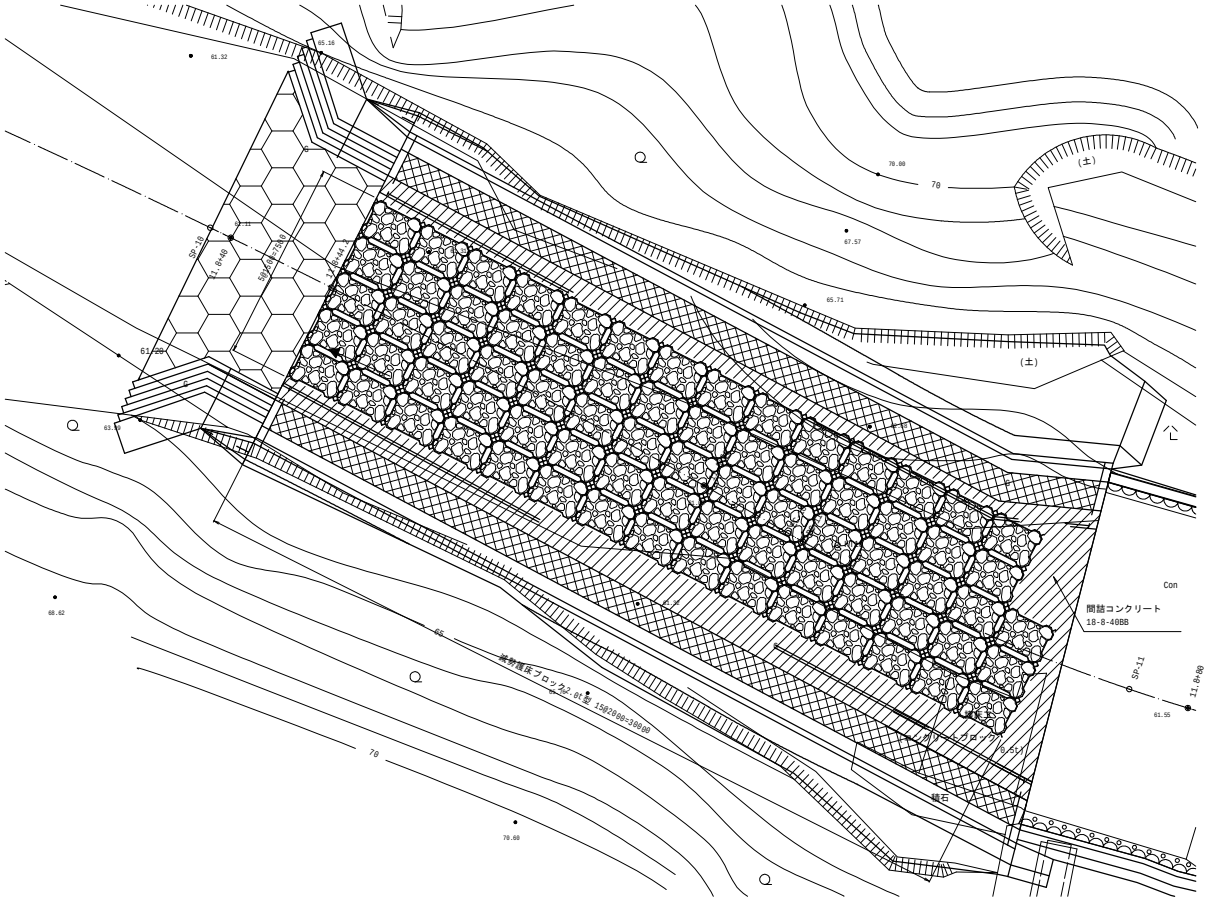


※鋼材は溶融亜鉛メッキ塗装（HDZ35）を施す。

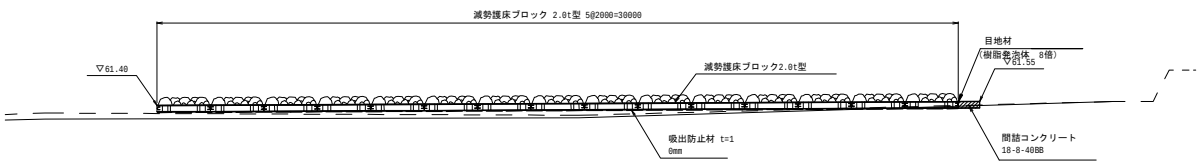
業務名	大和川水系黒楯谷外流木対策等詳細設計委託(R5)		
図面名	土砂抜け対策工詳細図（参考図）（黒楯谷砂防ダム）		
作成年月日	2024年2月28日		
縮尺	図示	図面番号	13/13
会社名	川崎地質株式会社		
事業者名	大阪府富田林土木事務所		

下段部護床工構造図

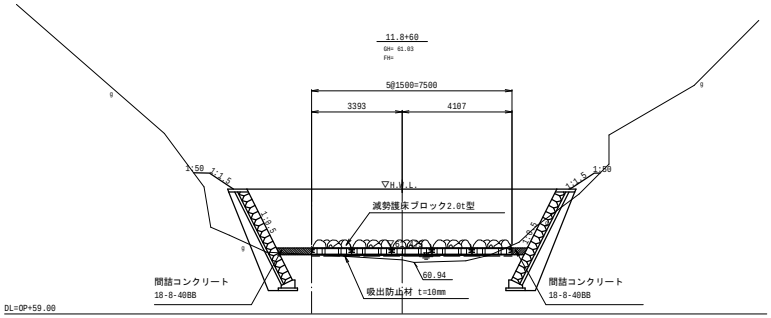
平面図 S=1:100



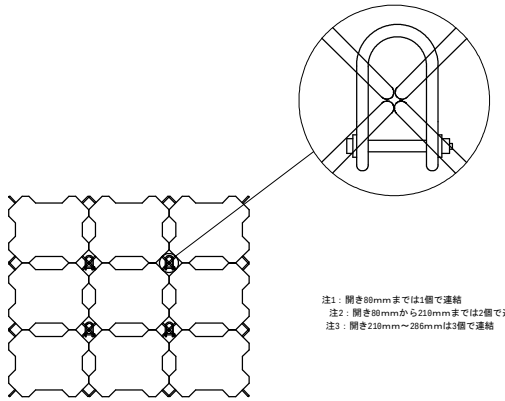
縦断図 S=1:100



標準断面図 S=1:100



連結部詳細図

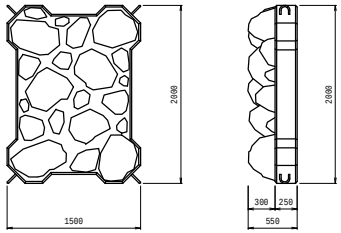


注1：開き80mmまでは1個で連結
注2：開き80mmから210mmまでは2個で連結
注3：開き210mm～286mmは3個で連結

数量表

名 称	種 別	規 格・算 式	単位	数 量	備 考
減勢ブロック	2.0ｔ用	2000×1500×550	個	73	W=2100kg
連結金具	φ16mm		組	89	

減勢護床ブロック2.0t型詳細図 S=1:30

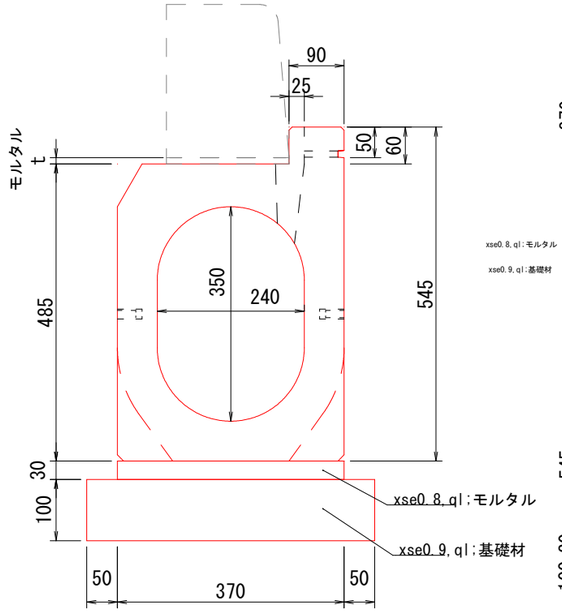


R7_32

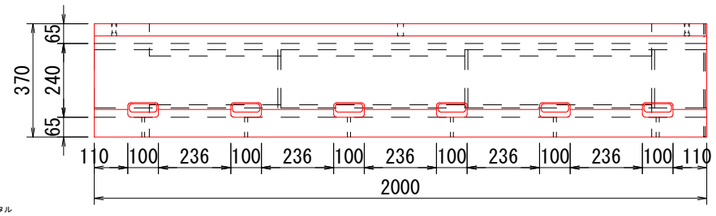
自転車配慮型側溝構造図

自転車配慮型側溝

側面図 S=1/10



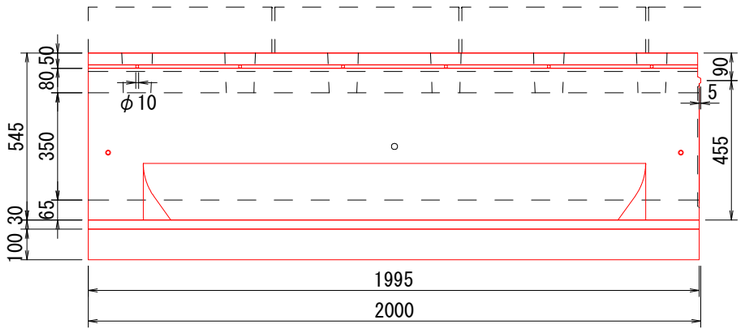
平面図 S=1/20



xse0.8,ql:モルタル

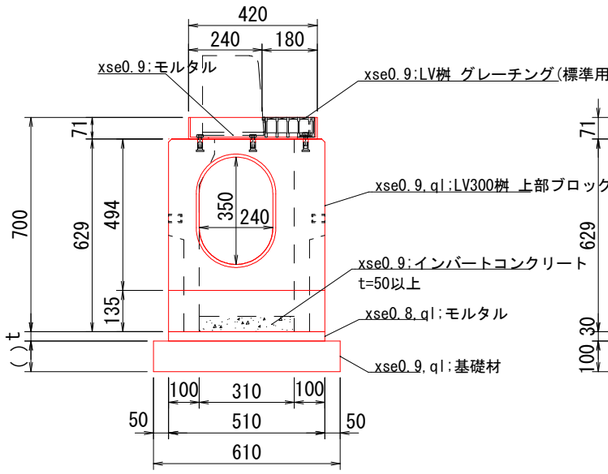
xse0.9,ql:基礎材

正面図 S=1/20

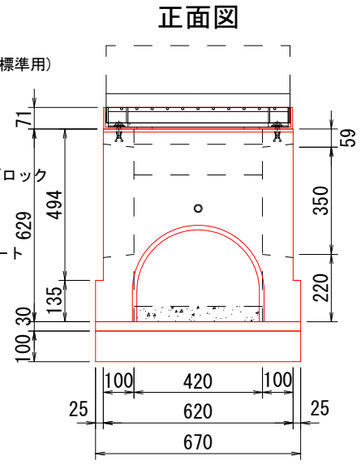


自転車配慮型街渠桝 S=1：20

側面図

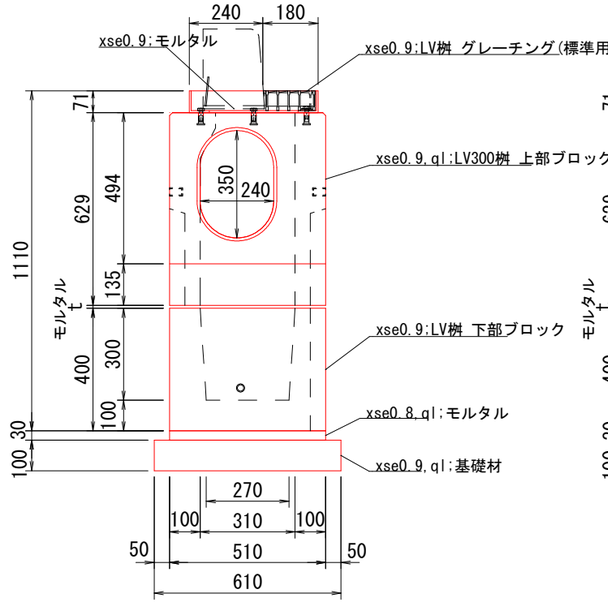


正面図

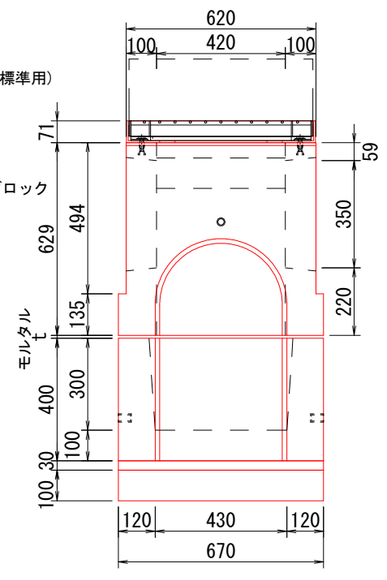


自転車配慮型街渠桝Ｂ S=1：20

側面図

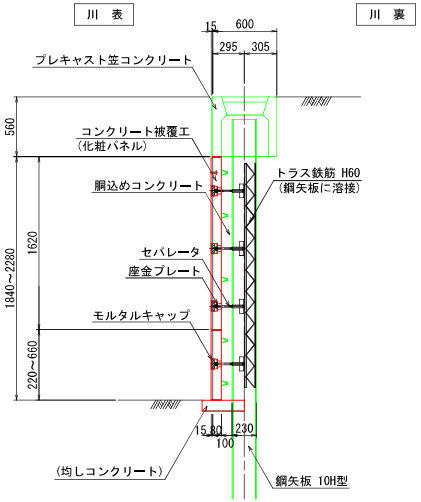


正面図

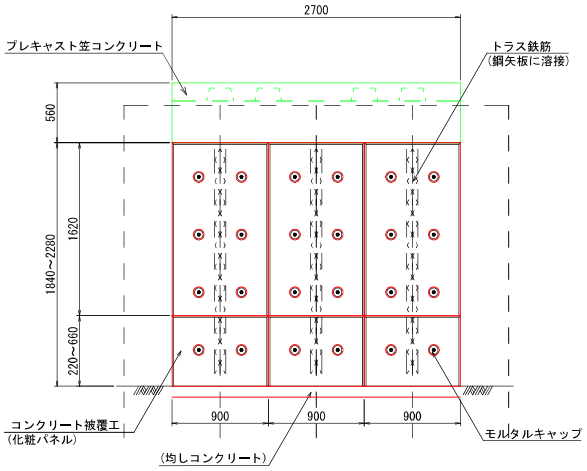


化粧パネル構造図

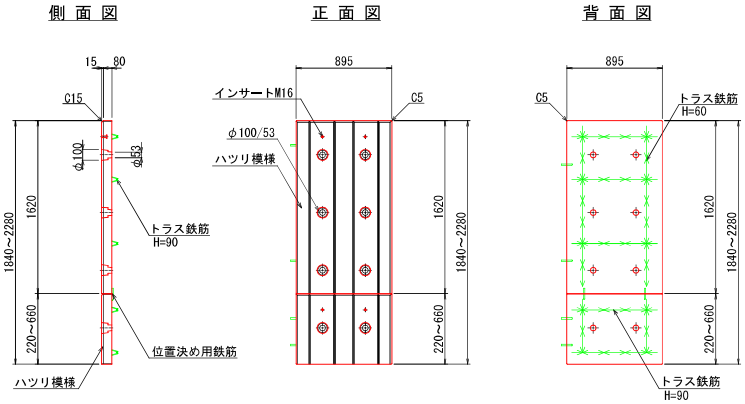
断 面 図
S=1:25



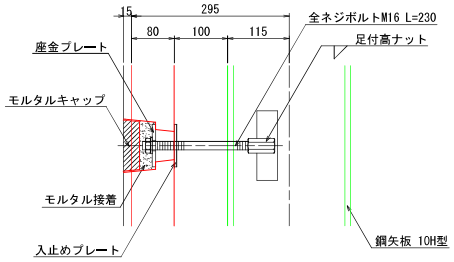
正 面 図
S=1:25



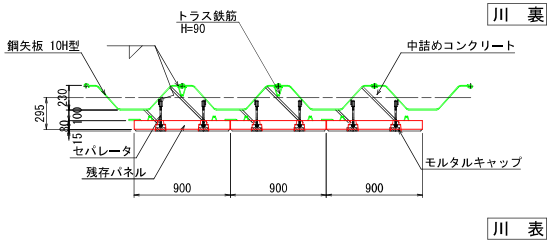
製品単体図
S=1:25



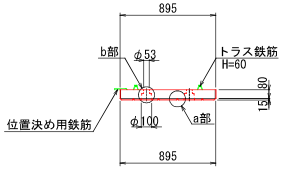
取付け金具詳細図
S=1:5



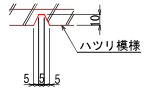
平 面 図
S=1:25



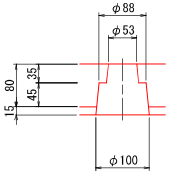
断 面 図
S=1:25



a部詳細図
S=1:10

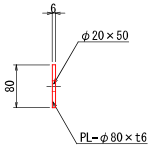


b部詳細図
S=1:5

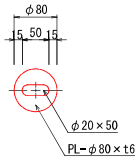


座金プレート
S=1:5

側面図

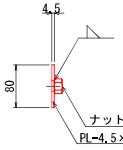


平面図

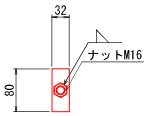


入止めプレート
S=1:5

側面図

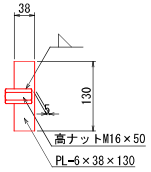


平面図

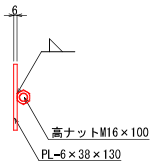


足付高ナット
S=1:5

側面図

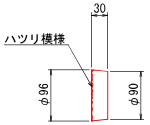


平面図

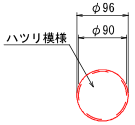


モルタルキャップ
S=1:5

側面図



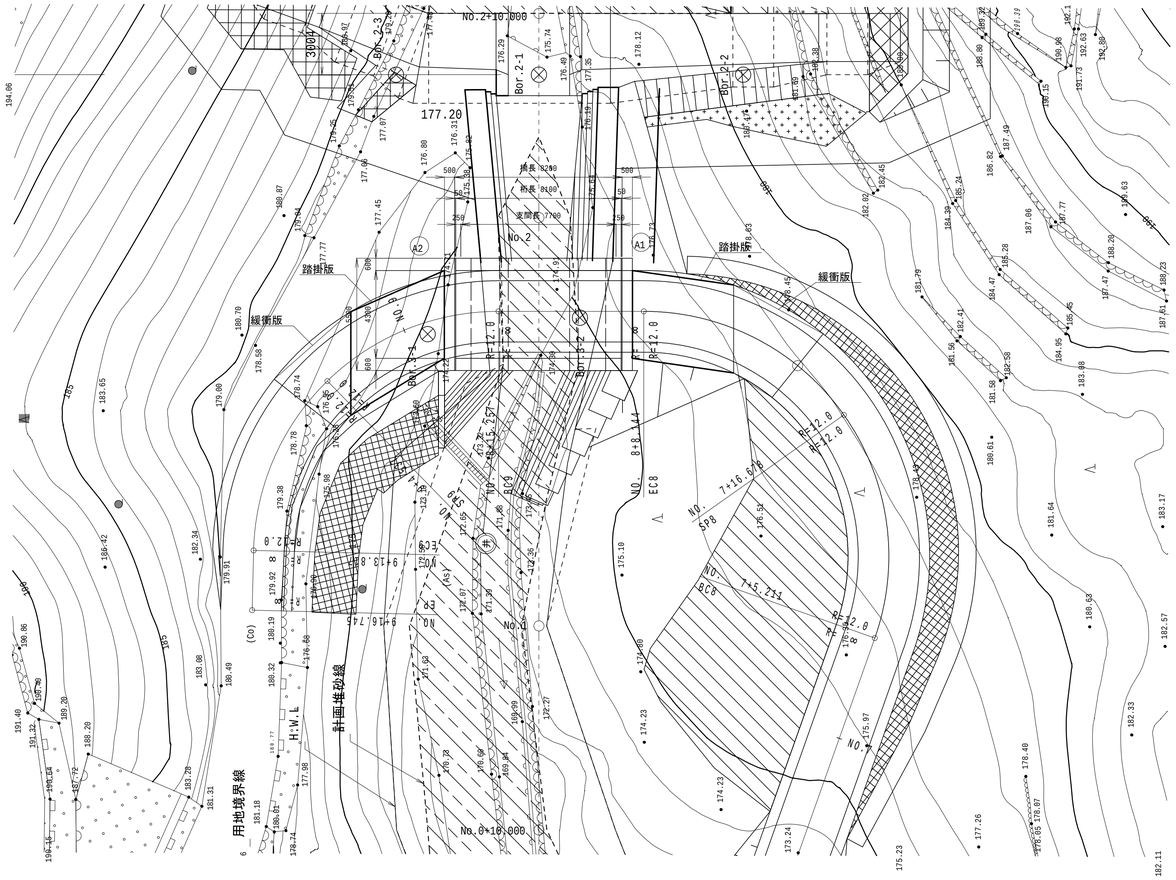
正面図



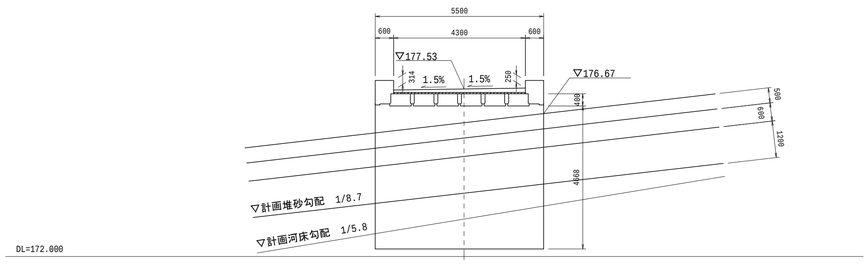
R7_34

橋梁一般図

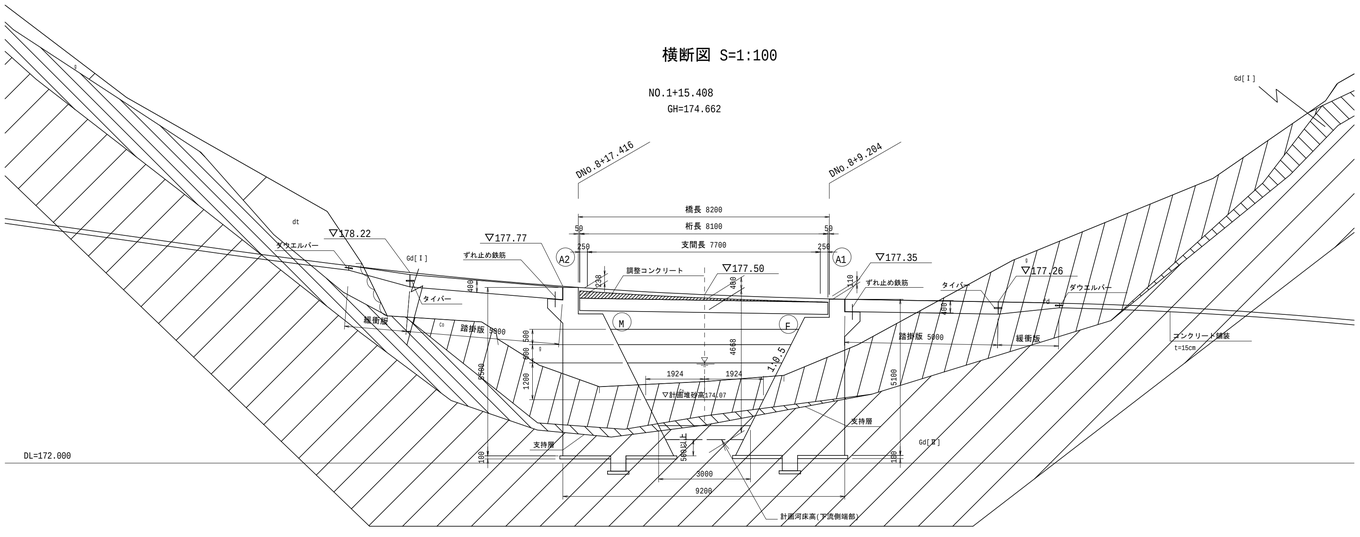
平面図 S=1:150



側面図 S=1:100



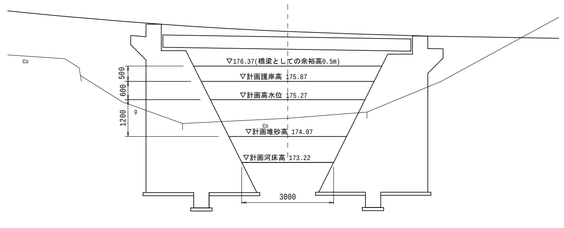
横断図 S=1:100



設計条件

橋名		
路線名		ー(市道～林道熊坂線への連絡通路)
道路規格		第3種　第5級
設計速度		V=20km/hr
計画交通量		500台未満/日
重要度区分		A種の橋
設計活荷重		A活荷重
形式	上部工	PC単純プレテンション方式床版橋
	下部工	重力式橋台
	基礎工	A1,A2　直接基礎
橋長		8.200m
桁長		8.100m
支間長		7.700m
有効幅員		4.30m
斜角		A1：θ＝90° 00′ 00″ A2：θ＝90° 00′ 00″
平面線形		R=∞
縦断勾配		i=14.059%　VCL　i=1.729%
横断勾配		1.500%　1.500%
使用材料	上部工 コンクリート	主　桁：σck = 50 N/mm2 場所打ち：σck = 30 N/mm2
	上部工 鉄筋	SD345
	下部工 コンクリート	竪壁、フーチング：σck = 18 N/mm2 胸壁、突起：σck = 24 N/mm2
	下部工 鉄筋	SD345
設計水平震度（レベル1）		橋軸方向　A1橋台：kh=0.20　A2橋台：kh=0.20 橋軸直角方向　A1橋台：kh=0.20　A2橋台：kh=0.20
設計水平震度（レベル2）		(ﾀｲﾌﾟ1)橋軸方向　A1橋台：kh=1.40　A2橋台：kh=1.33 橋軸直角方向　A1橋台：kh=1.30　A2橋台：kh=1.33 (ﾀｲﾌﾟ2)橋軸方向　A1橋台：kh=1.54　A2橋台：kh=1.19 橋軸直角方向　A1橋台：kh=1.13　A2橋台：kh=1.18
地盤種別		A1橋台、A2橋台　　Ⅰ種地盤
適用示方書		道路橋示方書・同解説　Ⅰ～Ⅴ （平成29年11月）　日本道路協会

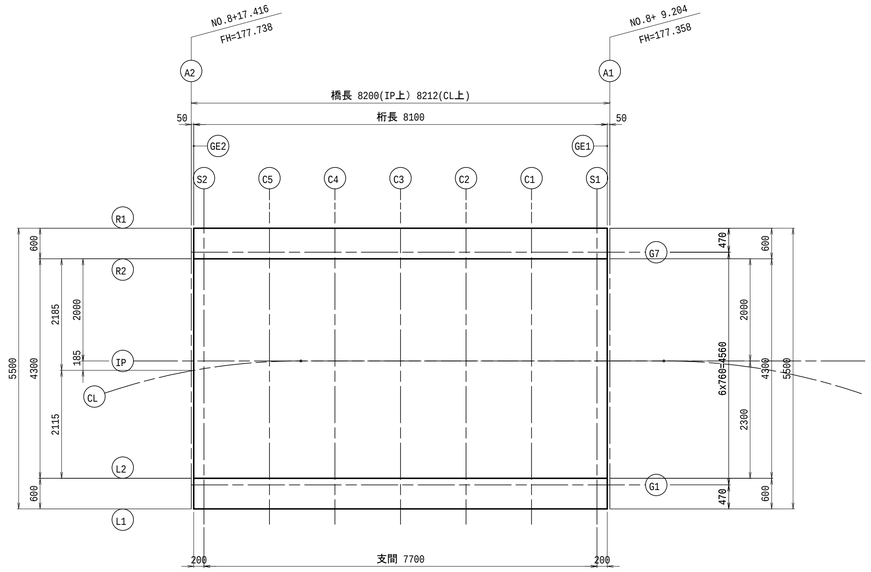
交差条件　S=1:100



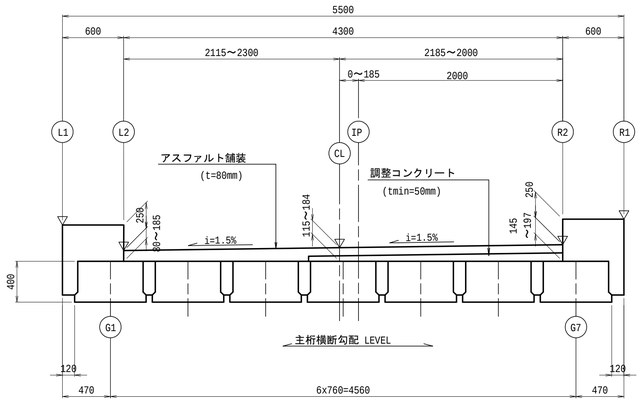
河川名(渓流)	大津川水系　父鬼川　右第一支川
計画高水流量	6.6 m3/sec
計画高水勾配	1/8.7
計画河床勾配	1/5.8
計画堆砂勾配	1/8.7

線　形　図

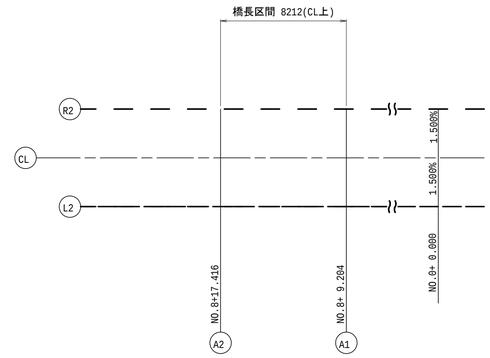
側 面 図　S=1:60



断 面 図　S=1:30



3．横断要素



4．橋台設置方法

道路中心線(CL)上の NO.8+ 9.204において90° 00′ 00"にA1橋台を設置する。
A2橋台は、道路中心(CL)上の No.8+17.416おいてA1橋台と平行に設置する。

線 形 要 素

1．縦断要素

2．平面要素

主要点座標（CL）

測　点	X 座 標	Y 座 標	要　素
No.9+ 4.537	-175959.9060	-47026.3910	R= 12.000
No.8+15.257	-175966.4240	-47032.6700	R= ∞
No.8+ 8.144	-175969.3080	-47039.1720	R= 12.000
No.7+16.678	-175968.6430	-47050.1870	

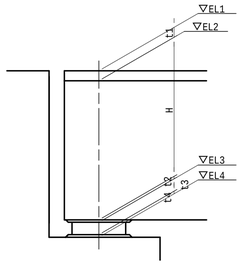
5．小座標の設定

道路中心線（IP)とA1橋台との交点を、小座標原点（0,0）とする。
IPとA1,A2橋台の交点を結ぶ直線をX軸とし、Y軸はX軸に直角方向とする。

座標値（小座標）

（単位：ｍ）

		A2	GE2	S2	C5	C4	C3	C2	C1	S1	GE1	A1
R1	X	0.0000	0.0500	0.2500	1.5333	2.8167	4.1000	5.3833	6.6667	7.9500	8.1500	8.2000
	Y	2.6000	2.6000	2.6000	2.6000	2.6000	2.6000	2.6000	2.6000	2.6000	2.6000	2.6000
	Z	177.9917	177.9889	177.9774	177.9082	177.8401	177.7757	177.7213	177.6772	177.6432	177.6388	177.6377
G7	X	0.0000	0.0500	0.2500	1.5333	2.8167	4.1000	5.3833	6.6667	7.9500	8.1500	8.2000
	Y	2.1300	2.1300	2.1300	2.1300	2.1300	2.1300	2.1300	2.1300	2.1300	2.1300	2.1300
	Z	177.9959	177.9929	177.9810	177.9092	177.8401	177.7757	177.7213	177.6772	177.6432	177.6388	177.6377
R2	X	0.0000	0.0500	0.2500	1.5333	2.8167	4.1000	5.3833	6.6667	7.9500	8.1500	8.2000
	Y	2.0000	2.0000	2.0000	2.0000	2.0000	2.0000	2.0000	2.0000	2.0000	2.0000	2.0000
	Z	177.7471	177.7441	177.7321	177.6595	177.5901	177.5257	177.4713	177.4272	177.3932	177.3888	177.3877
IP	X	0.0000	0.0500	0.2500	1.5333	2.8167	4.1000	5.3833	6.6667	7.9500	8.1500	8.2000
	Y	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z	177.7385	177.7349	177.7207	177.6350	177.5601	177.4957	177.4413	177.3972	177.3632	177.3588	177.3577
CL	X	0.0000	0.0500	0.2500	1.5333	2.8167	4.1000	5.3833	6.6667	7.9500	8.1500	8.2000
	Y	-0.1935	-0.1845	-0.1507	-0.0157	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z	177.7381	177.7345	177.7201	177.6348	177.5601	177.4957	177.4413	177.3972	177.3632	177.3588	177.3577
L2	X	0.0000	0.0500	0.2500	1.5333	2.8167	4.1000	5.3833	6.6667	7.9500	8.1500	8.2000
	Y	-2.3000	-2.3000	-2.3000	-2.3000	-2.3000	-2.3000	-2.3000	-2.3000	-2.3000	-2.3000	-2.3000
	Z	177.7404	177.7358	177.7178	177.6096	177.5256	177.4612	177.4068	177.3627	177.3287	177.3243	177.3232
G1	X	0.0000	0.0500	0.2500	1.5333	2.8167	4.1000	5.3833	6.6667	7.9500	8.1500	8.2000
	Y	-2.4300	-2.4300	-2.4300	-2.4300	-2.4300	-2.4300	-2.4300	-2.4300	-2.4300	-2.4300	-2.4300
	Z	177.9930	177.9884	177.9701	177.8602	177.7756	177.7112	177.6568	177.6127	177.5787	177.5743	177.5732
L1	X	0.0000	0.0500	0.2500	1.5333	2.8167	4.1000	5.3833	6.6667	7.9500	8.1500	8.2000
	Y	-2.9000	-2.9000	-2.9000	-2.9000	-2.9000	-2.9000	-2.9000	-2.9000	-2.9000	-2.9000	-2.9000
	Z	178.0033	177.9984	177.9790	177.8628	177.7756	177.7112	177.6568	177.6127	177.5787	177.5743	177.5732



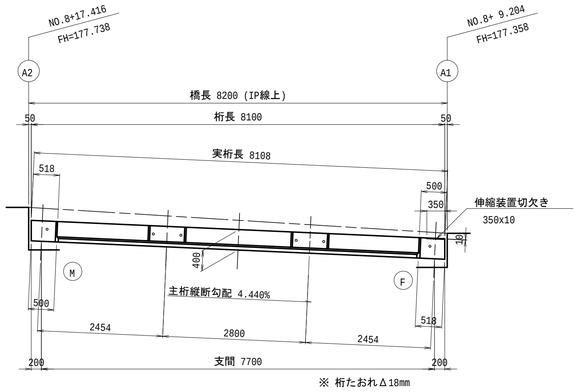
構造高表

（単位：ｍ）

		A2橋台 (S2)			A1橋台 (S1)		
		G7桁	CL	G1桁	G7桁	CL	G1桁
計　画　高	▽ EL1	177.981	177.720	177.970	177.643	177.363	177.579
舗　装　厚	t1	0.438	0.177	0.427	0.442	0.162	0.378
桁上天端高	▽ EL2	177.543	177.543	177.543	177.201	177.201	177.201
桁　　高	H	0.400	0.400	0.400	0.400	0.400	0.400
桁下天端高	▽ EL3	177.143	177.143	177.143	176.801	176.801	176.801
レ ア ー 厚	t2	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020
支　承　厚	t3	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023
沓座モルタル厚	t4	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040
下部工天端高	▽ EL4	177.060	177.060	177.060	176.718	176.718	176.718

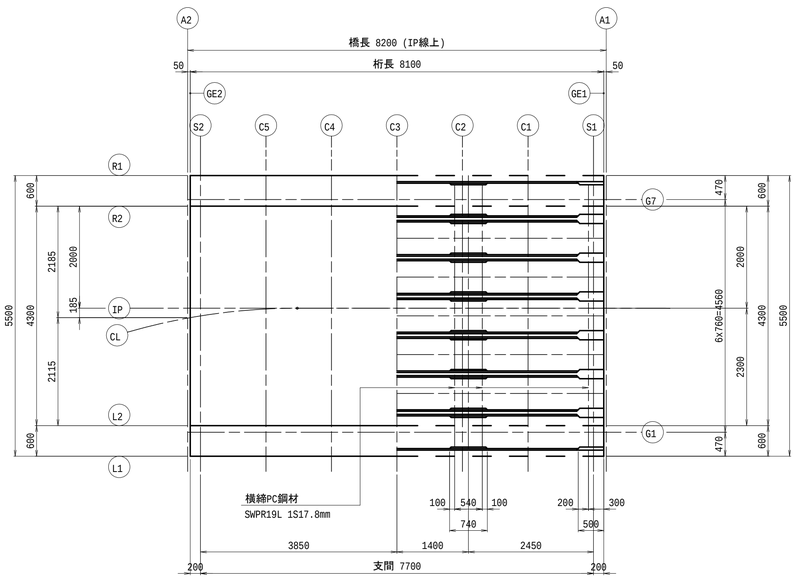
上 部 工 構 造 一 般 図

側 面 図 S=1:60



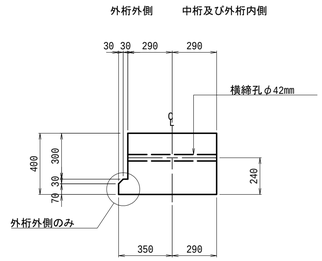
※ 桁たおれ△18mm

平 面 図 S=1:60

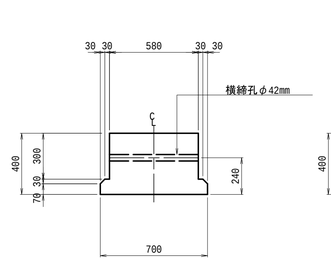


主桁断面図 S=1:20

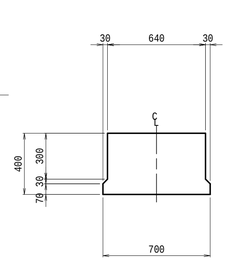
支点横桁部



中間横桁部

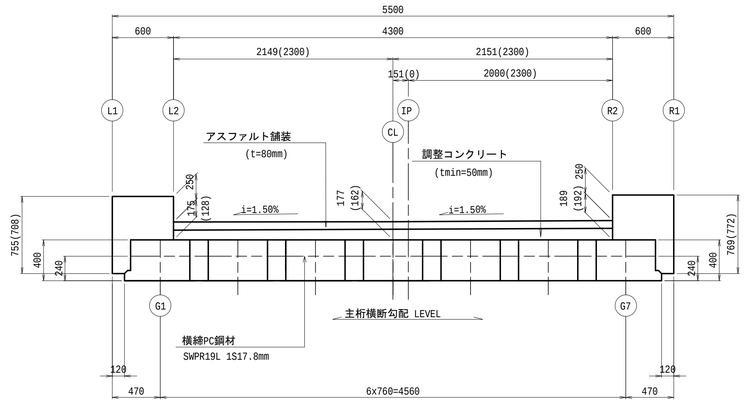


標 準 部



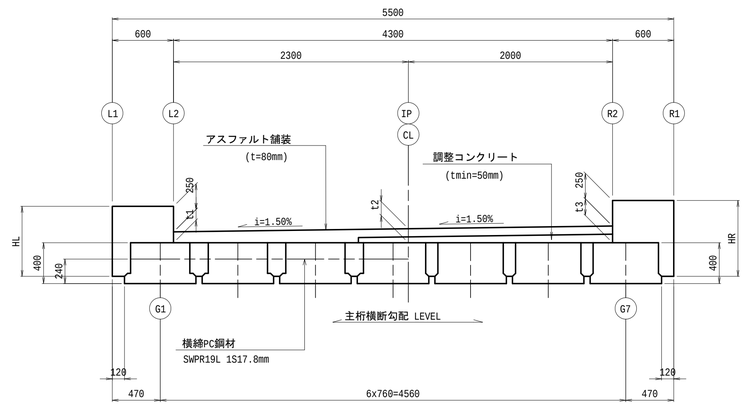
断 面 図 S=1:30

A2側 支点横桁部 (A1側 支点横桁部)

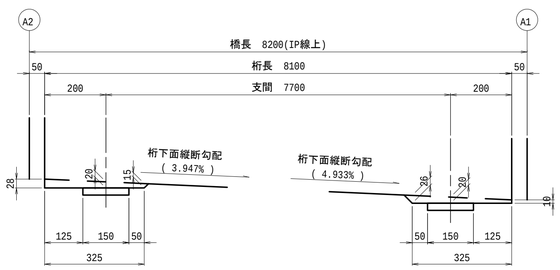


※ ( )内寸法はA1側を示す。

中間横桁部 標 準 部



レアー詳細図 S=1:10



※ 主桁下面勾配は、キャンバーを考慮した値を示す。

設計条件

種 別	プレストレストコンクリート道路橋
型 式	プレテンション方式PC単純床版橋
橋 長	8.200 m (IP線上)
桁 長	8.100 m
支 間	7.700 m
有 効 幅 員	4.300 m (車道)
荷 重	A活荷重
斜 角	90° 00'00"
衝 撃 係 数	i = 20/ (50+L)

使用材料及び制限値

(単位 : N/mm) ^{2}

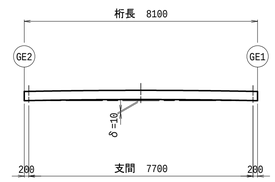
種別			主桁	場所打ち
コンクリート	設計基準強度		50.0	30.0
	プレストレス導入時圧縮強度		35.0	25.0
	曲げ圧縮応力度制限値	プレストレス導入直後	24.00	16.86
		前提条件	16.00	11.00
		耐荷性能	24.00	16.50
		耐久性能	16.00	11.00
	曲げ引張応力度制限値	プレストレス導入直後	1.89	1.51
		前提条件	0.00	0.00
		耐荷性能	3.10	2.20
		耐久性能	1.80	1.20
	コンクリートが負担できる平均せん断応力度	基本値	0.44	0.37
		最大値	6.00	4.00
	斜引張応力度制限値	前提条件(せん断orねじり)	1.20	0.80
		前提条件(せん断+ねじり)	1.50	1.10
		耐荷性能(せん断orねじり)	2.60	1.70
		耐荷性能(せん断+ねじり)	3.10	2.20
		耐久性能(せん断orねじり)	2.30	1.70
		耐久性能(せん断+ねじり)	2.80	2.20
PC鋼材	種別		SWPR7BL 1S12.7mm	SWPR19L 1S17.8mm
	引張強度		1850	1850
	降伏点応力度		1580	1580
	引張応力度制限値	導入時	1422	1422
		導入直後	1295	1295
		有効(耐荷性能)	1202	1202
		有効(耐久性能)	1110	1110
鉄筋	種別		SD345	
	降伏点応力度		345	
	引張応力度最大値	一般	210	
		耐久性(防食)	100	
		耐久性(疲労)	180	
	引張応力度制限値	頂版部 耐久性(防食)	100	
		頂版部 耐久性(疲労)	120	

数 値 表

(単位 : mm)

		GE2	S2	C5	C4	C3	C2	C1	S1	GE1	平均
舗装厚	t1	185	175	119	89	80	84	100	128	133	106
	t2	184	177	144	123	115	118	134	162	167	136
	t3	193	189	168	153	145	148	164	192	197	163
地覆高	HL	765	755	699	669	660	664	680	708	713	686
	HR	773	769	748	733	725	728	744	772	777	743

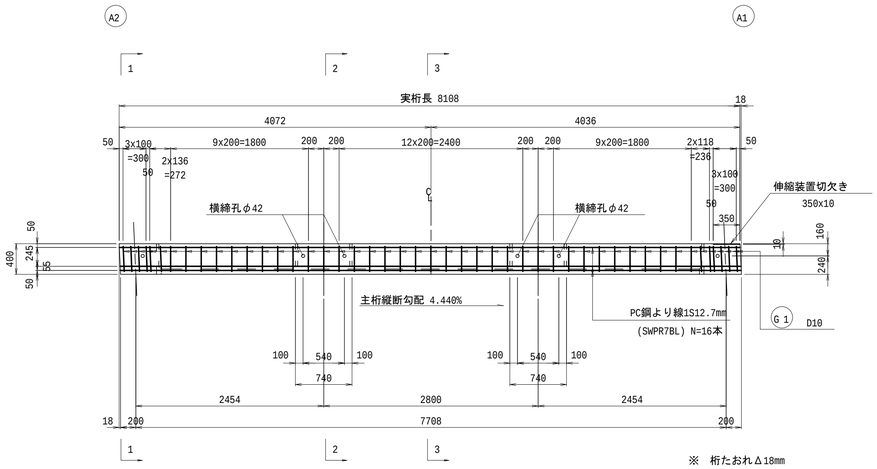
キャンバー図



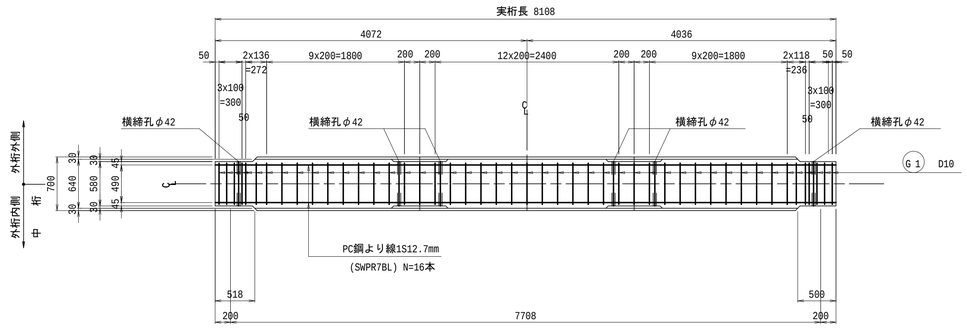
δは、主桁製作後90日のそり量である。
架設に当たっては、各工場のそり測定結果を基にして、
設計計画に合うように、舗装厚を調整する必要がある。

主 桁 配 筋 図

側 面 図　S=1:40

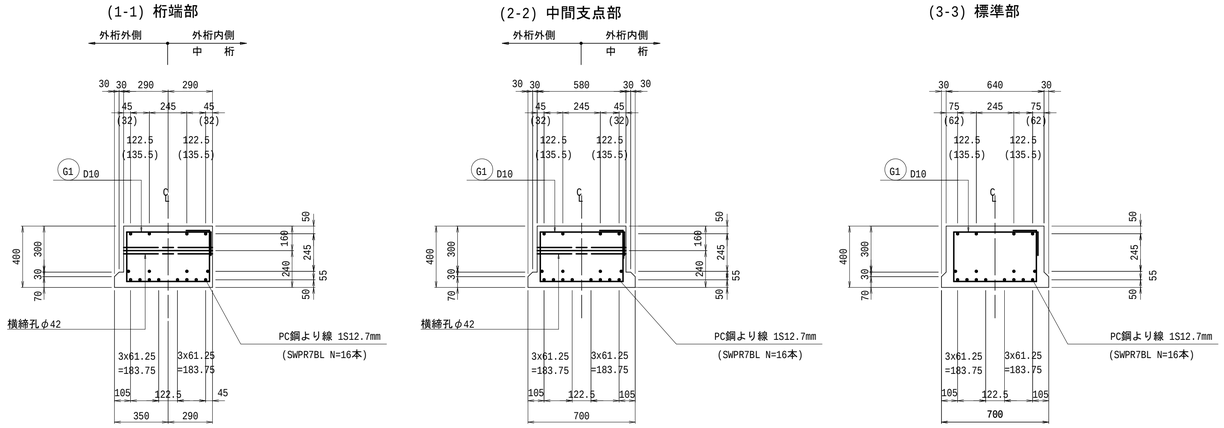


平 面 図　S=1:40

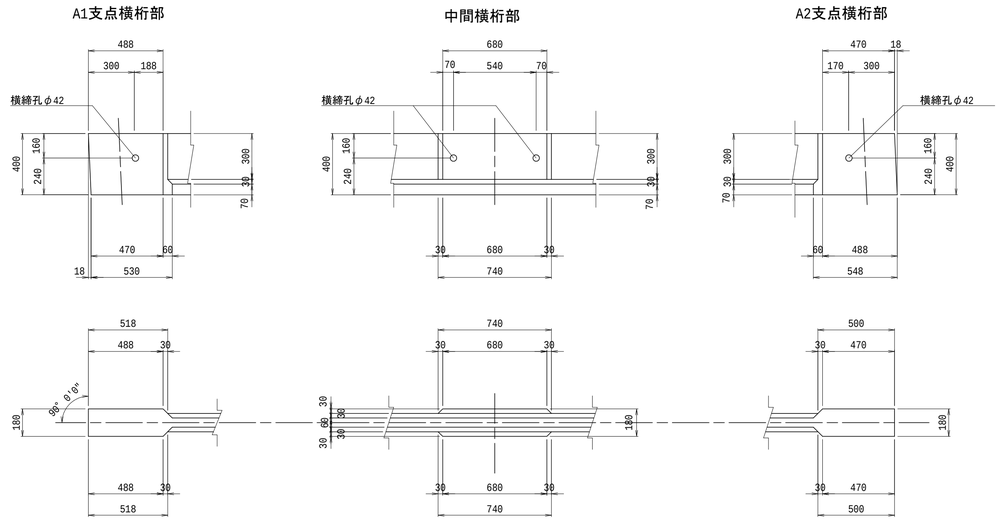


※平面図は桁上縁の寸法を示す。

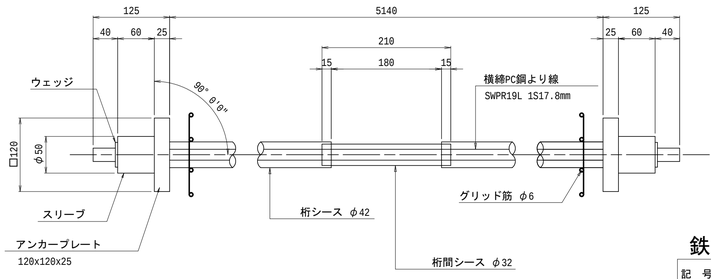
主桁断面図　S=1：20

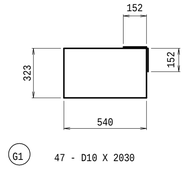


横締位置詳細図　S=1:20



定着具詳細図　S=1:5



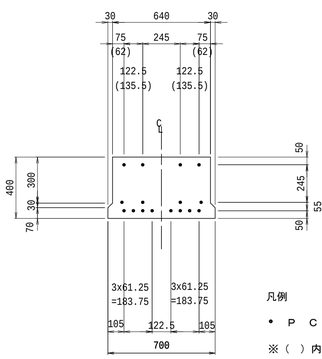


鉄 筋 表

（主桁１本当り）

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	１本当質量	質 量	摘 要
G 1	D10	2030	47	0.560	1.14	54	
SD345							
合計	D10	54 kg					

ＰＣ鋼材配置図　S=1：20

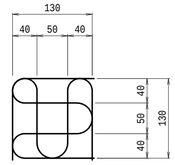


凡例

● ＰＣ 鋼 材（N=16本）

※（ ）内寸法は、最下段及び最上段以外のＰＣ鋼より線の水平距離を示す。

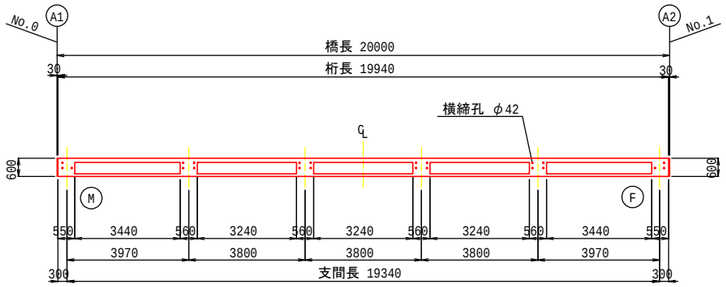
グリッド筋詳細図　S=1:5



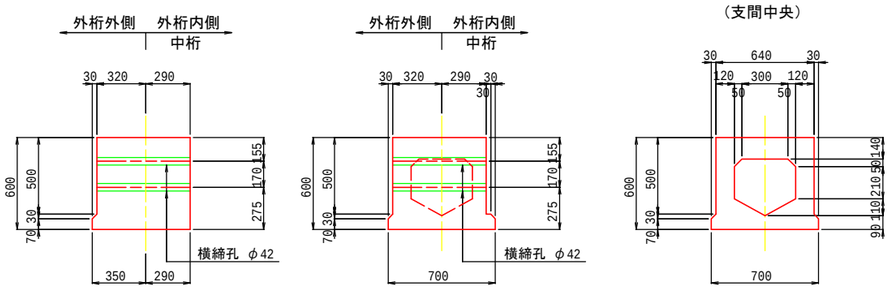
1組当り　φ6(SR235) L≒1246mm(0.28kg)

南海橋 上部工構造一般図

側 面 図 S=1:100



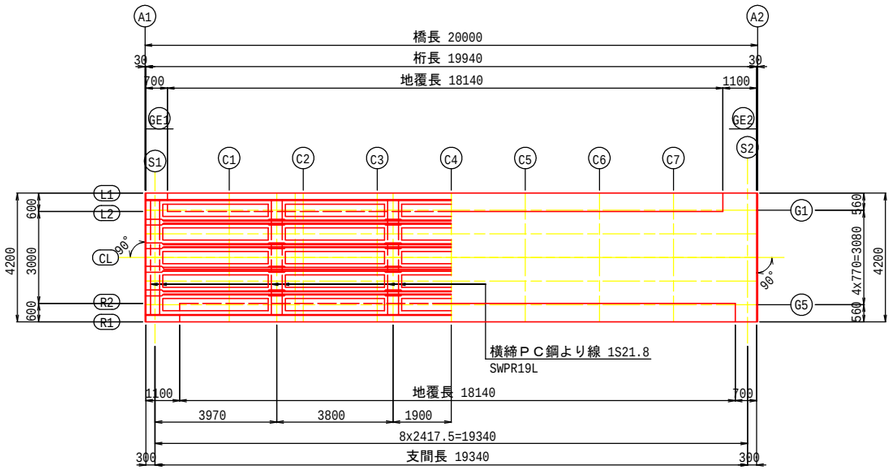
主桁断面図 S=1:20



材料強度及び許容応力度

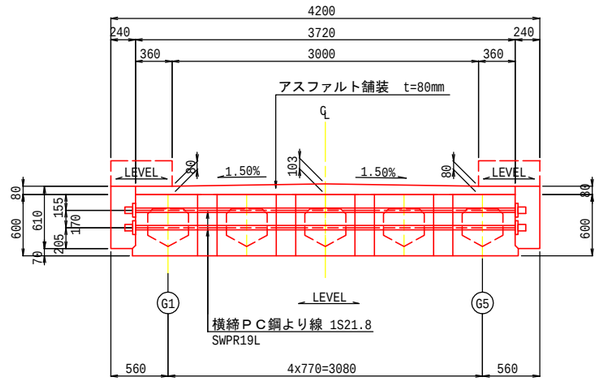
			主 桁	場所打ち
コンクリート N/mm²	設計基準強度		80	30
	プレストレス導入時圧縮強度		51	25
	許容曲げ圧縮応力度	プレストレス導入時	29.0	14.0
		設計荷重時	26.0	11.0
	許容曲げ引張応力度	プレストレス導入時	2.0	0
		全死荷重時	0	0
		設計荷重時	2.0	0
	コンクリートが負担できる平均せん断応力度		0.70	0.45
	コンクリートの平均せん断応力度の最大値		6.0	4.0
	許容斜引張応力度	活荷重及び衝撃以外の主荷重	1.3	0.8
		衝突荷重または地震の影響を考慮しない荷重の組合せ	2.5	1.7
PC鋼材 N/mm²	呼称径		SWPR7BL 1S15.2B	SWPR19L 1S21.8
	引張強度		2260	1800
	降伏点応力度		1920	1600
	許容引張応力度	設計荷重時	1350	1080
		導入直後	1580	1260
		導入時	1720	1440
鉄筋 N/mm²	規格		SD345	
	降伏点応力度		345	
	許容引張応力度	引張鉄筋	180	
		床版鉄筋	140	

平 面 図 S=1:100

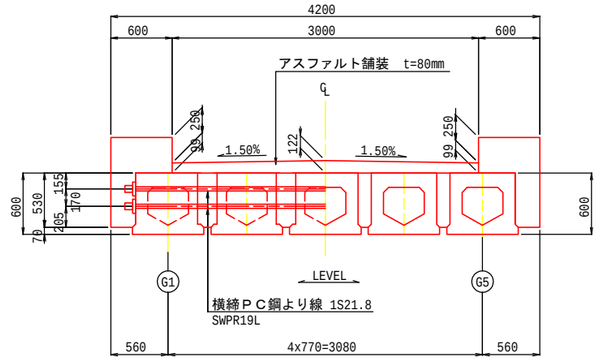


断 面 図 S=1:30

桁端部



中間横桁部 標準部

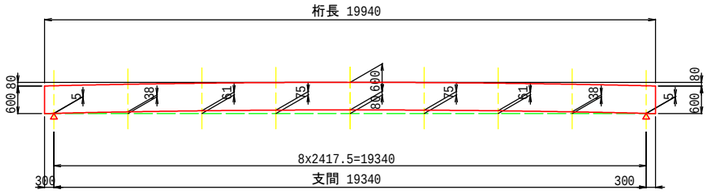


※ 舗装厚は支間中央の値を示す

舗装厚表

	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2
L2	80	81	89	95	98	99	98	95	89	81	80
CL	103	104	112	117	121	122	121	117	112	104	103
R2	80	81	89	95	98	99	98	95	89	81	80

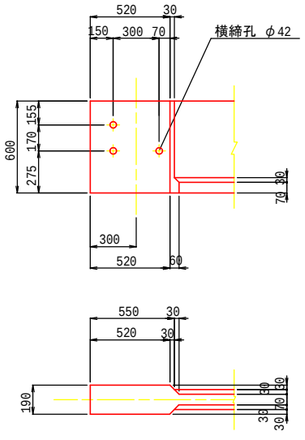
主桁キャンバー図



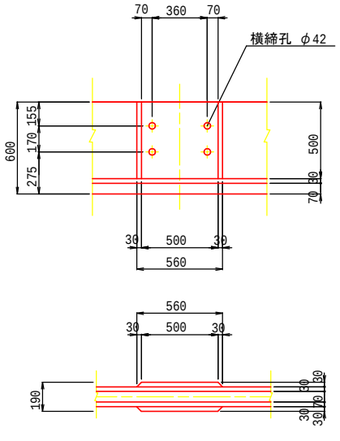
※ 主桁製作後90日におけるそり量を示す。

横締鋼材配置図 S=1:20

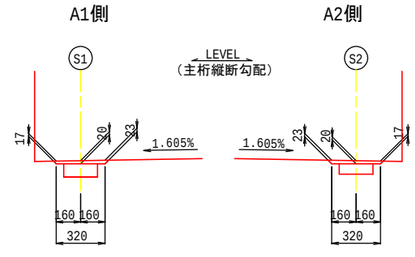
支点部



中間横桁部

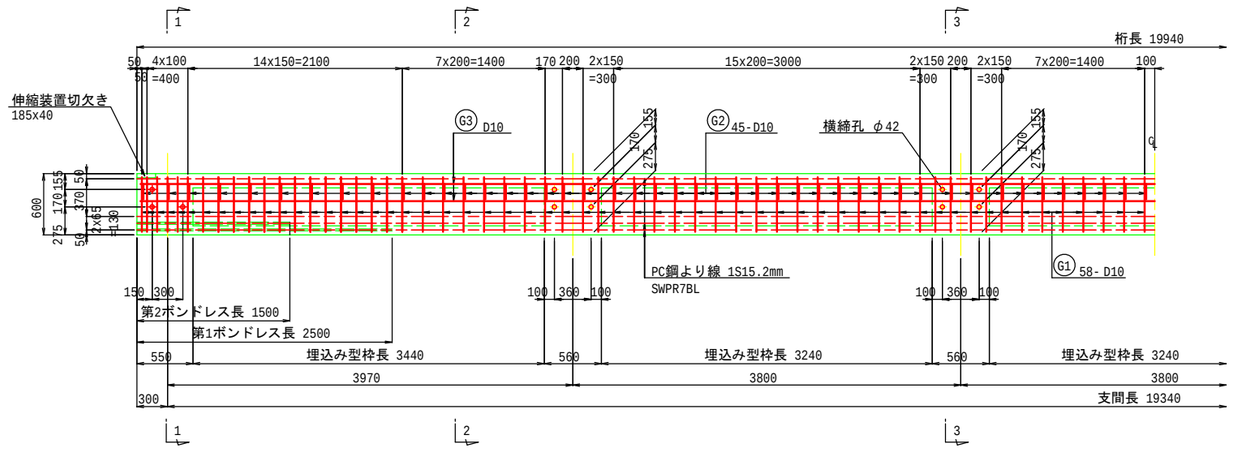


レアー詳細図 S=1:20

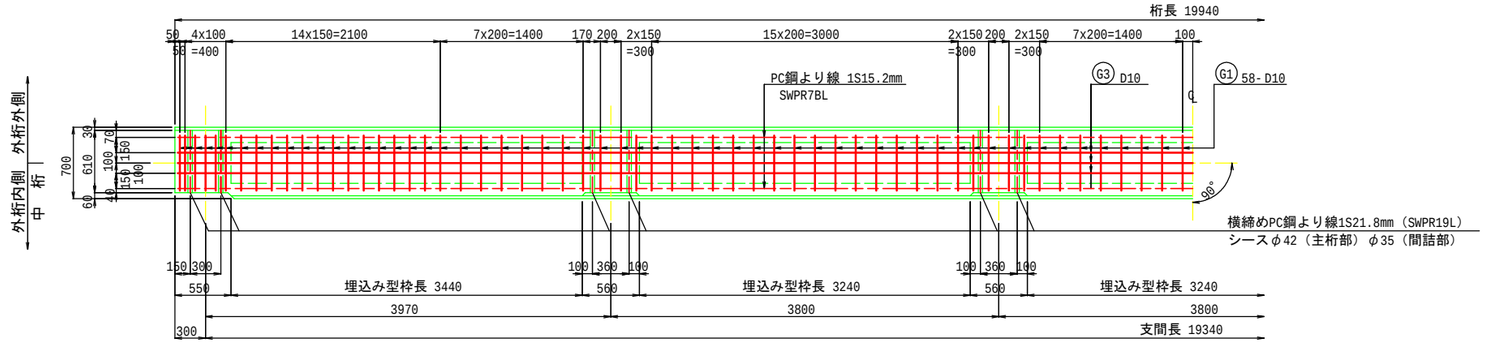


南海橋 主桁配筋図

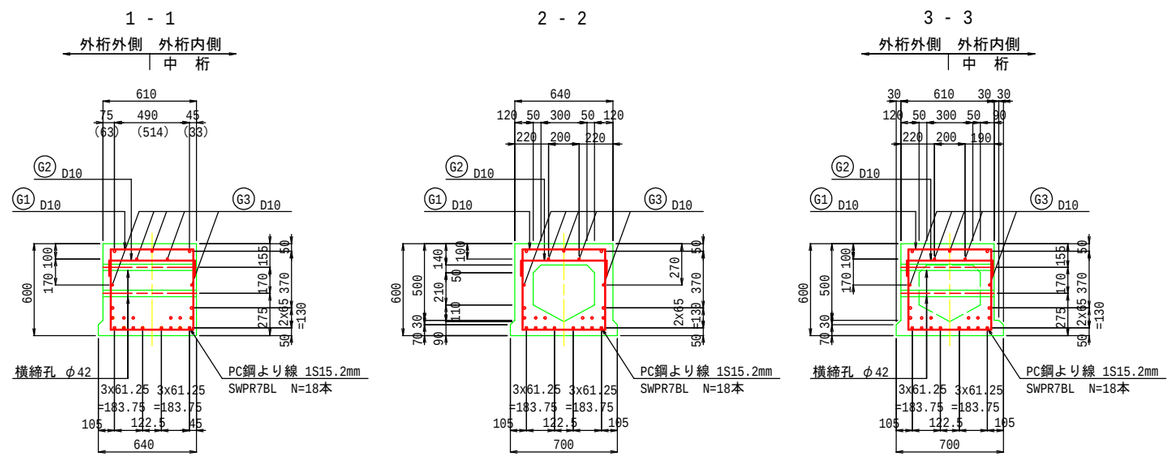
側 面 図 S=1:30



平 面 図 S=1:30



断 面 図 S=1:20



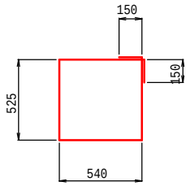
- PC 鋼材
- 第1ボンドコントロール鋼材 L=2500 N=4本
- 第2ボンドコントロール鋼材 L=1500 N=2本

注 ： （ ）内は最下段及び最上段以外のPC鋼より線の水平距離を示す

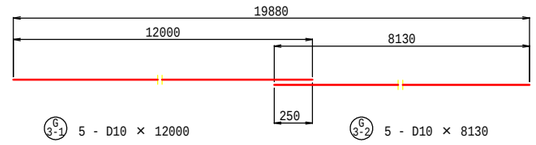
- 鉄筋

鉄 筋 表

記号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
G1	D10	2430	116	0.560	1.36	158	
G2	D10	840	90	0.560	0.47	42	
G3-1	D10	12000	5	0.560	6.72	34	
G3-2	D10	8130	5	0.560	4.55	23	
					D10	257 kg	

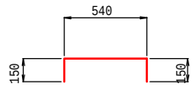


G1 116 - D10 × 2430



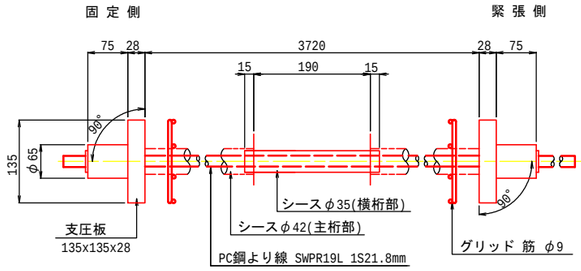
G3-1 5 - D10 × 12000

G3-2 5 - D10 × 8130



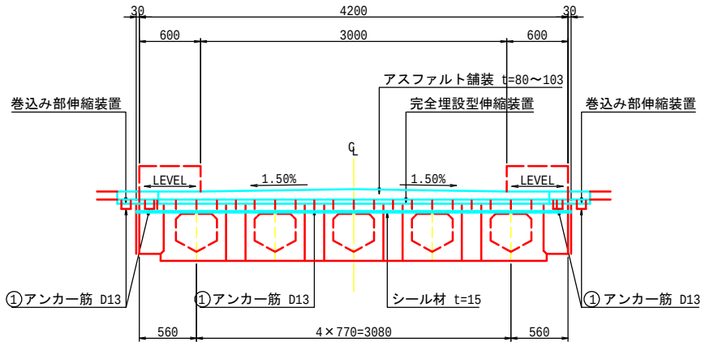
G2 90 - D10 × 840

横締詳細図 S=1:5

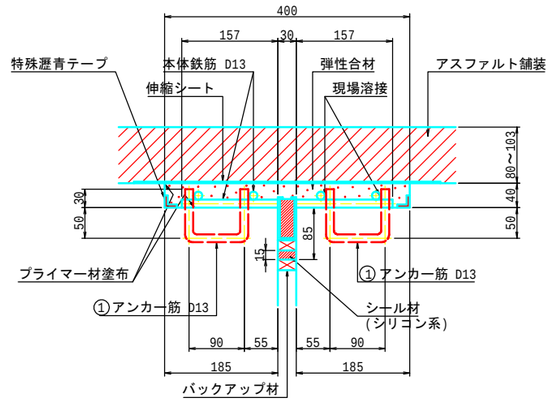


南海橋 伸縮装置詳細図

断 面 図 S=1:30

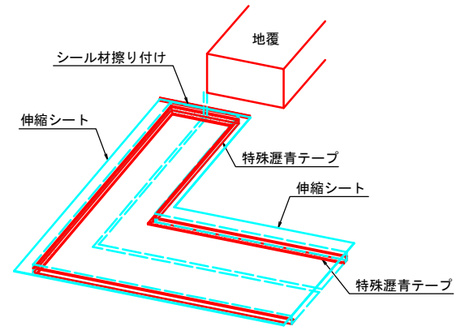


伸縮装置取付断面図 S=1:5

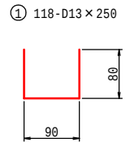


注1）弾性合材を舗設する際には、特殊遮青テープを使用すること。
注2）特殊遮青テープは施工箇所を囲むように設置すること。

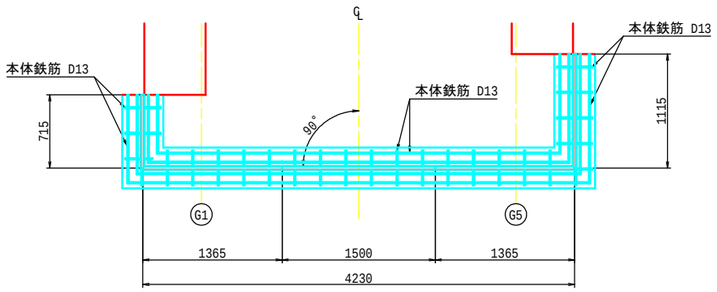
施工境界部イメージ図



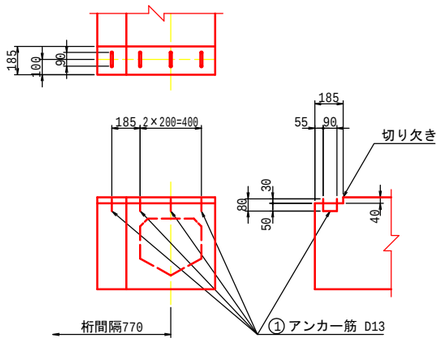
鉄筋加工図 S=1:5



部材平面図 S=1:30

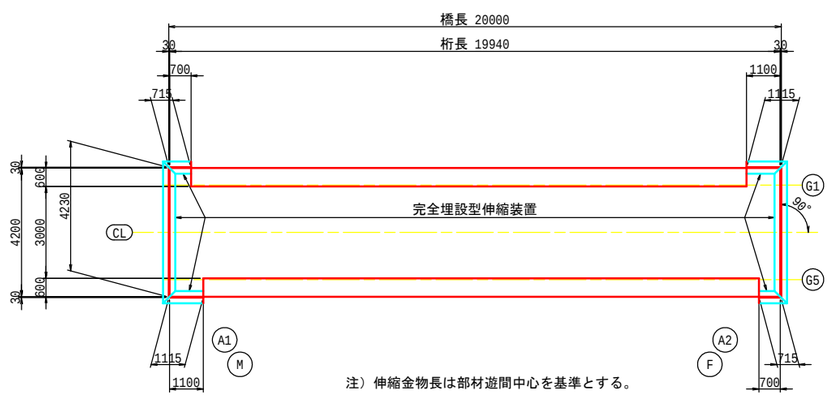


横目地部アンカー筋埋設図 S=1:20



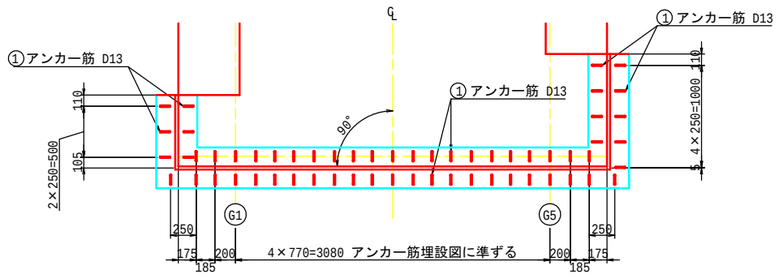
注）橋台側のアンカー位置は、桁軸方向に平行移動の位置とする。

配 置 図 S=1:100



注）伸縮金物長は部材遊間中心を基準とする。

アンカー筋配筋図 S=1:30



数量表

名 称	仕 様	単位	数 量	備 考
伸 縮 金 物	完全埋設型伸縮装置	m	12.120	本体鉄筋、伸縮シート装備
プライマー材	FCプライマー	kg	3.0	
弾 性 合 材	特殊成型目地材	m_3	0.194	
シ ー ル 材	シ リ コ ン 系	L	6.0	伸縮部
特殊遮青テープ	特殊遮青テープ	m	26.098	
バックアップ材	ウ レ タ ン 系	m	12.120	

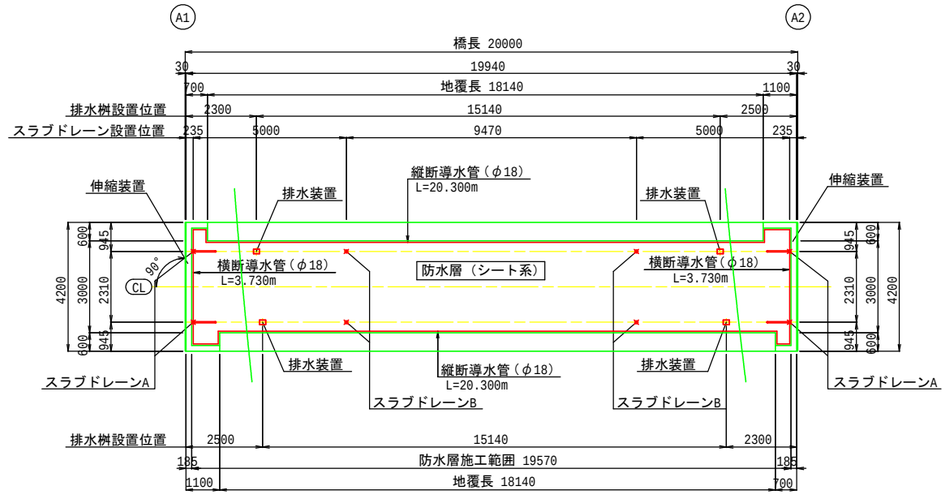
鉄筋質量表

番号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	一本の質量(kg)	質 量(kg)	備 考
①	D13	250	62	0.995	0.249	15.4	橋台側
	D13	250	56	0.995	0.249	13.9	床版側
					計	29.3 kg	

注） アンカー筋は、下部工及び上部工に計上。

南海橋 橋面防水・排水工詳細図

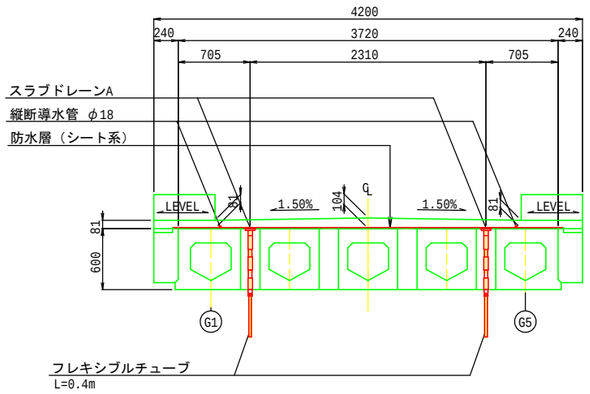
平 面 図 S=1:100



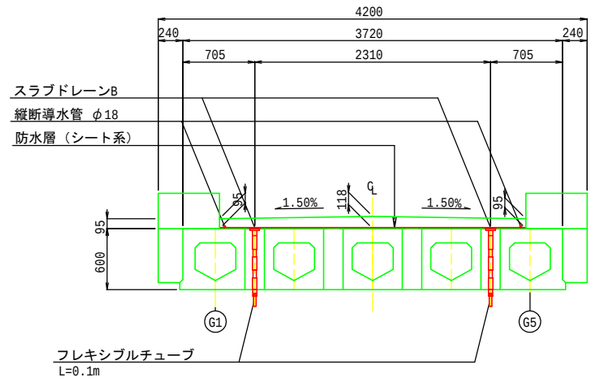
断 面 図 S=1:30

スラブドレーン設置部

スラブドレーンA

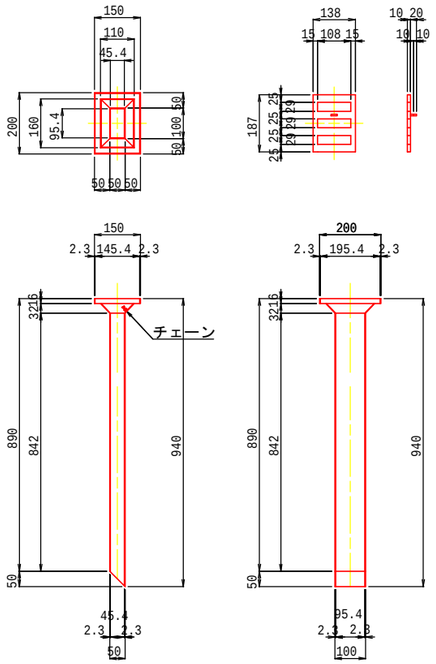


スラブドレーンB



排水桝詳細図 S=1:10

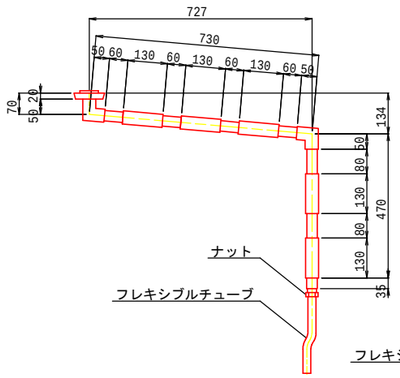
製作数 ： 4組



スラブドレーン詳細図 S=1:10

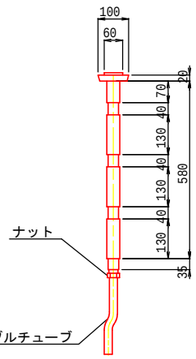
タイプA

製作数 ： 4組

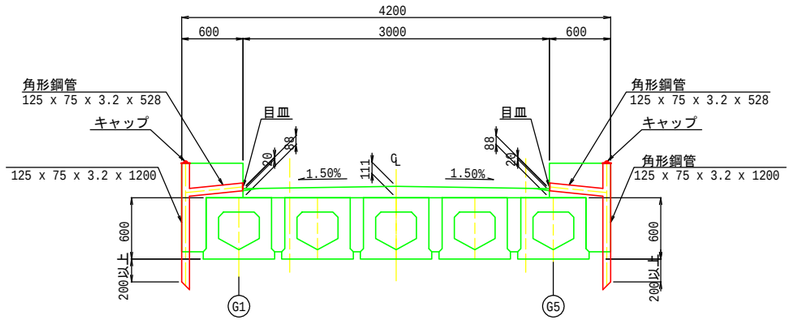


タイプB

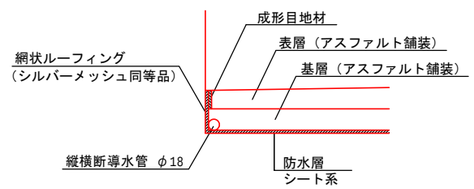
製作数 ： 4組



排水装置設置部



防水層端部詳細図 S=1:5



排水装置材料表

（１組当り）

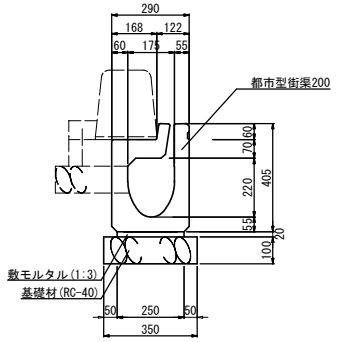
品　名	材　質	数量	重　量	備　考
本　体	SS 400	1	5.2	亜鉛メッキ
目　皿	FC 250	1	1.3	亜鉛メッキ
チェーン	SS 400	1	0.1	亜鉛メッキ
合計			6.6 kg	

防水工材料表

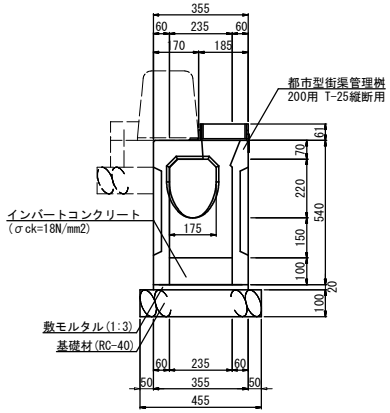
名　称	仕様	単位	数 量	備 考
防水層	シート系	m^2	59.9	
縦横断導水管	φ18	m	48.1	スプリングメッシュ同等品以上
スラブドレーン		個	8	溶融亜鉛メッキ
フレキシブルチューブ	SUS304 φ20	m	2.0	L=100mm×4本,L=400mm×4本
端部目地材		m	48.5	シルバーメッシュ同等品以上
成形目地材	t=5mm	m	48.5	セロシールＳＳ同等品以上

構　造　図　(1)　S=1:10

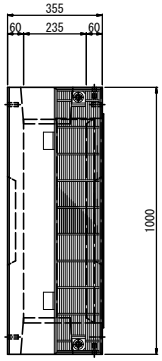
都市型街渠200



都市型街渠桝200

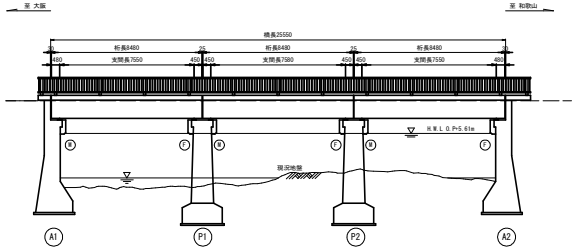


平面図

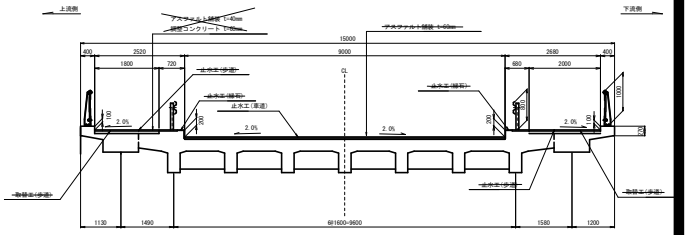


伸縮装置補修工詳細図

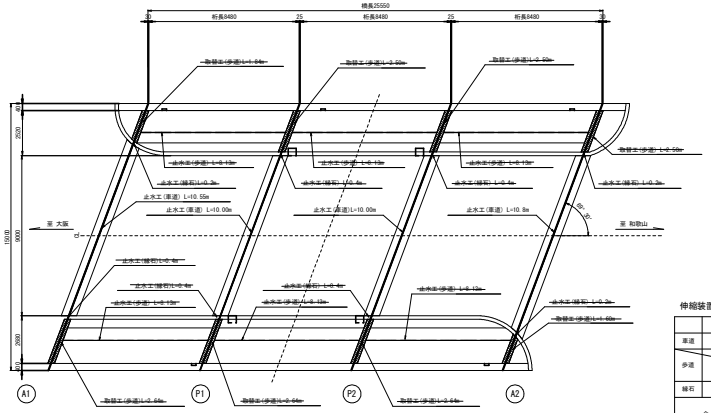
側 面 図　S=1:100



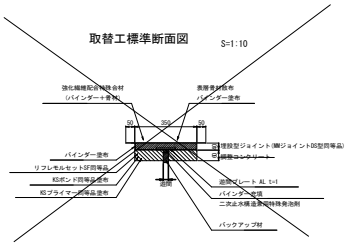
断 面 図　S=1:50



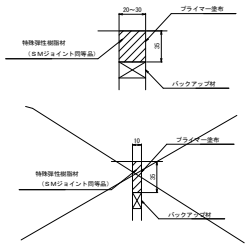
平 面 図　S=1:100



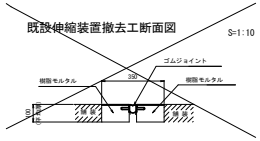
取替工標準断面図　S=1:10



止水工標準断面図　S=1:2



既設伸縮装置撤去工断面図　S=1:10



伸縮装置補修工 数量表

	名称	詳細	単位	数量	備 考
車道	伸縮装置補修工	止水工	m	41.35	特殊弾性樹脂材(SMジョイント同等品)
歩道	伸縮装置補修工	取替工	m	18.86	増設型ジョイント(SMジョイントDS型同等品)
		止水工	m	46.78	特殊弾性樹脂材(SMジョイント同等品)
縁石	伸縮装置補修工	止水工	m	4.42	特殊弾性樹脂材(SMジョイント同等品)
合 計		取替工	m	18.86	
		止水工	m	92.75	

既設伸縮装置撤去工 数量表

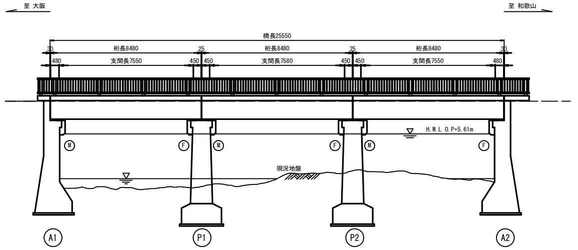
名称	詳細	単位	数量	備 考
伸縮装置撤去工	ゴムジョイント	m	18.86	
	樹脂モルタル	m3	0.66	

年 度	令和4-5年度	番 号	19 ／ 27
路 線 名	一般府道 和歌山泉南線		
委託箇所	泉南郡岬町淡日 地内		
図 面 名	伸縮装置補修工詳細図		
縮 尺	図示	作成年月	

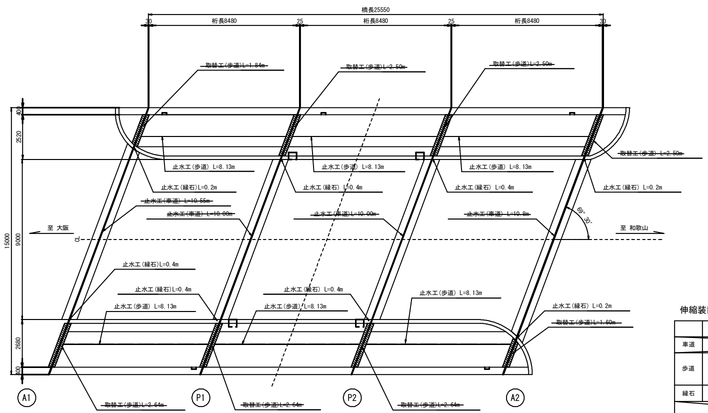
大阪府岸和田土木事務所

伸縮装置補修工詳細図

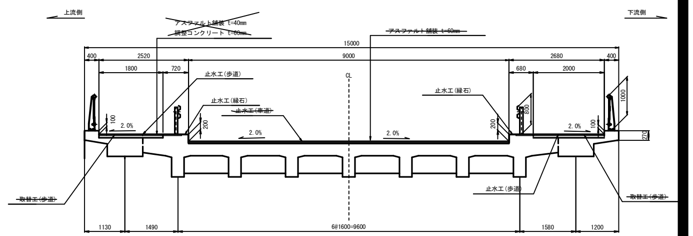
側 面 図　S=1:100



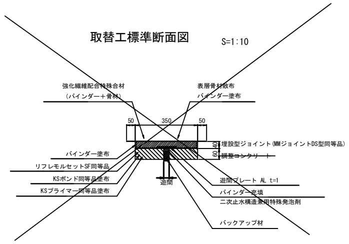
平 面 図　S=1:100



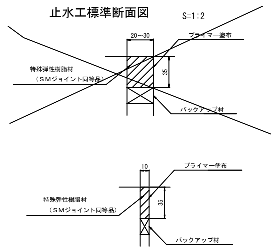
断 面 図　S=1:50



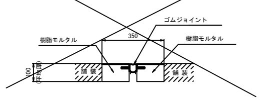
取替工標準断面図　S=1:10



止水工標準断面図　S=1:2



既設伸縮装置撤去工断面図　S=1:10



伸縮装置補修工 数量表

	名称	詳細	単位	数量	備　考
車道	伸縮装置補修工	止水工	m	41.35	特殊弾性樹脂材(SMジョイント同等品)
歩道	伸縮装置補修工	取替工	m	18.86	埋設型ジョイント(MMジョイントDS型同等品)
		止水工	m	48.78	特殊弾性樹脂材(SMジョイント同等品)
縁石	伸縮装置補修工	止水工	m	2.60	特殊弾性樹脂材(SMジョイント同等品)
合　計		取替工	m	18.86	
		止水工	m	92.73	

既設伸縮装置撤去工 数量表

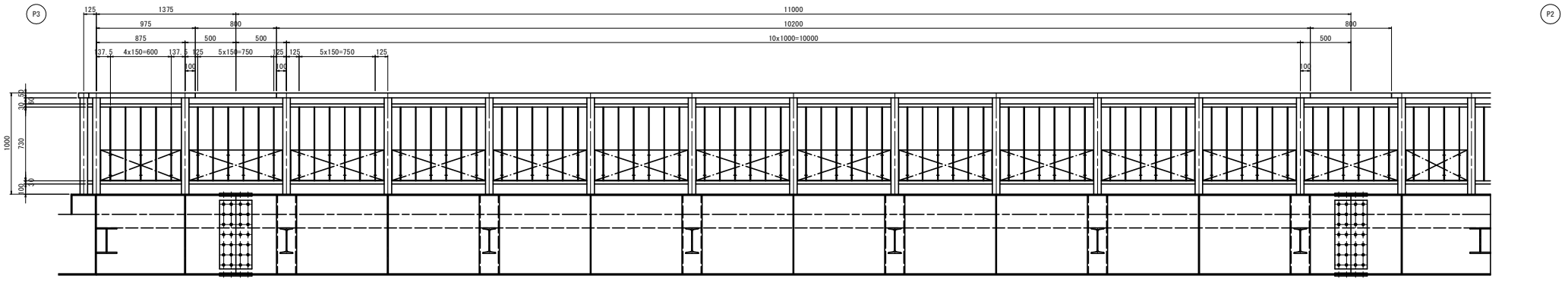
名称	詳細	単位	数量	備　考
伸縮装置撤去工	ゴムジョイント	m	18.86	
	樹脂モルタル	m3	0.66	

年　度	令和4-5年度	番　号	19 ／ 27
路線名	一般府道 和歌山阪南線		
委託箇所	泉南郡岬町深日 地内		
図面名	伸縮装置補修工詳細図		
縮　尺	図示	作成年月	
大阪府岸和田土木事務所			

S=1:20

通路部(P3 - P2)

H1



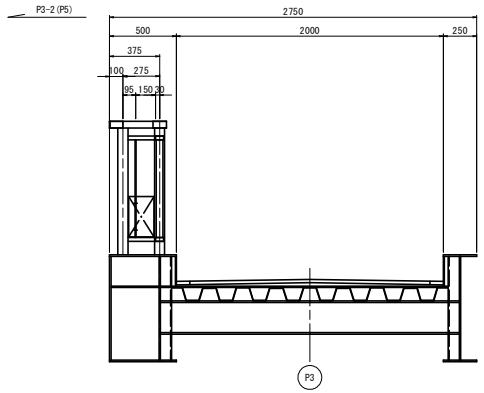
1- □ 100x50x3.2x800
2- □ 60x30x2.3x800
6- FB 50x 6x730
1-FRP 300x 3x915
8-U Bolt M6x70(2-Nut付)
16- PL 20x3.2x45

1- □ 100x50x3.2x1150
3- □ 75x75x3.2x 950
2- □ 60x30x2.3x 63
2- □ 60x30x2.3x 800
6- FB 50x 6x730
1- PL 50x4.5x100
1-FRP 300x 3x690
8-U Bolt M6x70(2-Nut付)
16- PL 20x3.2x45

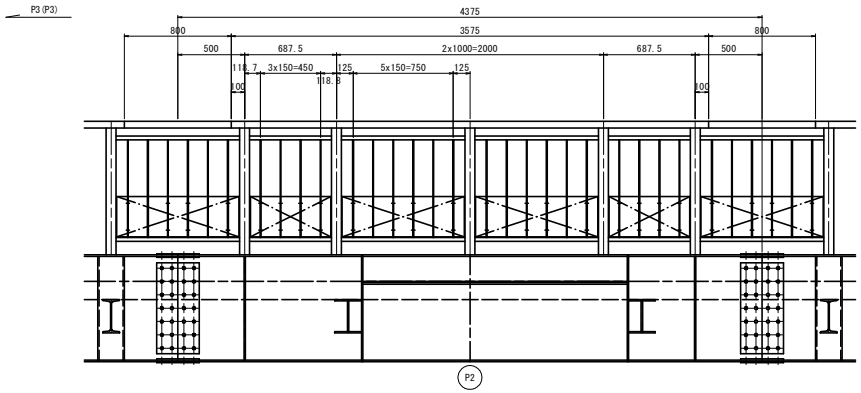
2- □ 100x50x3.2x800
4- □ 60x30x2.3x800
12- FB 50x 6x730
2-FRP 300x 3x915
16-U.Bolt M6x70(2-Nut付)
32- PL 20x3.2x45

1- □ 100x50x3.2x10200
11- □ 75x75x2.3x 950
4- □ 60x30x2.3x 63
20- □ 60x30x2.3x 925
60- FB 50x 6x730
10-FRP 300x 3x915
80-U.Bolt M6x70(2-Nut付)
160- PL 20x3.2x45

H2

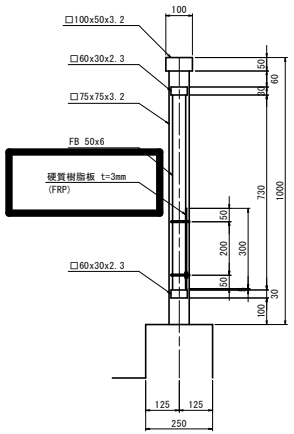


H3

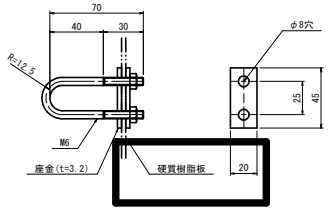


1- □ 100x50x3.2x3575
5- □ 75x75x3.2x 950
4- □ 60x30x2.3x 925
4- □ 60x30x2.3x 613
4- □ 60x30x2.3x 63
20- FB 50x 6x730
2-FRP 300x 3x915
2-FRP 300x 3x603
32-U.Bolt M6x70(2-Nut付)
64- PL 20x3.2x45

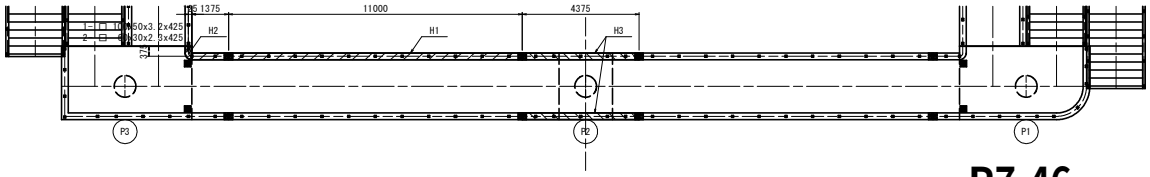
断面図 S=1:10



U-Bolt詳細図 S=1:2



配置図



路線名	一般府道 東鳥取南海線
所属地名	阪南市自然田地内
尺 度	1:20

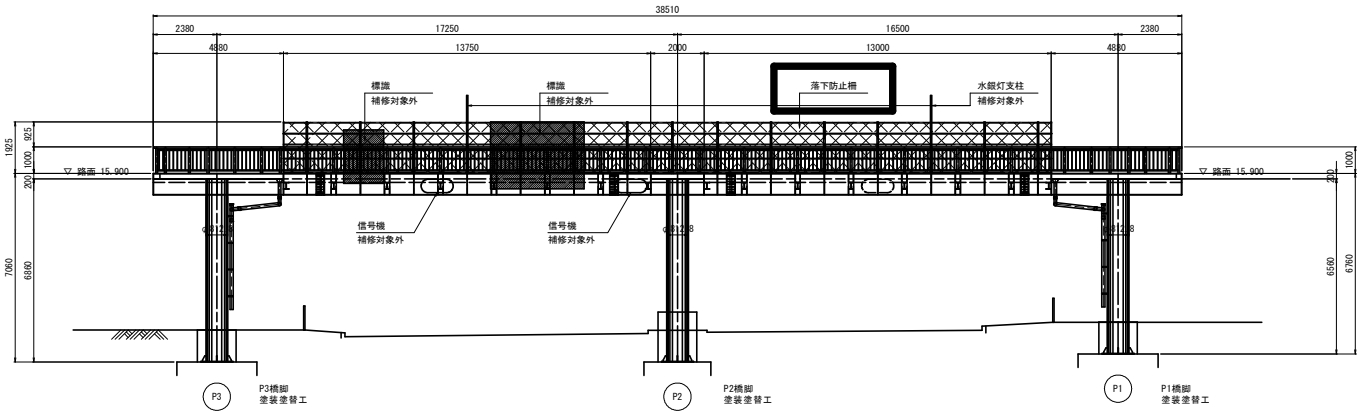
大阪府岸和田土木事務所

R7.46

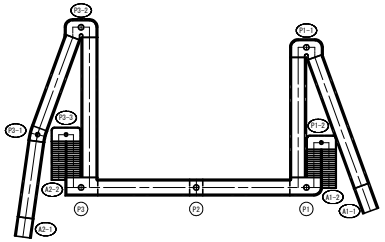
S=1:100

下部工

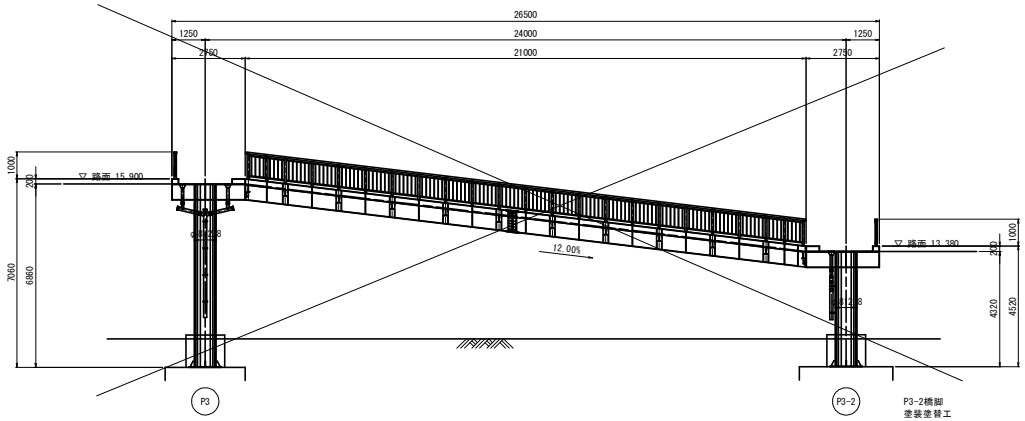
通路部(P3-P1)



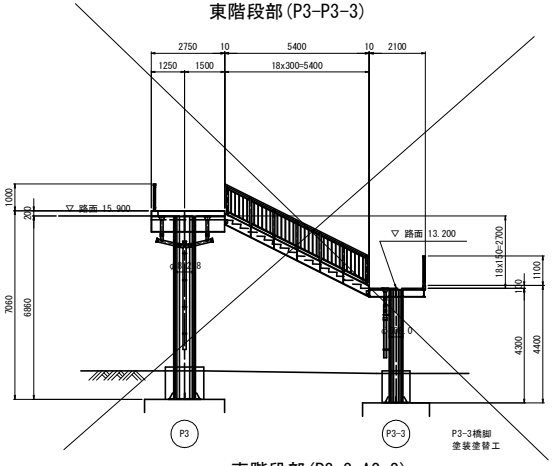
配置図 S=1:400



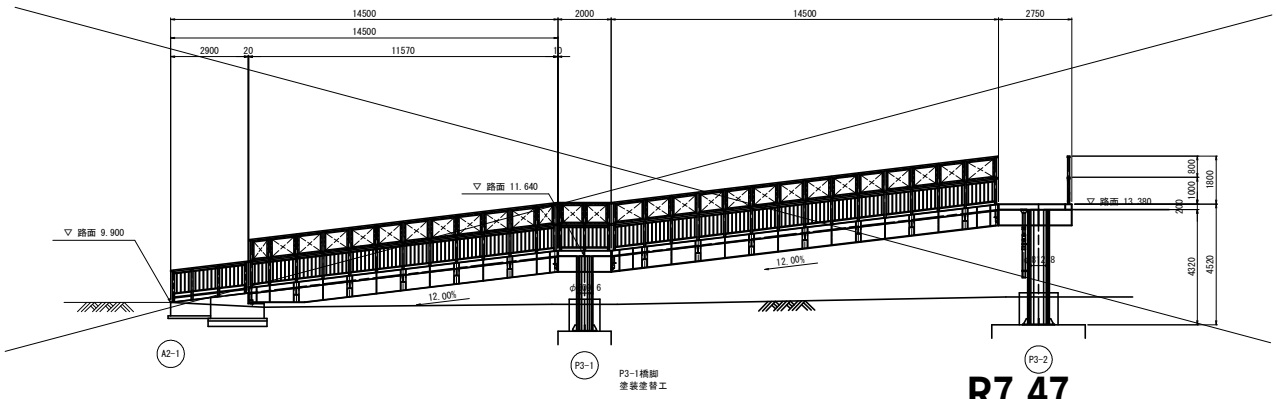
東スロープ部(P3-P3-2)



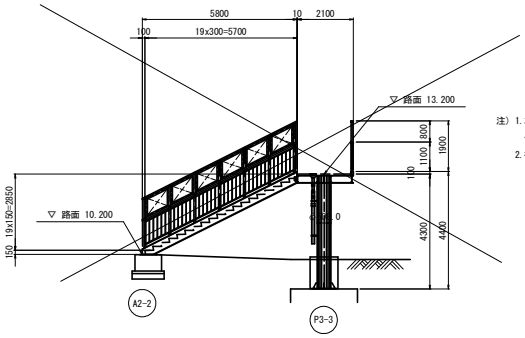
東階段部(P3-P3-3)



東スロープ部(P3-2-A2-1)



東階段部(P3-3-A2-2)



注）1.本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2.補修工事にあたり、寸法等は再度現地計測を行って確認すること。

路線名	一般府道　東鳥取南海線		
所属地名	阪南市自然田地内		
尺　度	図示	作成年月	
大阪府岸和田土木事務所			

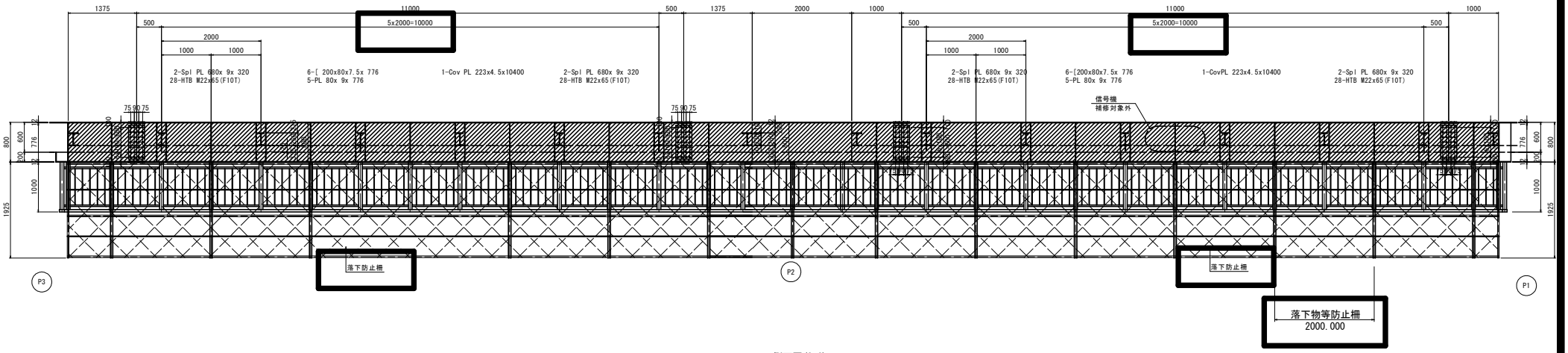
R7 47

S=1:40

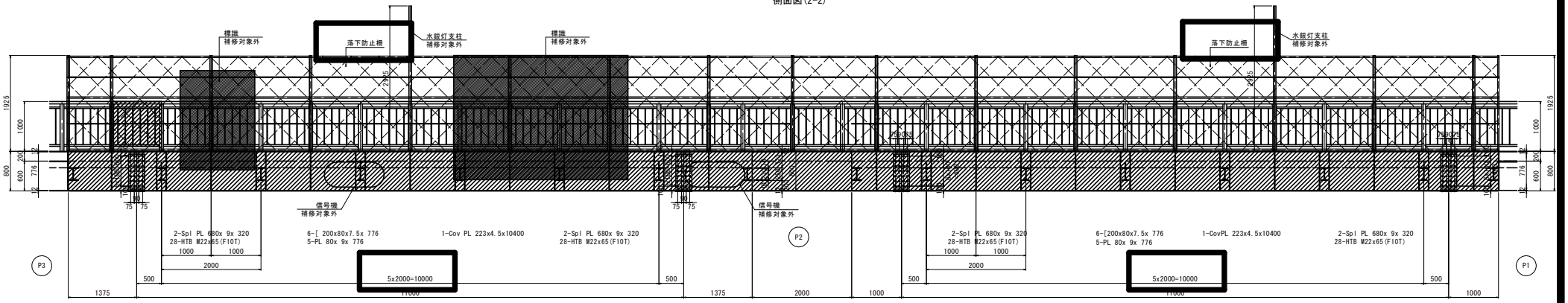
塗装塗替工

通路部(P3 - P1)

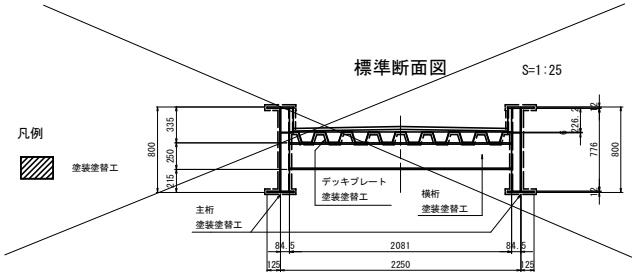
側面図(1-1)



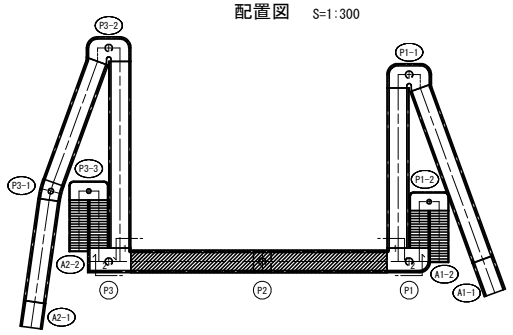
側面図(2-2)



標準断面図 S=1:25



配置図 S=1:300



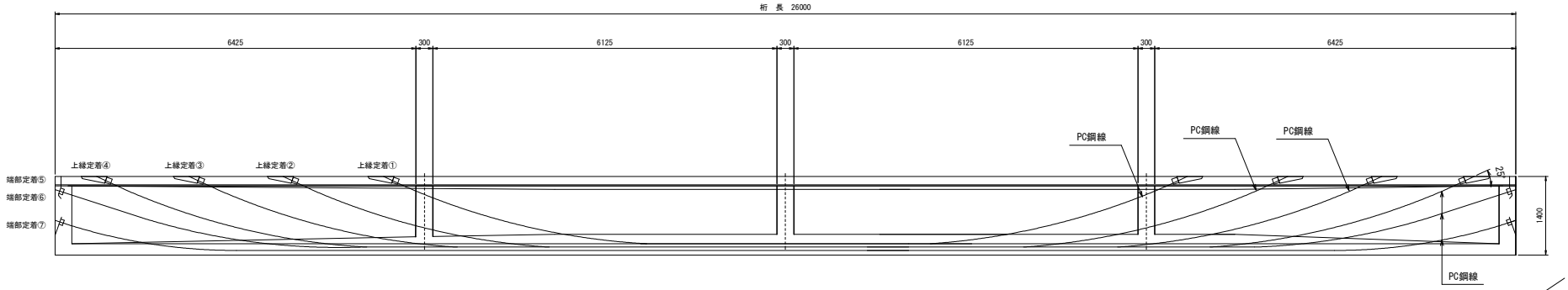
路線名	一般府道　東鳥取南海線
所属地名	阪南市自然田地内
尺　度	図示

大阪府岸和田土木事務所

R7 48

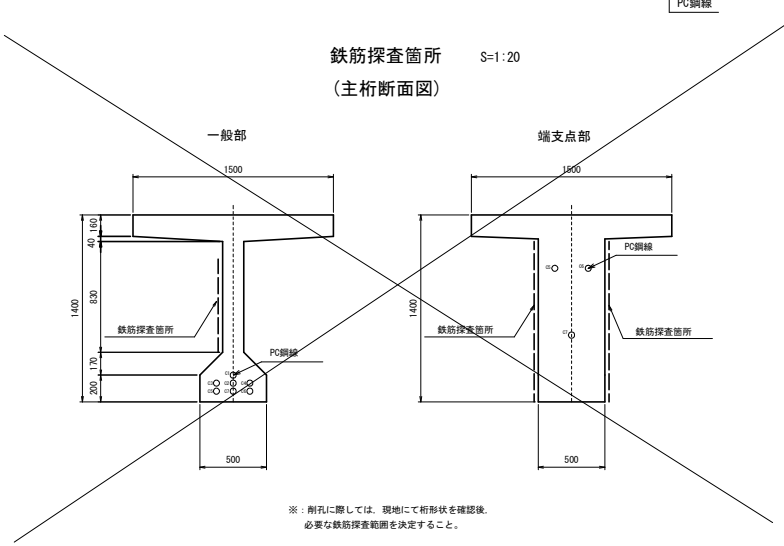
グラウト再注入 詳細図

側 面 図　S=1:40



鉄筋探査箇所　S=1:20

（主桁断面図）

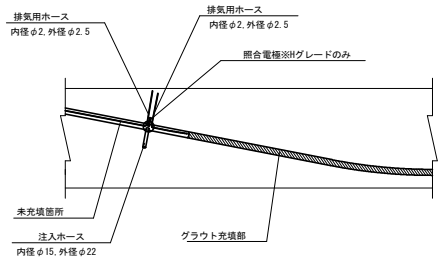


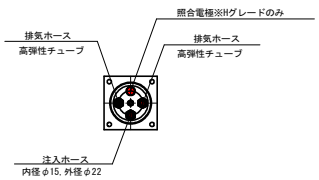
※：削孔に際しては，現地にて桁形状を確認後，
必要な鉄筋探査範囲を決定すること。

グラウト再注入工

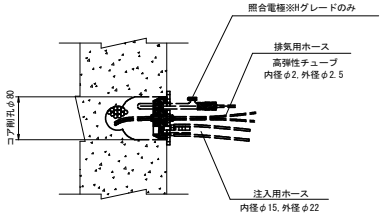
(1) 1孔式注入

側面図





断面図（注入位置）

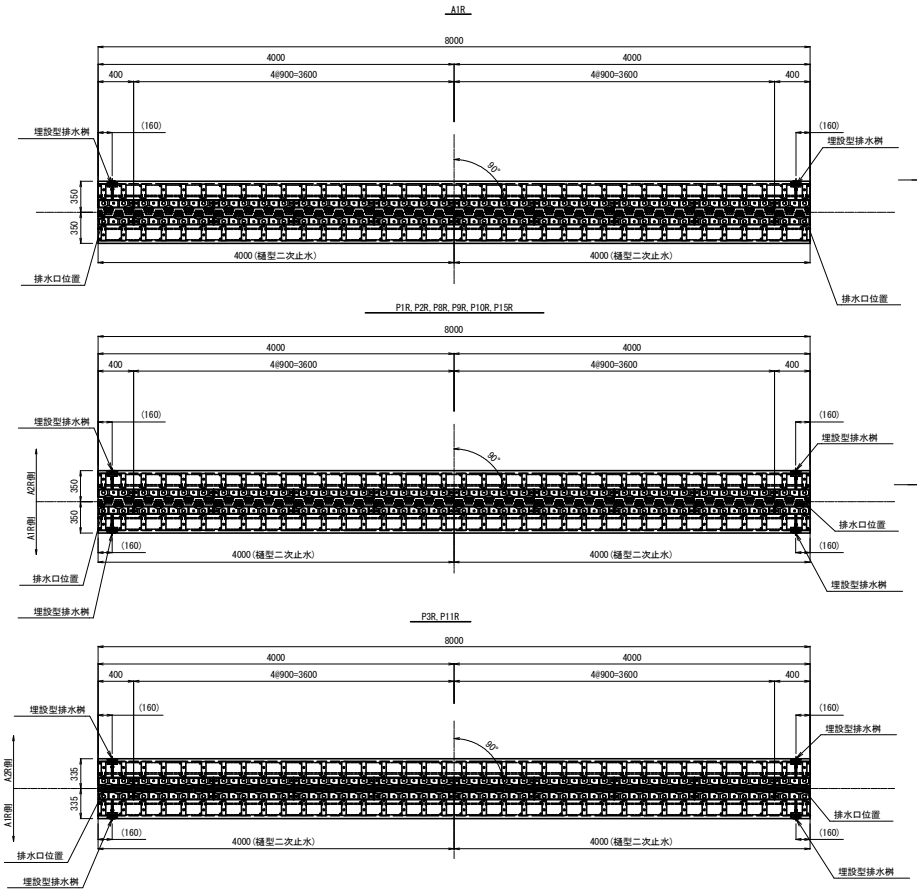


令和5年度		図 面 番 号	
路 線 名	一般府道　東鳥取南海線		
委 託 箇 所	阪南市自然田地内　外		
図 面 名	グラウト再注入 詳細図		
縮 尺	図 示	作成年月	
大 阪 府　岸 和 田 土 木 事 務 所			

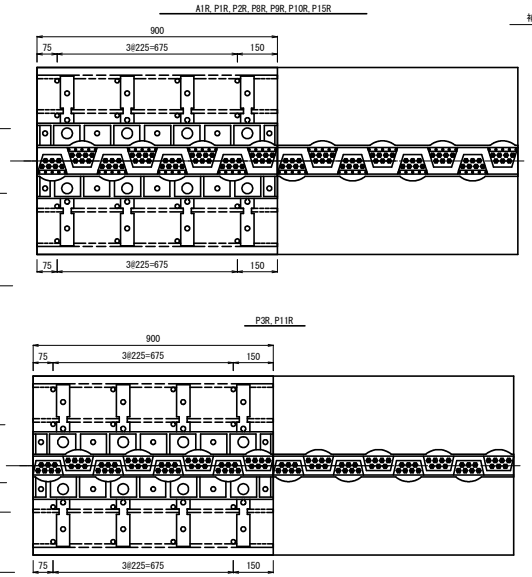
自然田高架橋(南行) 伸縮装置補修図(参考図)(その2)

【荷重支持型】A1R, P1R, P2R, P3R, P8R, P9R, P10R, P11R, P15R

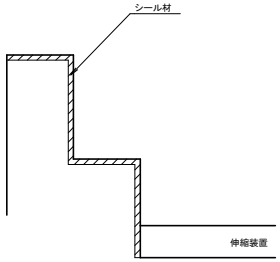
配置図 S=1:30



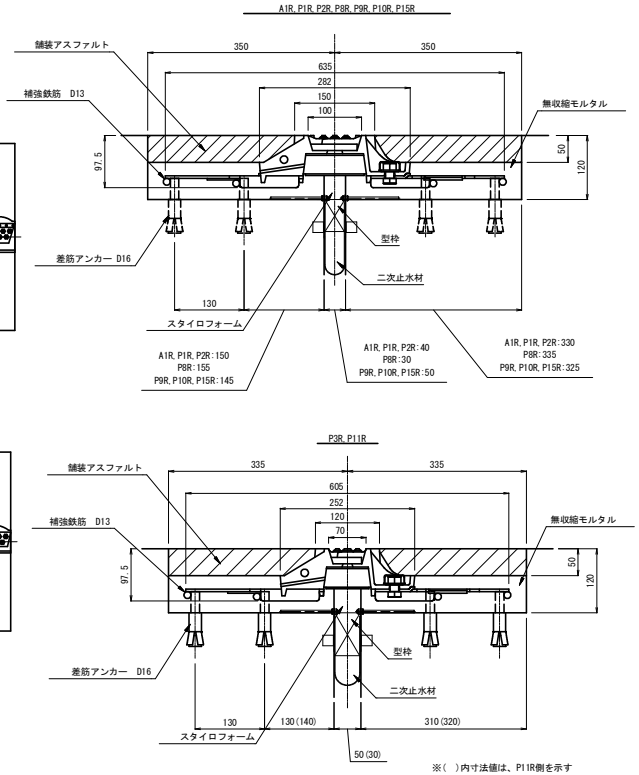
標準取付平面図 S=1:10



地覆部詳細図 S=1:10



標準取付断面図 S=1:5



※( )内寸法値は、P1R側を示す

【 指 示 事 項 】

※ 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。

表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。

伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。

※ 車道用製品は実環境での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の輪荷重走行試験を実施し疲労耐久性を確認した製品とする。

※ 車道用製品は水密性向上のため荷重支持プレート及び連結パッキンを有する製品とする。

※ 車道用製品は段差・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。

※ 車道用製品はLCC低減のため部分取替や簡易補修が可能な製品とする。

※ 路面として求められる水準以上のすべり抵抗を有する製品とする。

伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	A1R	P1R	P2R	P3R	P8R	P9R	P10R	P11R	P15R	合計	備考
伸縮装置	HDJ-CV-R40	m	8.000	8.000	8.000	—	8.000	8.000	8.000	—	8.000	56.000	鋳鉄製・荷重支持型(別途副資材必要)
	HDJ-CV-R20	〃	—	—	—	8.000	—	—	—	8.000	—	16.000	
埋設型排水桝	HDJ-D3	個	2	4	4	4	4	4	4	4	4	34	高さ調整金具、フレキシブル管(Φ20mm、L=1000)含む
二次止水(樋型)	HDJ-OP-R250	m	8.000	8.000	8.000	8.000	8.000	8.000	8.000	8.000	8.000	72.000	伸縮量20/40mm用(別途副資材必要)
補強鉄筋	4-D13×8.00	kg	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	286.56	0.995kg/m
差筋アンカー	D16	本	144	144	144	144	144	144	144	144	144	1296	
無収縮モルタル	σck=24N/mm2以上	m3	0.368	0.368	0.368	0.344	0.376	0.368	0.368	0.360	0.368	3.288	
アスファルト		〃	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	2.088	

型式	規格	単位	A1R	P1R	P2R	P3R	P8R	P9R	P10R	P11R	P15R	合計	備考
HDJ-CV-R40	定尺(L=900)	本	8	8	8	—	8	8	8	—	8	56	鋳鉄製・荷重支持型
	端部	〃	2	2	2	—	2	2	2	—	2	14	
HDJ-CV-R20	定尺(L=900)	〃	—	—	—	8	—	—	—	8	—	16	
	端部	〃	—	—	—	2	—	—	—	2	—	4	

注記)
現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

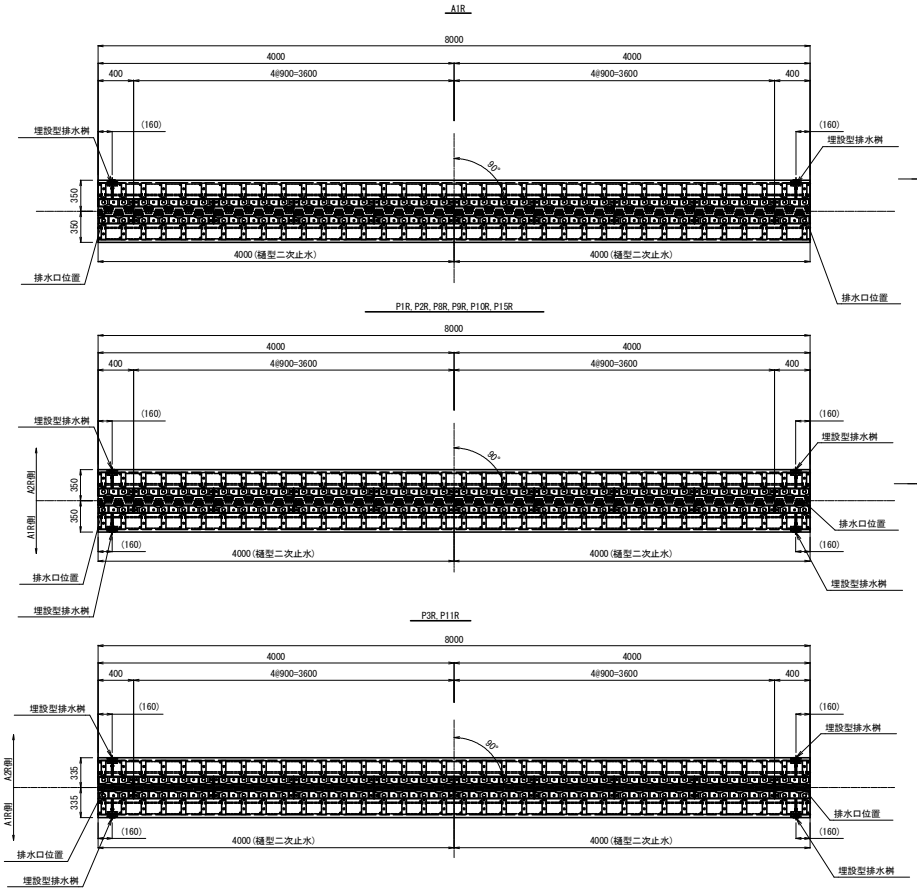
令和5年度	図面番号	115	125
路線名	一般府道 東鳥取南海線		
委託名	自然田高架橋 橋梁補修設計委託		
委託箇所	阪南市自然田地内 外		
図面名	自然田高架橋(南行) 伸縮装置補修図(参考図)(その2)		
縮尺	図示	作成年月	令和6年2月
大阪府岸和田土木事務所			

R7_50

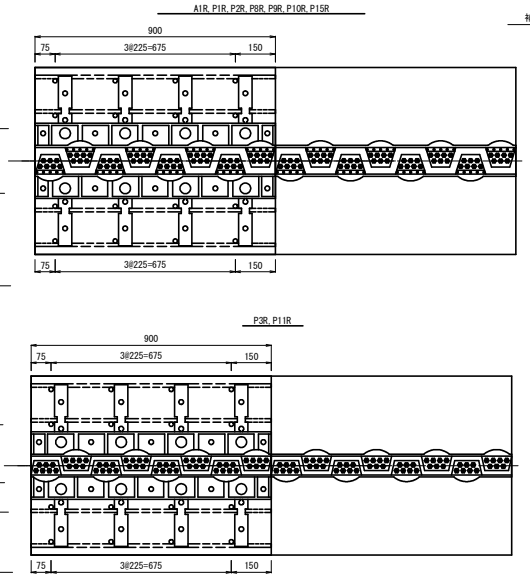
伸縮装置補修図(参考図)(その2)

【荷重支持型】A1R, P1R, P2R, P3R, P8R, P9R, P10R, P11R, P15R

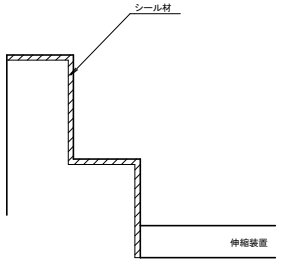
配置図　S=1:30



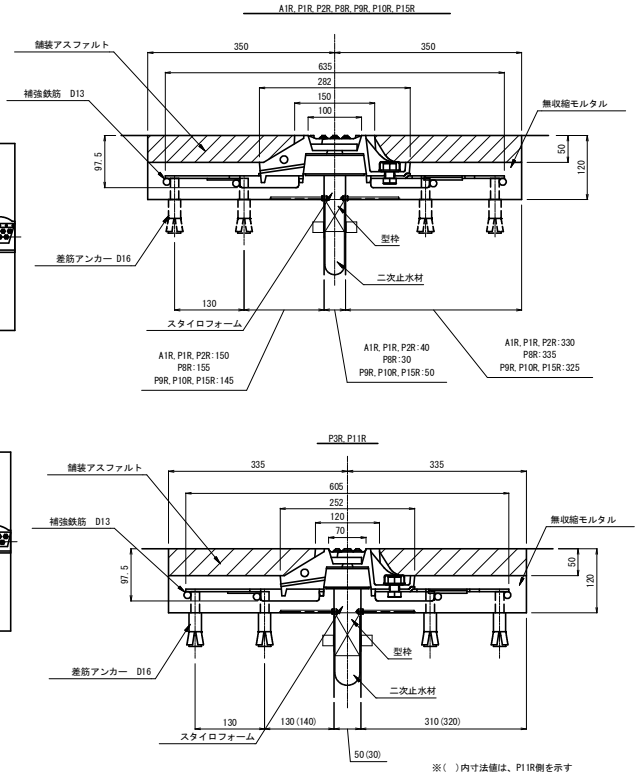
標準取付平面図　S=1:10



地覆部詳細図　S=1:10



標準取付断面図　S=1:5



※(　)内寸法値は、P1R側を示す

【　指　示　事　項　】

※　施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。
伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。

※　車道用製品は実環境での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の輪荷重走行試験を実施し疲労耐久性を確認した製品とする。

※　車道用製品は水密性向上のため荷重支持プレート及び連結パッキンを有する製品とする。

※　車道用製品は段差・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。

※　車道用製品はLCC低減のため部分取替や簡易補修が可能な製品とする。

※　路面として求められる水準以上のすべり抵抗を有する製品とする。

伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	A1R	P1R	P2R	P3R	P8R	P9R	P10R	P11R	P15R	合計	備考
伸縮装置	HDJ-CV-R40	m	8.000	8.000	8.000	—	8.000	8.000	8.000	—	8.000	56.000	鋳鉄製・荷重支持型(別途副資材必要)
	HDJ-CV-R20	〃	—	—	—	8.000	—	—	—	8.000	—	16.000	
埋設型排水桝	HDJ-D3	個	2	4	4	4	4	4	4	4	4	34	高さ調整金具、フレキシブル管(Φ20mm、L=1000)含む
二次止水（樋型）	HDJ-OP-R250	m	8.000	8.000	8.000	8.000	8.000	8.000	8.000	8.000	8.000	72.000	伸縮量20/40mm用(別途副資材必要)
補強鉄筋	4-D13×8.00	kg	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	286.56	0.995kg/m
差筋アンカー	D16	本	144	144	144	144	144	144	144	144	144	1296	
無収縮モルタル	σck=24N/mm2以上	m3	0.368	0.368	0.368	0.344	0.376	0.368	0.368	0.360	0.368	3.288	
アスファルト		〃	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	2.088	

型式	規格	単位	A1R	P1R	P2R	P3R	P8R	P9R	P10R	P11R	P15R	合計	備考
HDJ-CV-R40	定尺(L=900)	本	8	8	8	—	8	8	8	—	8	56	鋳鉄製・荷重支持型
	端部	〃	2	2	2	—	2	2	2	—	2	14	
HDJ-CV-R20	定尺(L=900)	〃	—	—	—	8	—	—	—	8	—	16	
	端部	〃	—	—	—	2	—	—	—	2	—	4	

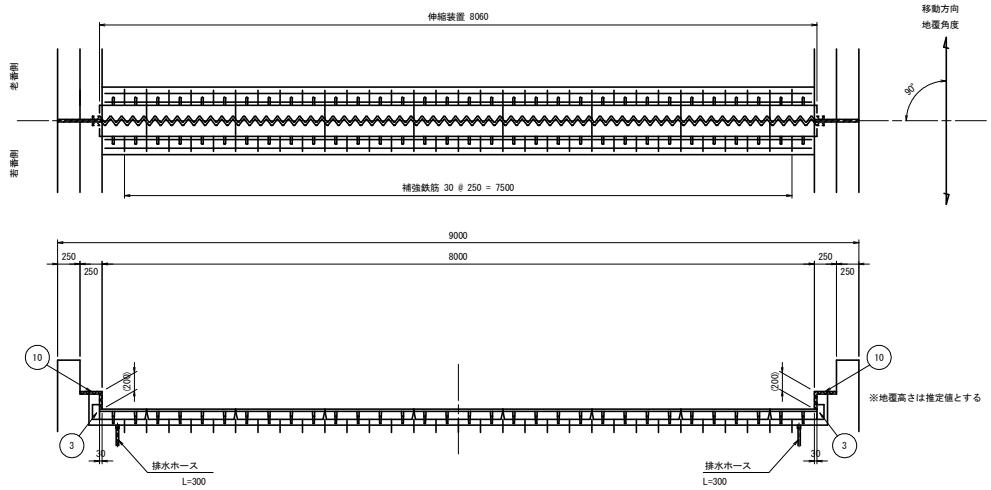
注記)
現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

令和5年度	図面番号	115 / 125	
路線名	一般府道　東鳥取南海線		
委託名			
委託箇所	阪南市自然田地内　外		
図面名			
縮尺	図示	作成年月	令和6年2月
大阪府岸和田土木事務所			

R7_51

伸縮装置補修図(参考図)(その4)
【荷重支持型(静音タイプ)】P4R<P5R>

金物設置図　S=1:30



材　料　表　　（１箇所当たり）×２式

番号	名　称	材　質	単位	数　量	記　事
1	伸縮装置	アルミ合金鋳物	m	8．060	KMAⅢ－60Nタイプ
2	二重止水装置		m	8．060	排水ホース:外径φ20.7内径φ12.7
3	アップスタンド	アルミ合金	個	2	
4	補強鉄筋	SD345	kg	24．18	D16 × 250× 62本
5	補強鉄筋	SD345	kg	31．92	D16 × 330× 62本
6	補強鉄筋	SD345	kg	124．80	D16 × 8．0m×10本
7	遊間部型枠	鋼板等	m^2	2．70	150 × 9．0m× 2式
8	差筋アンカー	SD345	本	124	D16
9	後打ちコンクリート	超速硬コンクリート	m^3	0．97	σ_{3h}= 24 N／mm^2
10	地覆部シール材	シリコーン系	リットル	0．81	30× 30× 450×2箇所

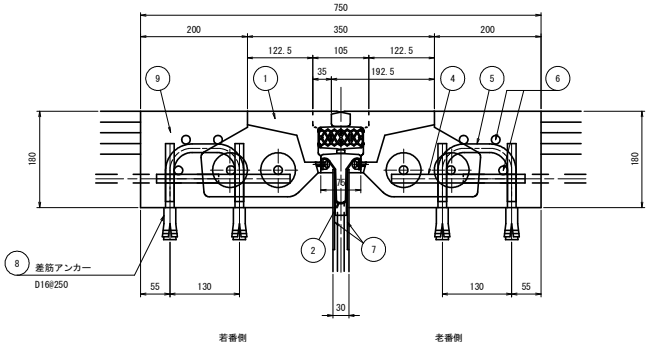
撤去数量（参考）

	既設伸縮装置		m	8．0	埋設ジョイント
	既設後打ち材		m^3	0．94	特殊弾性合材

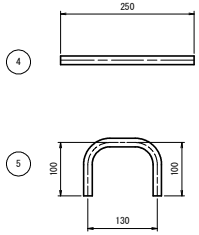
設　計　条　件	
温度範囲	－5℃～＋35℃
温度変化伸縮量	16．0<18．4>mm
常時伸縮量	26．0<28．4>mm

注記
1．施工において図面相当品とする
2．伸縮装置の割付は施工計画に従って決定すること
3．既設の床版鉄筋は極力切断しないこと
4．カッター巾・箱抜き深さは現場の状況によって変更すること
5．差筋アンカーは既設鉄筋で代用可能な場合は不要とする
6．排水ホースにはフレキシブルチューブ等を
　接続のうえ、適切に流末処理を行うこと

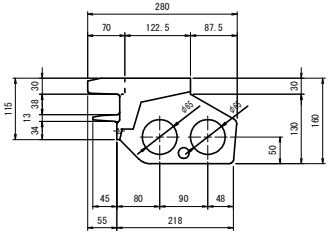
伸縮装置断面図　S=1:5



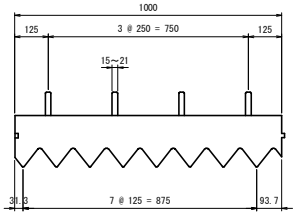
補強鉄筋加工図　S=1:5



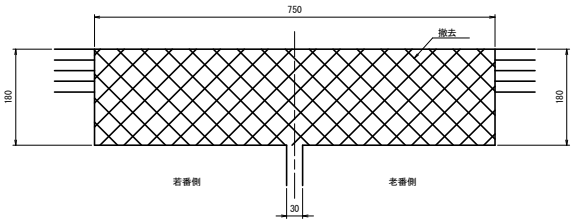
伸縮金物断面図　S=1:5



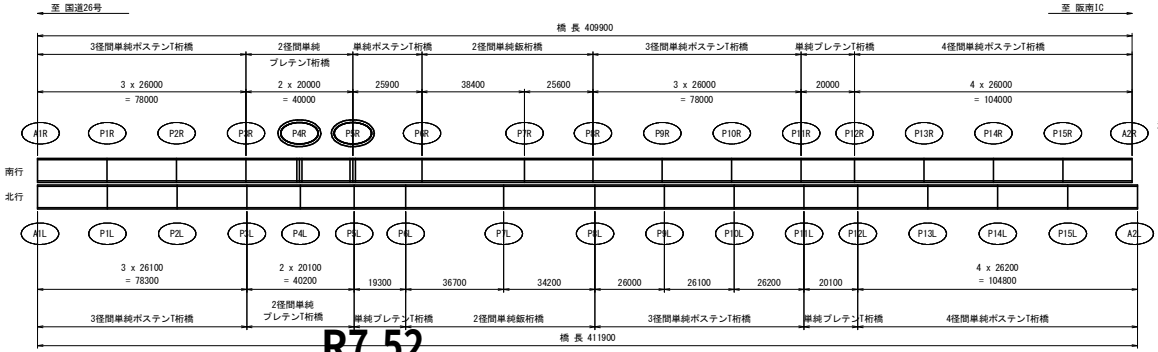
伸縮金物平面図　S=1:10



撤去範囲参考断面図　S=1:5



配置図



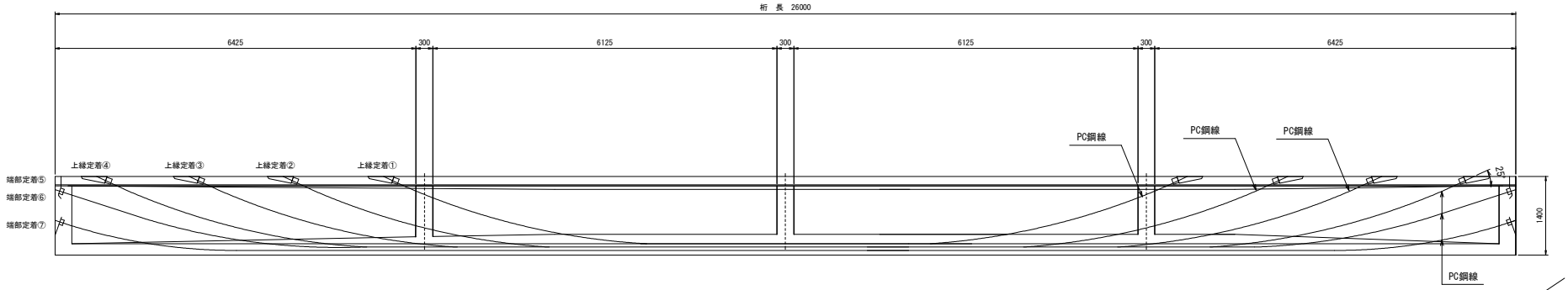
注記)
現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

令和5年度	図面番号	117／125	
路線名	一般府道　東鳥取南海線		
委託名			
委託箇所	阪南市自然田地内　外		
図面名			
縮尺	図示	作成年月	令和6年2月
大阪府　岸和田土木事務所			

R7.52

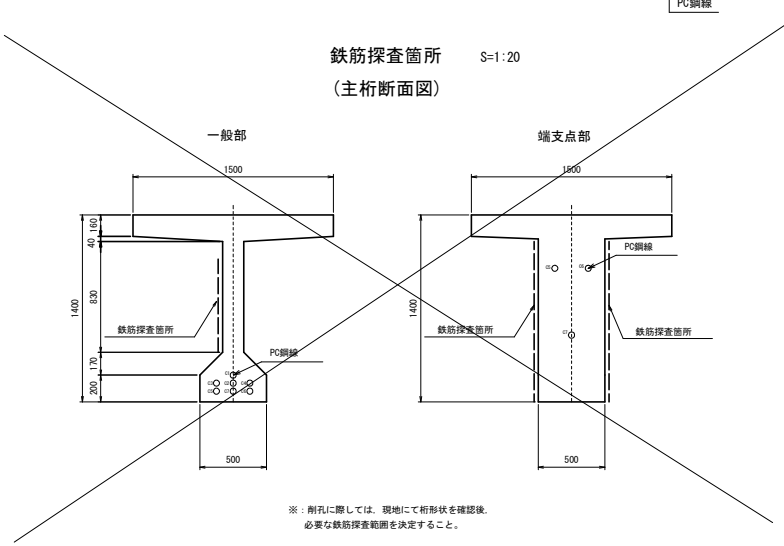
グラウト再注入 詳細図

側 面 図　S=1:40



鉄筋探査箇所　S=1:20

（主桁断面図）

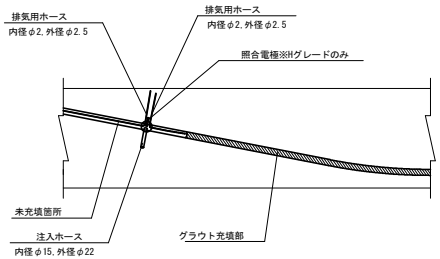


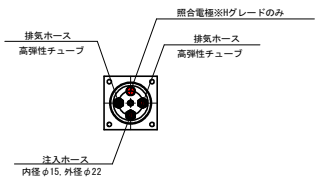
※：削孔に際しては，現地にて桁形状を確認後，
必要な鉄筋探査範囲を決定すること。

グラウト再注入工

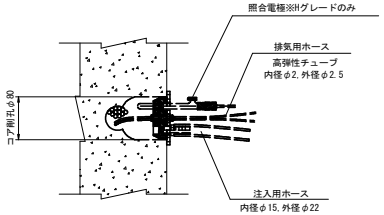
(1) 1孔式注入

側面図





断面図（注入位置）



令和5年度		図 面 番 号	
路 線 名	一般府道　東鳥取南海線		
委 託 箇 所	阪南市自然田地内　外		
図 面 名	グラウト再注入 詳細図		
縮 尺	図 示	作成年月	
大 阪 府　岸 和 田 土 木 事 務 所			

A1橋台構造一般図 S=1:100

正面図（1ー1）

背面図（2ー2）

側面図（3ー3）

a部詳細図 S=1:30

平面図

杭位置図

沓座詳細図

正面図（AーA） S=1:50

平面図（CーC） S=1:50

側面図（BーB） S=1:30

構造高表

		A1(S1)	
		B1	B2
計画路面高	Z1	22.639	22.639
舗装厚	h1	0.080	0.080
調整コン厚	h2	0.010	0.010
床版厚	h3	0.169	0.169
主桁高	h4	1.000	1.000
ソールプレート厚	h5	0.022	0.022
支承高	h6	0.164	0.164
支承下端高	Z2	21.194	21.194
モルタル厚	h7	0.030	0.030
台座高	h8	0.155	0.155
構造高	ΣH	1.630	1.630
下部工天端高	Z3	21.009	21.009

使用材料

コンクリート	躯体	σck=24N/mm²
	均しコンクリート	σck=18N/mm²
	鋼管杭	σck=24N/mm²
鉄筋		SD345

年度	令和5年度	縮尺	図示
河川名	二級河川 牛滝川		
委託名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(今木高橋R5)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図面名	A1橋台構造一般図		
作成年月	令和 5年10月	図面番号	/
大阪府岸和田土木事務所			

A2橋台構造一般図　S=1:100

正面図（1－1）

背面図（2－2）

側面図（3－3）

左ウイング（4－4）

平面図

杭位置図

沓座詳細図

正面図（A－A）S=1:50

平面図（C－C）S=1:50

側面図（B－B）S=1:30

a部詳細図　S=1:30

構造高表

		A2(S2)	
		B1	B2
計画路面高	Z1	22.623	22.623
舗装厚	h1	0.080	0.080
調整コン厚	h2	0.010	0.010
床版厚	h3	0.169	0.169
主桁高	h4	1.000	1.000
ソールプレート厚	h5	0.022	0.022
支承高	h6	0.146	0.146
支承下端高	Z2	21.196	21.196
モルタル厚	h7	0.030	0.030
台座高	h8	0.155	0.155
構造高	ΣH	1.612	1.612
下部工天端高	Z3	21.011	21.011

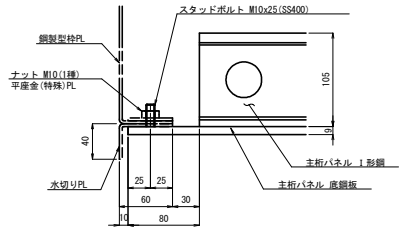
使用材料

コンクリート	躯体	σck=24N/mm²
	均しコンクリート	σck=18N/mm²
	鋼管杭	σck=24N/mm²
鉄筋		SD345

年度	令和5年度	縮尺	図示
河川名	二級河川 牛滝川		
委託名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(今木高橋R5)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図面名	A2橋台構造一般図		
作成年月	令和 5年10月	図面番号	/
大阪府岸和田土木事務所			

共通詳細図

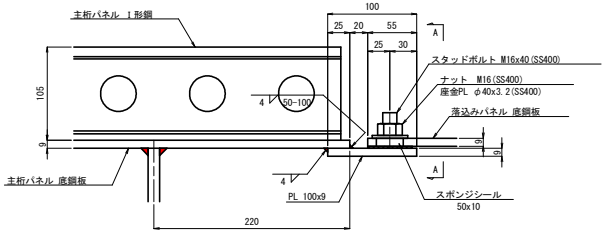
鋼製型枠取付部詳細図 S=1:3



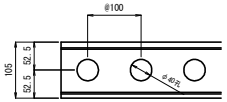
1 - STUD BOLT M10x25(SS400)

※スタッドボルト以外は鋼製型枠で計上する。

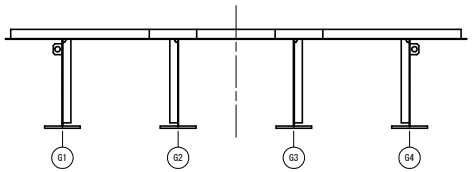
落込みパネル受部詳細図 S=1:3



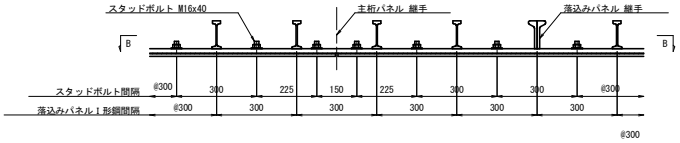
I形鋼ずれ止め用孔詳細図 S=1:5



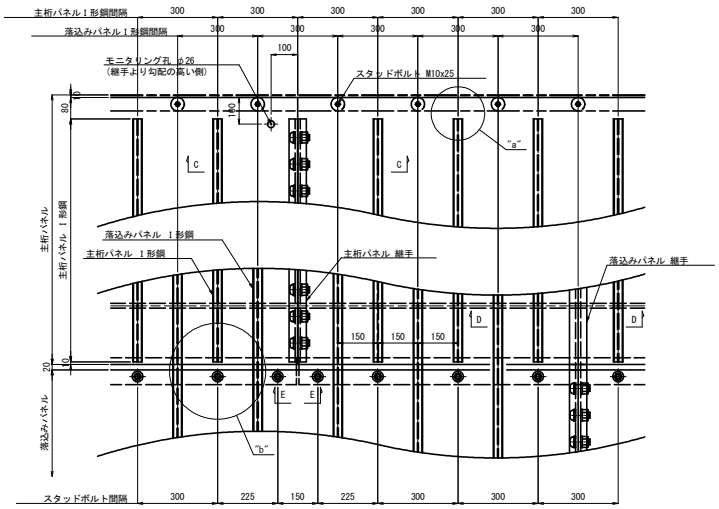
吊金具・垂直補剛材設置図



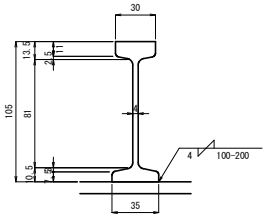
A - A S=1:10



B - B S=1:10

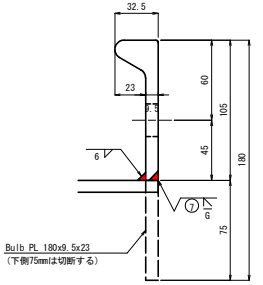


I 形鋼詳細図 S=1:2

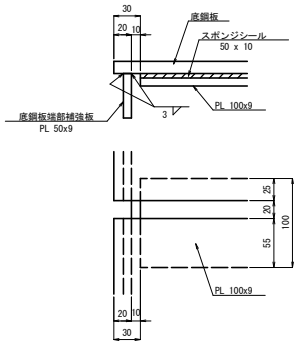


材質 : SS400

底鋼板継手詳細図 S=1:2

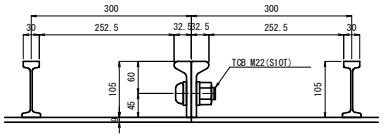


底鋼板端部補強板詳細図 S=1:3

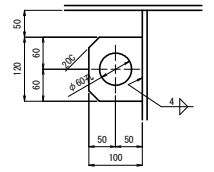


C - C S=1:5

主桁パネル(落込みパネル)

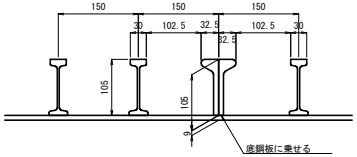


吊金具詳細図 S=1:5

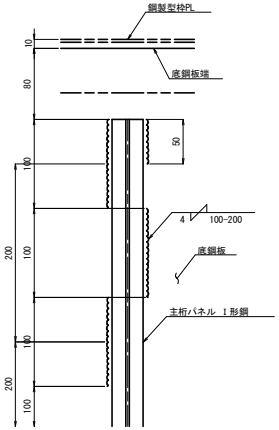


1-PL 100x9x120

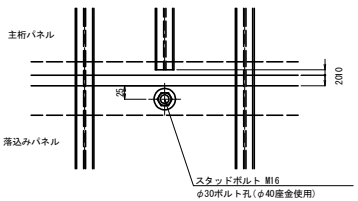
D - D S=1:5



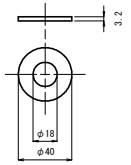
"a"部詳細図 S=1:3



"b"部詳細図 S=1:5

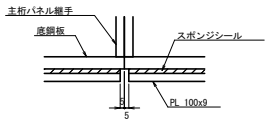


座金詳細図 S=1:2



1-PL φ40x3.2(SS400)

E - E S=1:3



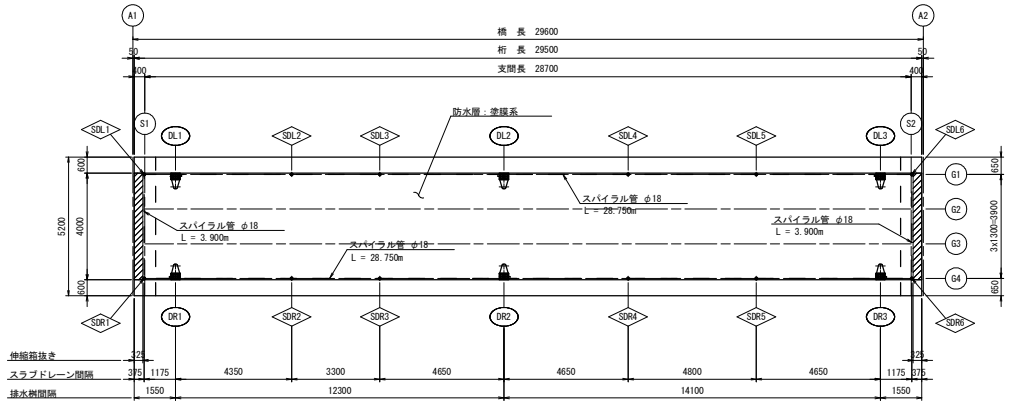
注)

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 施工後の隙間は、現場にてシーリングすること。
3. スポンジシールは、取付ナット締め付けにより十分につぶすこと。
4. スタッドボルト、ナット、座金は、溶融亜鉛めっきを施す。膜厚は JIS H 8641 HDZT49 とする。

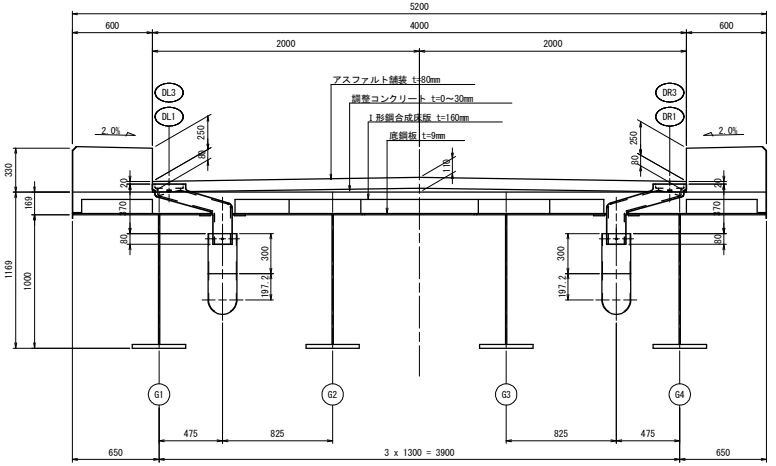
年 度	令和5年度	縮尺	図示
河 川 名	二級河川 牛滝川		
委 託 名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(寺木高柳IC)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図 面 名	共通詳細図		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大 阪 府 岸 和 田 土 木 事 務 所			

排水装置詳細図(その1)

平 面 図 S=1:100

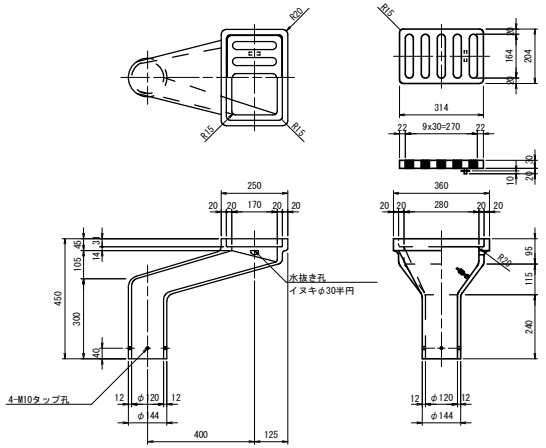


断 面 図 S=1:20



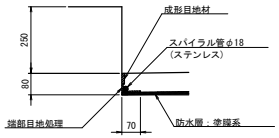
排水桝詳細 S=1:10

製作数：6



品 名	材 質	数量	重量(kg)	備考
本体	FC250	1	53.5	
スクリーン	FC250	1	8.8	
チェーン	SS400	1	0.1	亜鉛メッキ L=450
一組分合計			62.4 kg	

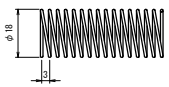
端部防水詳細 S=1:10



材 料 表

名 称	規 格	単 位	数 量
アスファルト舗装	t=80mm 改質II型(表層40mm,基層40mm)	m2	115.4
防水層	塗膜系防水層	m2	115.4
端部目地処理		m	65.7
成形目地材		m	65.7
スパイラル管	φ18 ステンレス	m	65.3
スラブドレーン	溶融亜鉛メッキ (固定金具付)	個	12

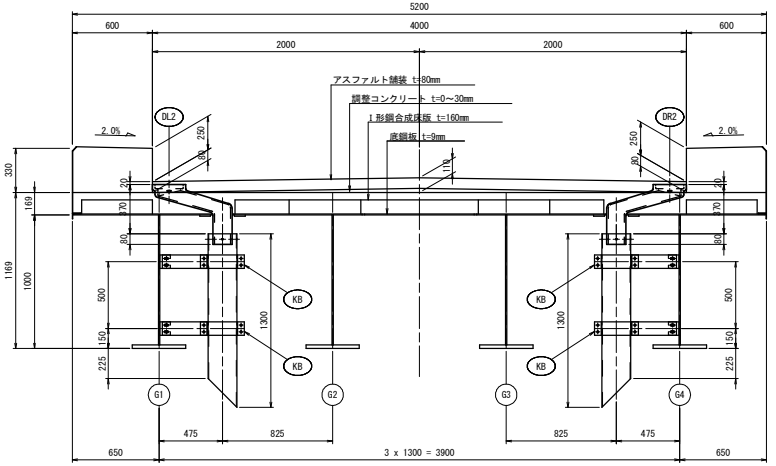
スパイラル管詳細 S=1:1



スパイラル管設置留意事項

1. 継目は50mm程度ラップさせること。
2. 曲率半径が小さい箇所はテープ等で養生のこと。
3. 排水桝への接続は50mm程度差し込むこと。
4. コンクリートの中を通過する場合は
   耐圧ホース（φ20）を使用のこと。
5. 設置時に強制的に伸ばさないこと。

断 面 図 S=1:20



注)

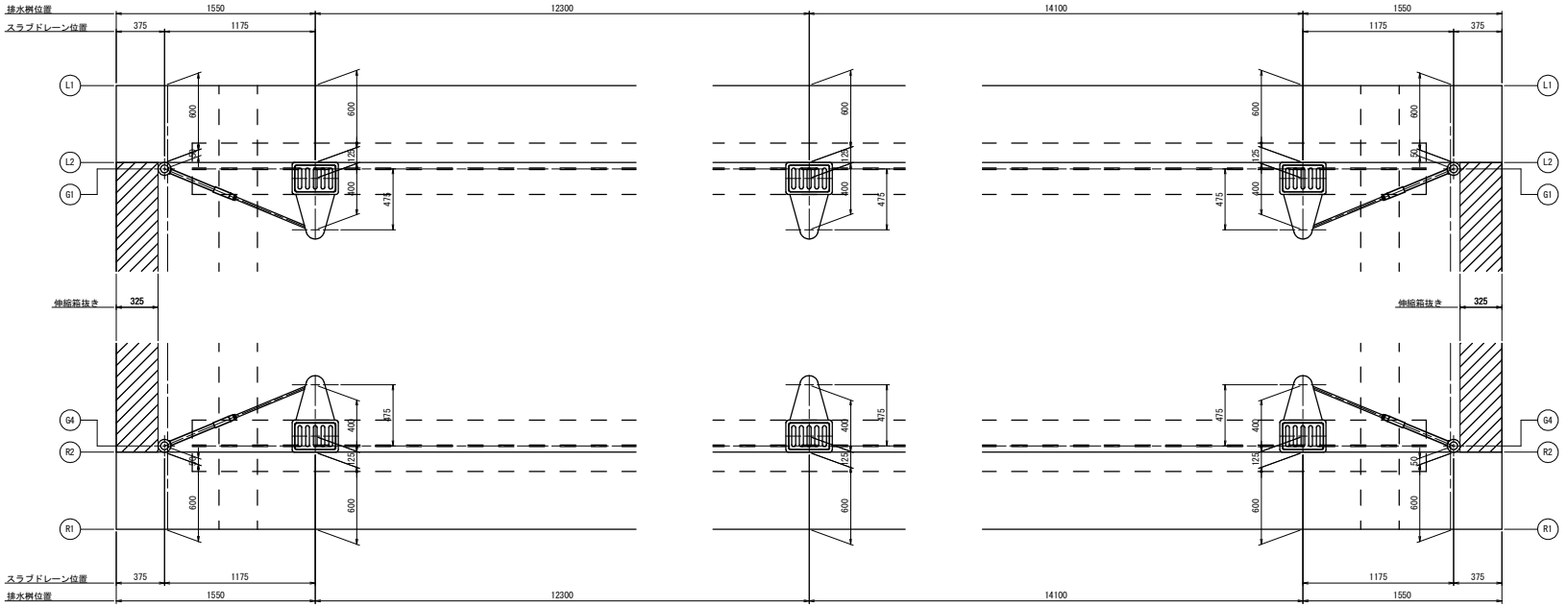
1. 特記なき材質は全て SS400 とする。
2. 施工後の隙間は、現場にてシーリングすること。

年 度	令和5年度	縮尺	図示
河 川 名	二級河川 牛滝川		
委 託 名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(寺木高柳IC)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図 面 名	排水装置詳細図(その1)		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大 阪 府 岸 和 田 土 木 事 務 所			

R7_57

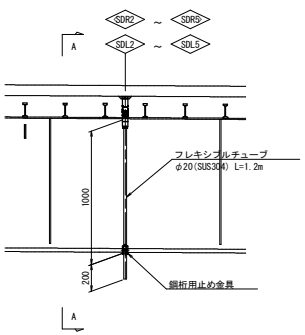
排水装置詳細図(その2)

平 面 図 S=1:20

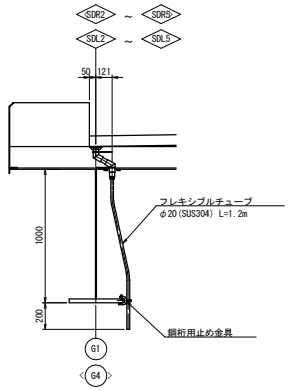


側 面 図 S=1:20

注.〈 〉内は R側 を示す。

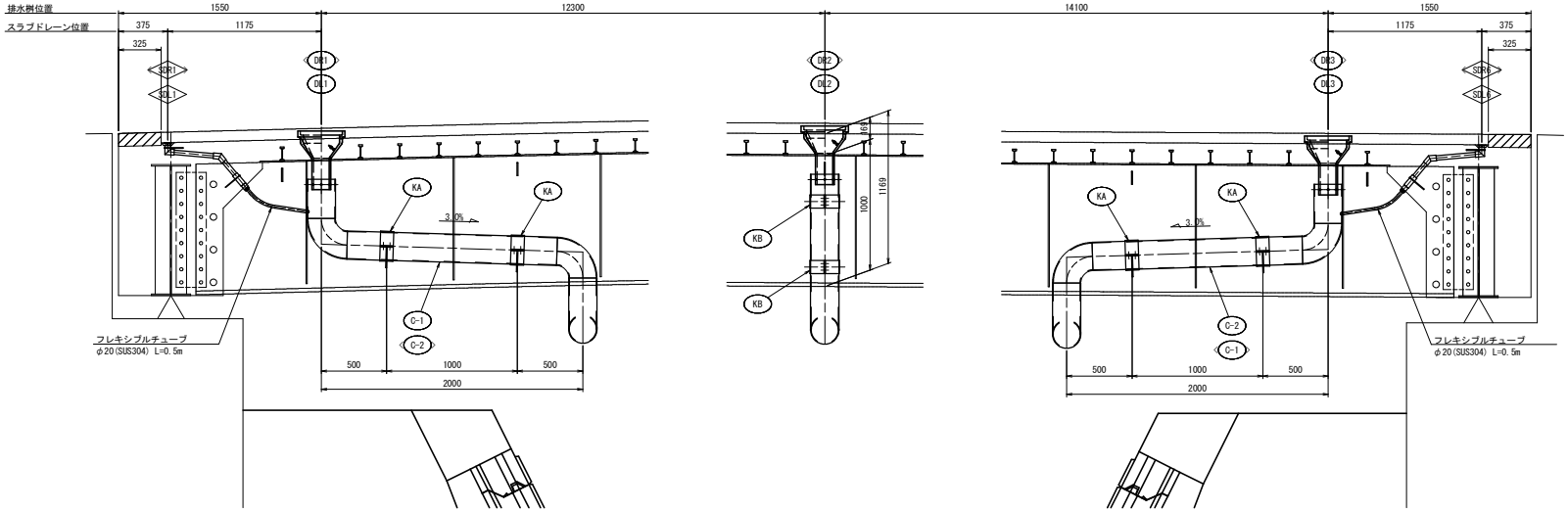


A － A S=1:20



側 面 図 S=1:20

注.〈 〉内は R側 を示す。



注)

1. 特記なき材質は全て SS400 とする。
2. 施工後の隙間は、現場にてシーリングすること。

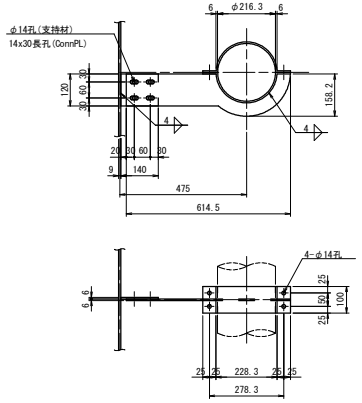
年 度	令和5年度	縮尺	図示
河 川 名	二級河川 牛滝川		
委 託 名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(寺木高柳IC)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図 面 名	排水装置詳細図(その2)		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大 阪 府 岸 和 田 土 木 事 務 所			

排水装置詳細図(その3)

支持金具詳細 S=1:10

KA

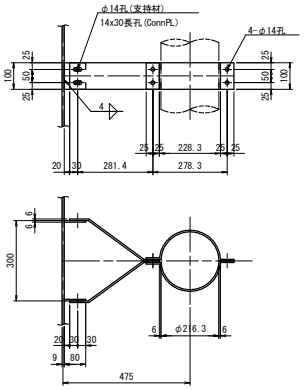
製作数：8



※ 1-PL 120 x 6 x 140 (SM400A)
2-FB 100 x 6 x 449
1-PL 158 x 6 x 615
8-BN M12 x 40 (2-W)

KB

製作数：4

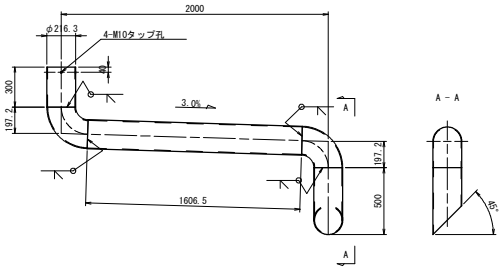


※ 2-PL 80 x 6 x 100 (SM400A)
2-FB 100 x 6 x 440
2-FB 100 x 6 x 385
6-BN M12 x 40 (2-W)
2-BN M12 x 50 (2-W)

排水管詳細 S=1:20

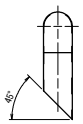
C-1

製作数：2



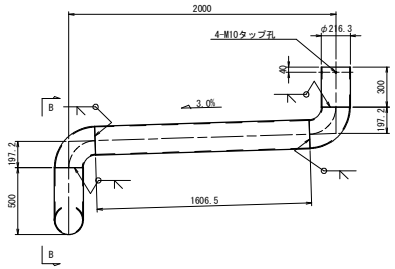
1-PIPE 200A x 300 (SGP)
1-PIPE 200A x 500 (SGP)
1-PIPE 200A x 1607 (SGP)
2-90° ショートエルボ 200A (FSGP)
4-TAPBOLT M10 x 60

B - B



C-2

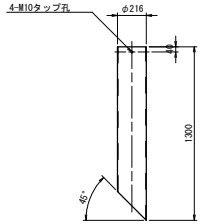
製作数：2



1-PIPE 200A x 300 (SGP)
1-PIPE 200A x 500 (SGP)
1-PIPE 200A x 1607 (SGP)
2-90° ショートエルボ 200A (FSGP)
4-TAPBOLT M10 x 60

直管

製作数：2

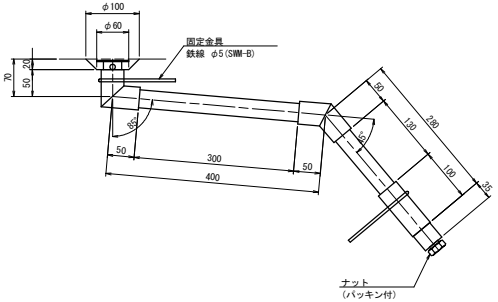


1-PIPE 200A x 1300(VP)
4-TAPBOLT M10 x 60

スラブドレーン詳細 S=1:5

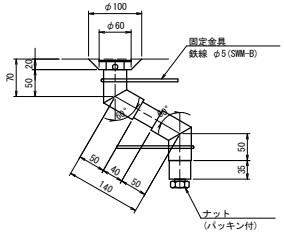
SDL1, SDL6, SDR1, SDR6

製作数：4



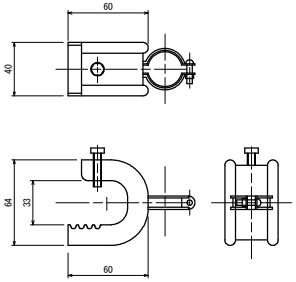
SDL2～SDL5, SDR2～SDR5

製作数：8



鋼桁用止め金具詳細 S=1:2

本体 S-PH2W型

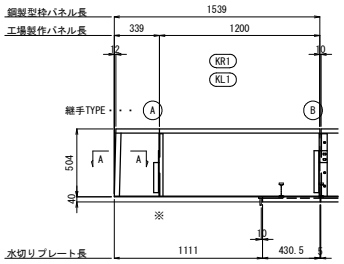


<製作数：8>
1-パイラック 本体S-PH2W型
1-パイラッククリップ

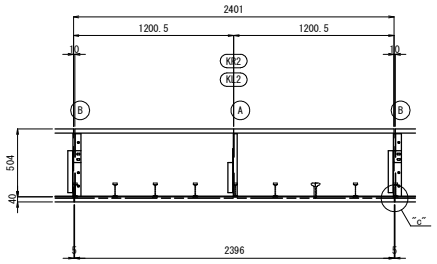
注）
1. 特記なき材質は全て SS400 とする。
2. 施工後の隙間は、現場にてシーリングすること。
3. 本体に溶接される部材（※印部材）以外は
全て溶融亜鉛めっきを施す。
膜厚は JIS H8641 HDZT77 とする。
但し、ボルト・ナット類は HDZT49 とする。

年　度	令和5年度	縮尺	図示
河 川 名	二級河川 牛滝川		
委 託 名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(寺木高柳IC)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図 面 名	排水装置詳細図(その3)		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大 阪 府 岸 和 田 土 木 事 務 所			

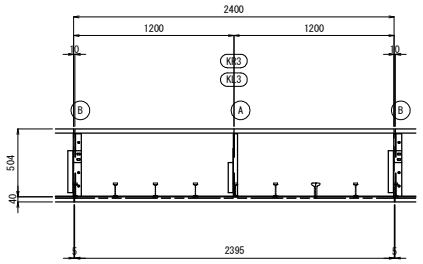
鋼製型枠詳細図(その1)　S=1:20



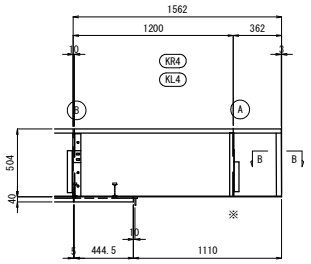
KL1,KR1材料 (製作数:各1)
1-PL 576x3.2x 529(SGMH400)
1-PL 576x3.2x1404(SGMH400)
1-PL 100x3.2x 431(SGMH400)
1-PL 90x3.2x 160(SGMH400)
1-PL 80x3.2x 340(SGMH400)
1-PL 129x3.2x 370(SGMH400)
3-BN M10x30(1-W)



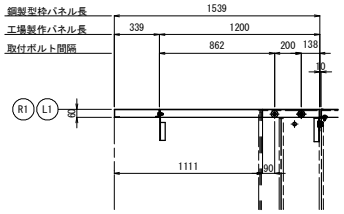
KL2,KR2材料 (製作数:各1)
1-PL 576x3.2x1385(SGMH400)
1-PL 576x3.2x1405(SGMH400)
1-PL 100x3.2x2396(SGMH400)
1-PL 90x3.2x 160(SGMH400)
1-PL 80x3.2x 340(SGMH400)
1-PL 129x3.2x 370(SGMH400)
3-BN M10x30(1-W)

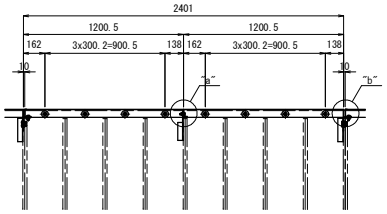


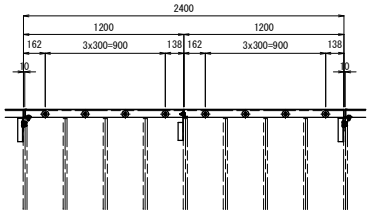
KL3,KR3材料 (製作数:各10)
1-PL 576x3.2x1384(SGMH400)
1-PL 576x3.2x1404(SGMH400)
1-PL 100x3.2x2395(SGMH400)
1-PL 90x3.2x 160(SGMH400)
1-PL 80x3.2x 340(SGMH400)
1-PL 129x3.2x 370(SGMH400)
3-BN M10x30(1-W)

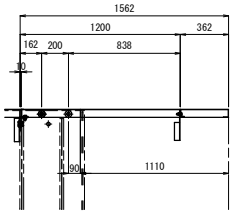


KL4,KR4材料 (製作数:各1)
1-PL 576x3.2x1384(SGMH400)
1-PL 576x3.2x 546(SGMH400)
1-PL 100x3.2x 445(SGMH400)
1-PL 129x3.2x 370(SGMH400)
3-BN M10x30(1-W)

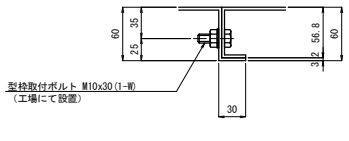




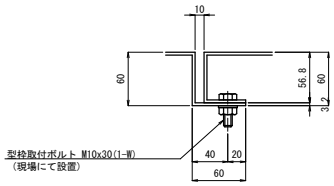




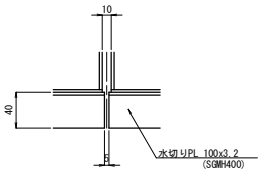
"a"部詳細　S=1:3
継手TYPE-A



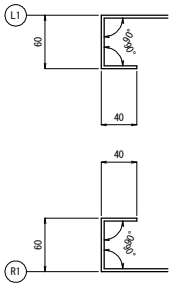
"b"部詳細　S=1:3
継手TYPE-B



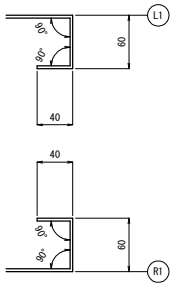
"c"部詳細　S=1:3



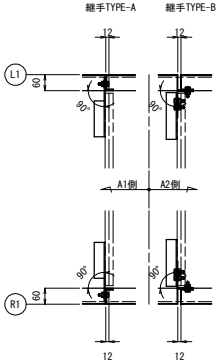
A - A　S=1:3



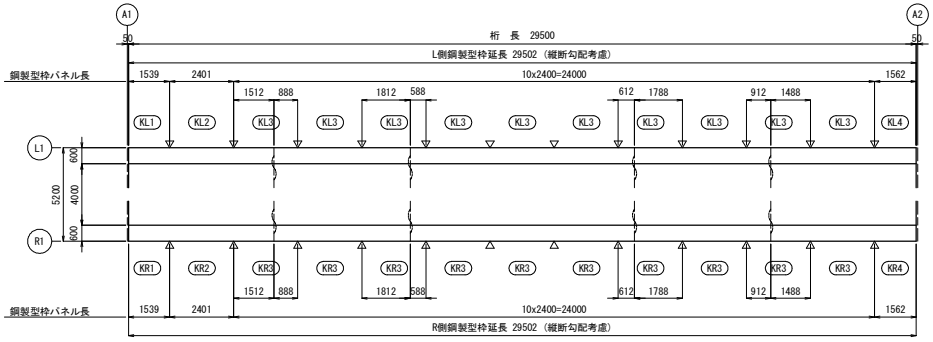
B - B　S=1:3



型枠セット方向　S=1:10



配 置 図　S=1:100



注)
1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. ※印のステーは、鉄筋に溶接すること。
3. 施工後の隙間は、現場にてシーリングすること。
4. ボルト及びナットは、溶融亜鉛めっきとする。
5. 特記なき詳細は、「鋼製型枠詳細図(その2)」を参照のこと。
6. 鋼製型枠高さは、地覆上面の施工時誤差+5mmを考慮した数値とする。

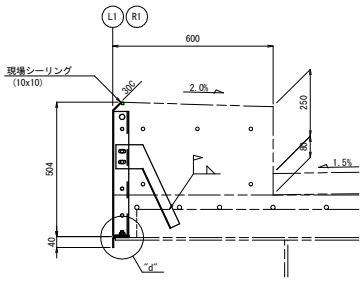
年　度	令和5年度	縮尺	1:20
河 川 名	二級河川 牛滝川		
委 託 名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(寺木高槻IC)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図 面 名	鋼製型枠詳細図(その1)		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大 阪 府 岸 和 田 土 木 事 務 所			

R7 60

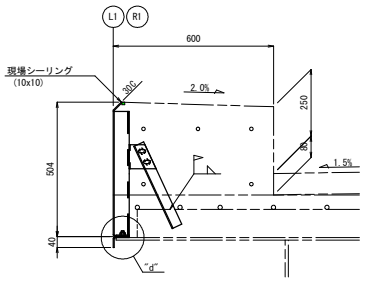
鋼製型枠詳細図(その2)　S=1:10

断 面 図

継手TYPE-A

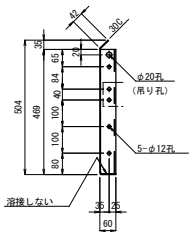


継手TYPE-B



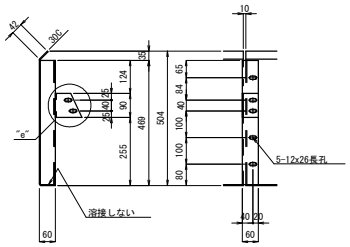
継手部詳細

継手TYPE-A



現場継手材料(L1側:13箇所,R1側:13箇所)
2-BN M10x30(1-W)(1継手当り)

継手TYPE-B

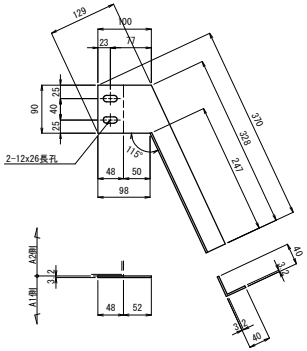


現場継手材料(L1側:12箇所,R1側:12箇所)
7-BN M10x30(1-W)(1継手当り)

型枠ステー詳細　S=1:5

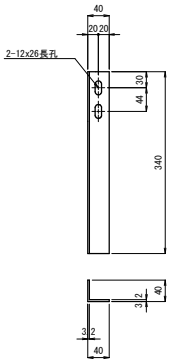
L1側

継手TYPE-A



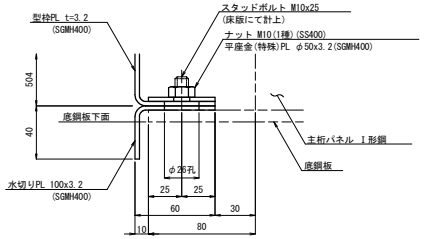
1-PL 129x3.2x370(SGMH400)

継手TYPE-B



1-PL 80x3.2x340(SGMH400)

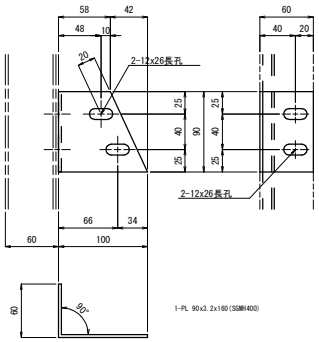
"d"部詳細　S=1:2



現場材料
184-NUT M10(1種)
184-PL φ50x3.2(SGMH400)

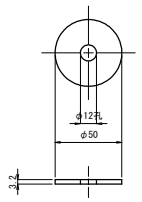
"e"部詳細　S=1:3

L1側



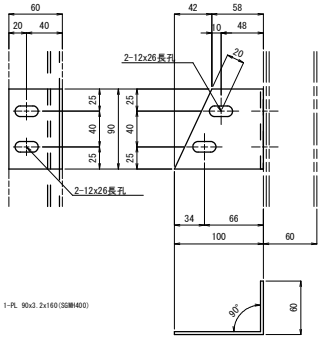
1-PL 90x3.2x160(SGMH400)

平座金(特殊)詳細　S=1:2



1-PL φ50x3.2(SGMH400)

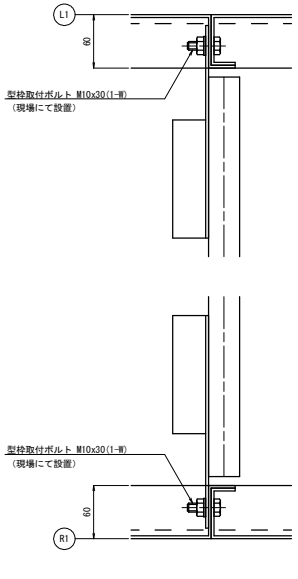
R1側



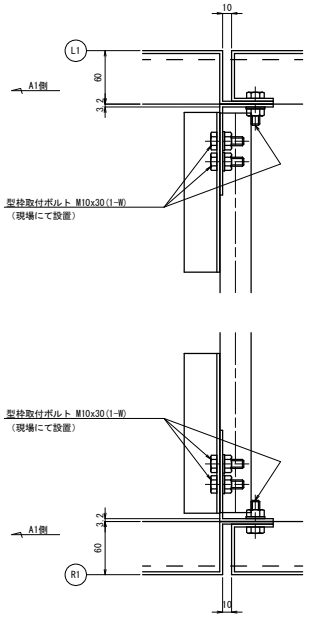
1-PL 90x3.2x160(SGMH400)

型枠ステー取付部詳細　S=1:3

継手TYPE-A

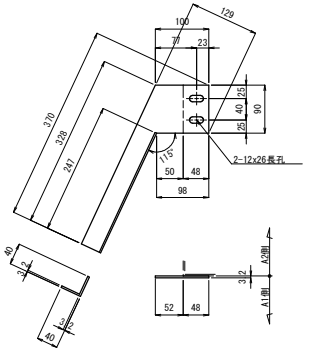


継手TYPE-B



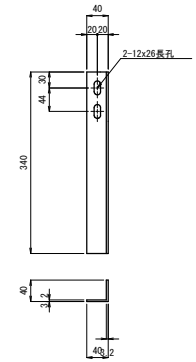
R1側

継手TYPE-A



1-PL 129x3.2x370(SGMH400)

継手TYPE-B



1-PL 80x3.2x340(SGMH400)

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. 施工後の隙間は、現場にてシーリングすること。
3. ボルト及びナットは、溶融亜鉛めっきとする。
4. 鋼製型枠高さは、地覆上面の施工時誤差
+5mmを考慮した数値とする。

年　度	令和5年度	縮尺	1:10
河 川 名	二級河川 牛滝川		
委 託 名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(寺木高柳4)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図 面 名	鋼製型枠詳細図(その2)		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大 阪 府 岸 和 田 土 木 事 務 所			

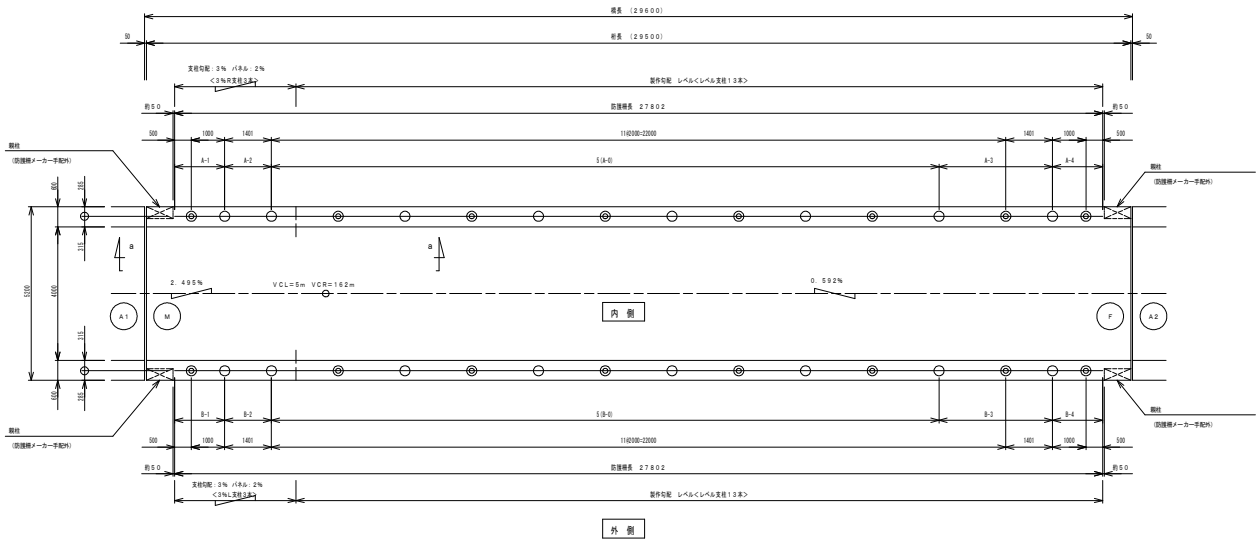
R7_61

防護柵詳細図

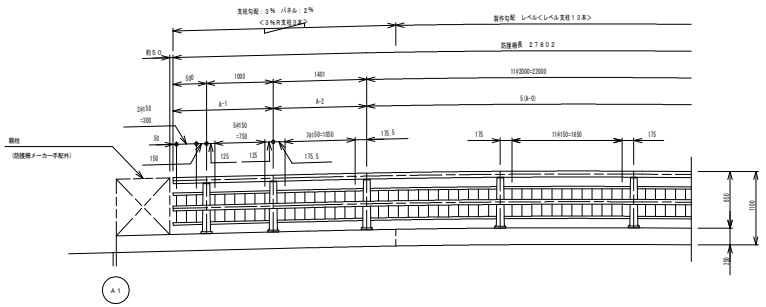
全体配置図　S＝1／80

注記）1）　手部を示す。
2）　L部を示す。
3）寸法は支柱前面線上の実長を示す。
4）（　）内寸法は水平長を示す。

防護柵全長	55M604
レベル	49M802
3%以上	5M802



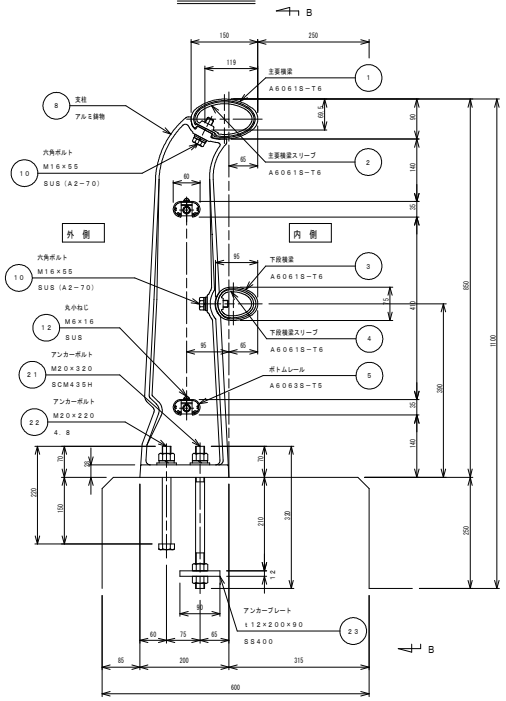
a－a矢視　S＝1／40



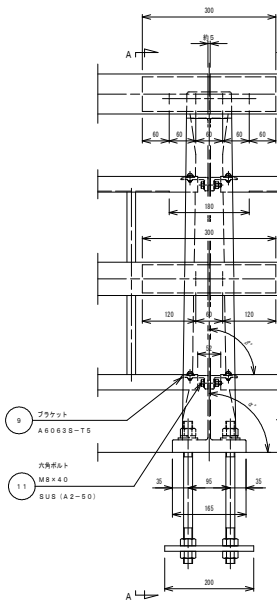
高欄兼用車両防護柵取付詳細図　S＝1／6

KSL－C－LBR2－850

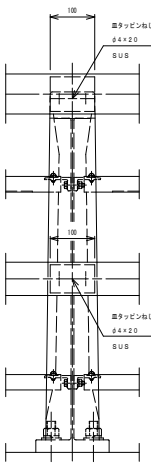
A－A断面



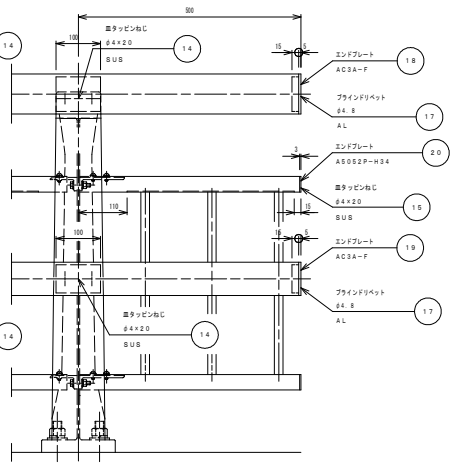
B－B断面



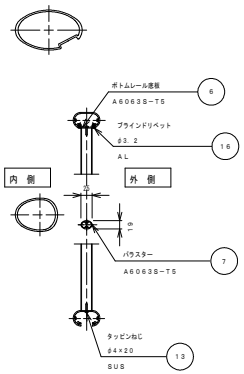
通し部



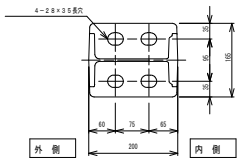
端　部



C－C断面



ベース部詳細



	α°	β°
レベル	90°00'	90°00'
2%R	－	88°51'
3%R	88°17'	－
2%L	－	91°09'
3%L	91°43'	－

構造用ビーム型防護柵は、（一社）全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。

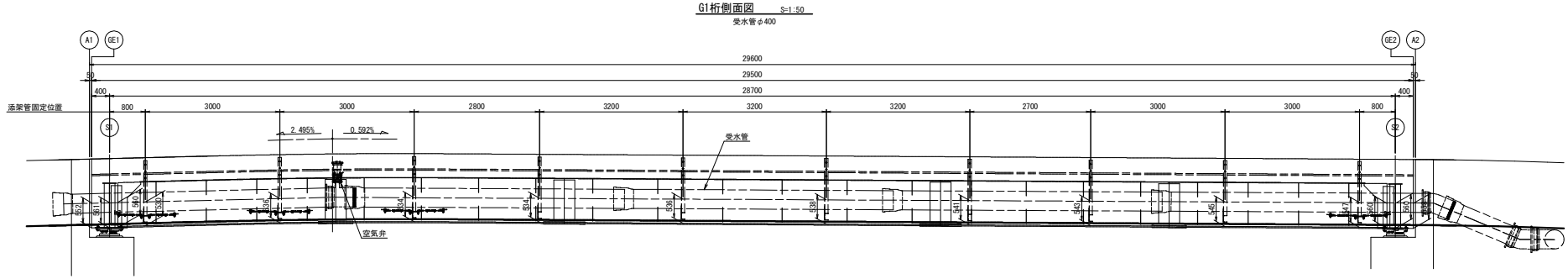
	部　材	表面仕上	仕上色	備　考　AM－21021
防護柵	アルミニウム押出部材	陽極酸化塗装複合皮膜（A2）	未　定	
	アルミニウム合金鋳物	アクリル樹脂焼付塗装（20μm以上）	未　定	
	アンカーボルト類	HDZ35	――	

年　度	令和5年度	縮尺	図示
河川名	二級河川 牛滝川		
委託名	二級河川 牛滝川 構造詳細設計委託(令木高槻)4		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図面名	防護柵詳細図		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大阪府岸和田土木事務所			

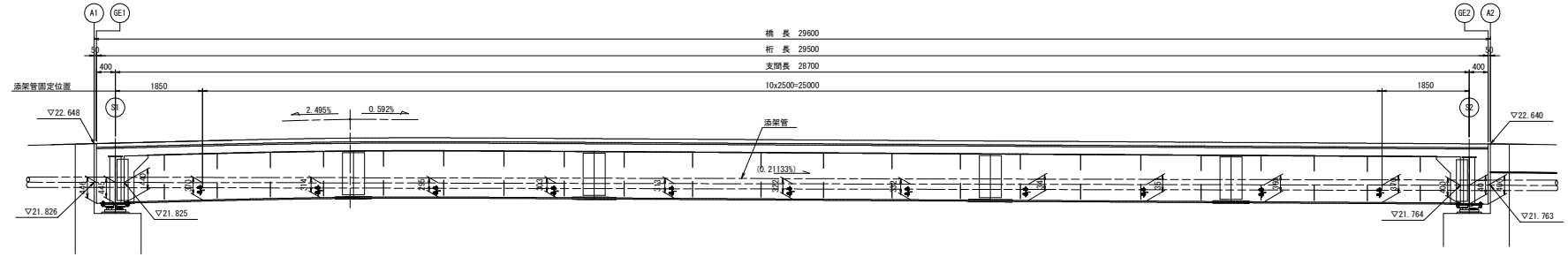
R7 62

添架物支持金具詳細図(その1)

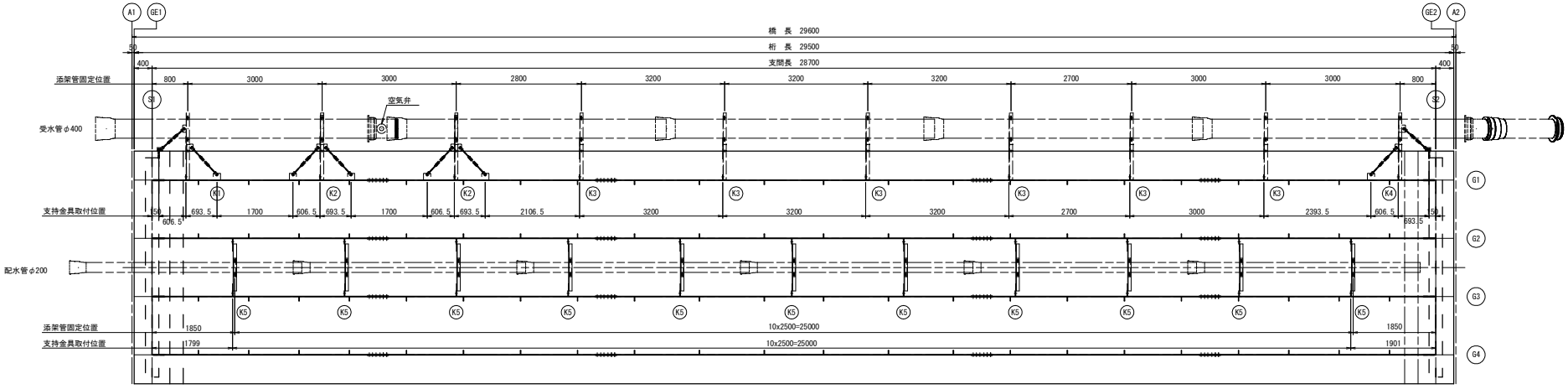
G1桁側面図 S=1:50



G2,G3桁側面図 S=1:50



平 面 図 S=1:50



注)

1. 配水管φ200の空気弁は、A1橋台背面の土工部に設ける。
2. 橋梁前後の取合いは、水道管移設詳細設計を確認すること。

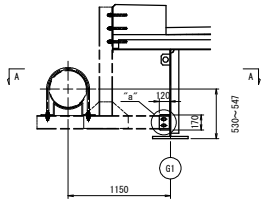
年 度	令和5年度	縮尺	図示
河 川 名	二級河川 牛滝川		
委 託 名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(寺木高柳4)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図 面 名	添架物支持金具詳細図(その1)		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大 阪 府 岸 和 田 土 木 事 務 所			

R7_63

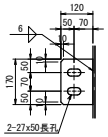
添架物支持金具詳細図(その2)

支持金具詳細図　S=1:30

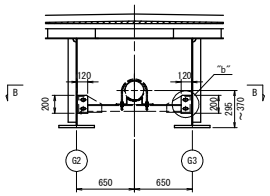
G1桁



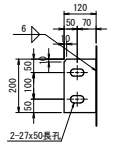
"a"部詳細　S=1:10



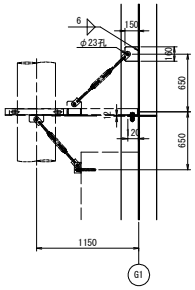
G2桁～G3桁間



"b"部詳細　S=1:10

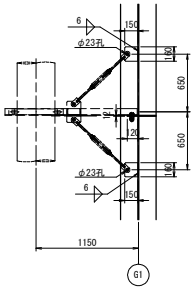


A－A
K1,K4



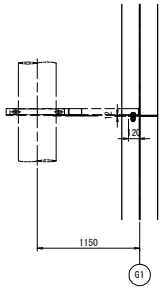
<製作数:2>
1-PL 150x 9x160
1-PL 120x12x170

A－A
K2



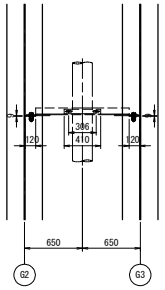
<製作数:2>
2-PL 150x 9x160
1-PL 120x12x170

A－A
K3



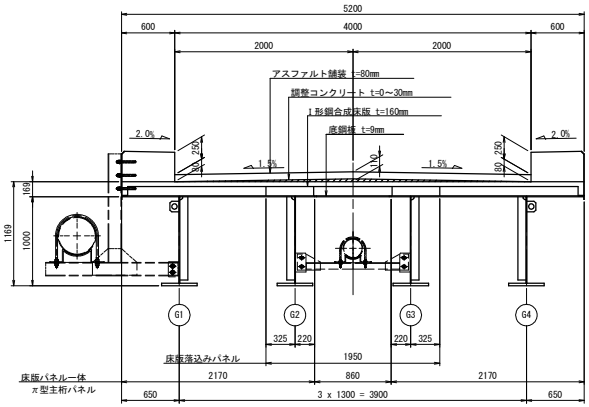
<製作数:6>
1-PL 120x12x170

B－B
K5



<製作数:11>
2-PL 120x 9x200

標準断面図　S=1:30



注)

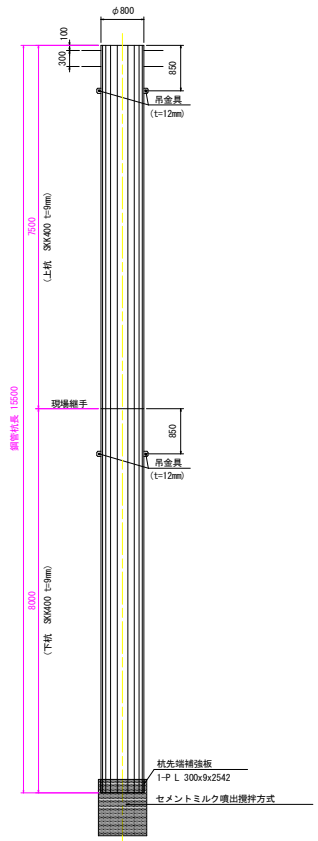
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

年　度	令和5年度	縮尺	図示
河川名	二級河川 牛滝川		
委託名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(寺木高柳IC)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図面名	添架物支持金具詳細図(その2)		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大阪府岸和田土木事務所			

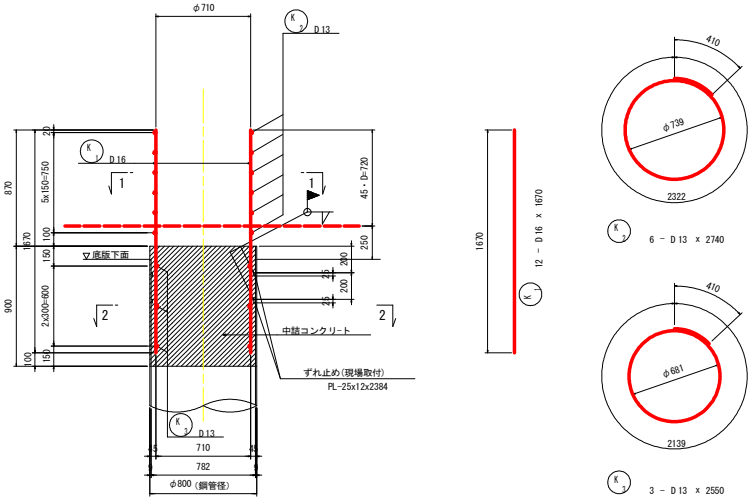
R7 64

A1橋台鋼管杭詳細図　S=1:20

鋼管構成図　S=1:50



杭頭詳細図

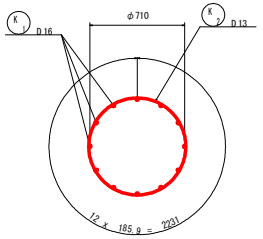


材　料　表　（杭1本当り）

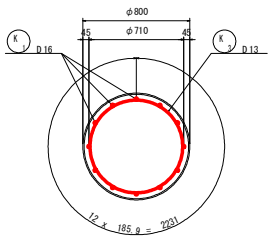
項目	形状寸法	単位質量	質量	単位	員数	数量	材質	摘要
鋼管杭								
上杭	φ800x9x7500	176	1320	kg	4	5280	SKK400 相当品	鋼管本体
下杭	φ800x9x8000	176	1408	kg	4	5632	SKK400 相当品	鋼管本体
				合計		10912	kg	
杭頭鉄筋								
K1	D16x1670	1.56	2.61	kg	12	31	SD345	中詰め補強主鉄筋
K2	D13x2740	0.995	2.73	kg	6	16	SD345	中詰め帯鉄筋
K3	D13x2550	0.995	2.54	kg	3	8	SD345	中詰め鋼管内帯鉄筋
					D16	31	kg	
					D13	24	〃	
				合計		55	kg	
杭頭付属部品								
PL	PL-25x12x2384	----	5.61	kg	2	11.22	SS400	ずれ止め
PL	PL-25x9x50	----	0.0883	kg	6	0.53	SS400	ストッパー
				合計		11.75	kg	
現場継手付属部品								
PL	PL-50x4.5x2443	----	4.31	kg	1	4.31	SS490	裏あてリング
PL	PL-6x12x30	----	0.0170	kg	6	0.10	SS490	ストッパー
				合計		4.41	kg	
杭先端付属部品								
PL	PL-300x9x2542	----	53.87	kg	1	53.87	SS400	杭先端補強板
				合計		53.87	kg	
吊金具								
PL	PL-100x12x120	----	1kg(個あたり)	kg	4	4	SS400	吊金具
				合計		4	kg	

注　記　：　杭先端処理方法に応じた材料は別途積算とし、上記には含まない。

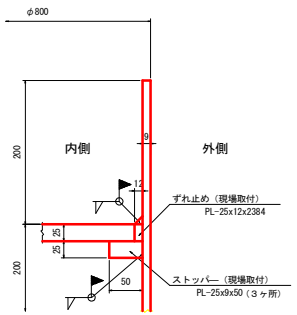
1 — 1



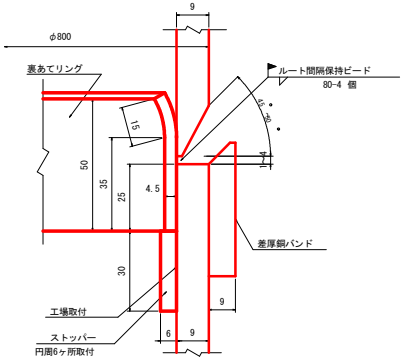
2 — 2



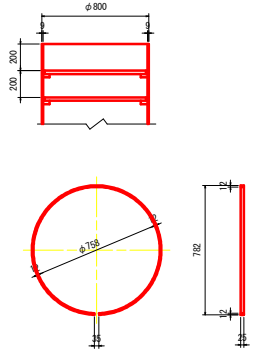
ずれ止め取付詳細図　S=1:4
（現場取付の場合）



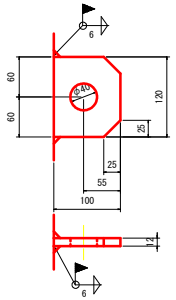
現場円周溶接継手詳細図　S=1:1



ずれ止め取付図

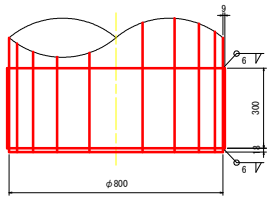


吊金具詳細図　S=1:4
（最大吊荷重３ｔｏｎ以下）

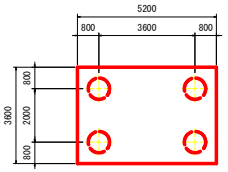


杭先端補強板　S=1:10

1-PL 300x9x2542



位　置　図　S=1:100

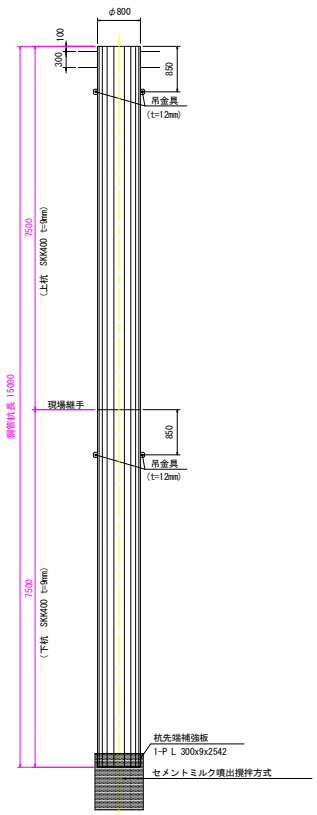


年　度	令和5年度	縮尺	図示
河川名	二級河川 牛滝川		
委託名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(牛太高橋R4)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図面名	A1橋台鋼管杭詳細図		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大阪府岸和田土木事務所			

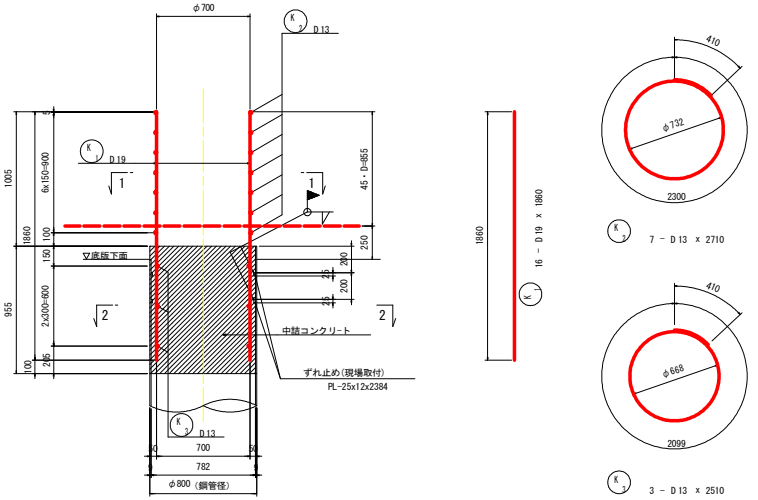
R7_65

A2橋台鋼管杭詳細図　S=1:20

鋼管構成図　S=1:50



杭頭詳細図

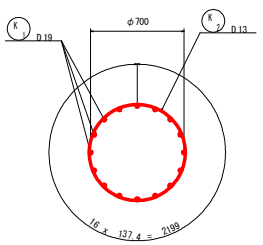


材　料　表　（杭1本当り）

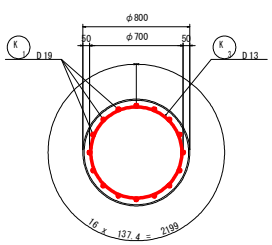
項目	形状寸法	単位質量	質量	単位	員数	数量	材質	摘要
鋼管杭								
上杭	φ800x9x7500	176	1320	kg	4	5280	SKK400 相当品	鋼管本体
下杭	φ800x9x7500	176	1320	kg	4	5280	SKK400 相当品	鋼管本体
				合計		10560	kg	
杭頭鉄筋								
K 1	D19x1860	2.25	4.19	kg	16	67	SD345	中詰め補強主鉄筋
K 2	D13x2710	0.995	2.70	kg	7	19	SD345	中詰め帯鉄筋
K 3	D13x2510	0.995	2.50	kg	3	8	SD345	中詰め鋼管内帯鉄筋
					D19	67	kg	
					D13	27	〃	
				合計		94	kg	
杭頭付属部品								
P L	PL-25x12x2384	----	5.61	kg	2	11.22	SS400	ずれ止め
P L	PL-25x9x50	----	0.0883	kg	6	0.53	SS400	ストッパー
				合計		11.75	kg	
現場継手付属部品								
P L	PL-50x4.5x2443	----	4.31	kg	1	4.31	SS490	裏あてリング
P L	PL-6x12x30	----	0.0170	kg	6	0.10	SS490	ストッパー
				合計		4.41	kg	
杭先端付属部品								
P L	PL-300x9x2542	----	53.87	kg	1	53.87	SS400	杭先端補強板
				合計		53.87	kg	
吊金具								
P L	PL-100x12x120	----	1kg(個あたり)	kg	4	4	SS400	吊金具
				合計		4	kg	

注　記　：　杭先端処理方法に応じた材料は別途積算とし、上記には含まない。

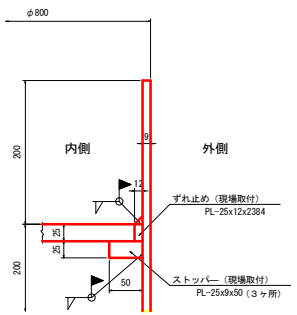
1 — 1



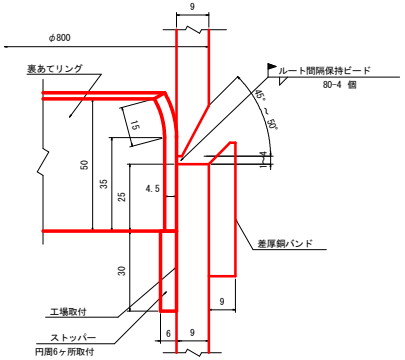
2 — 2



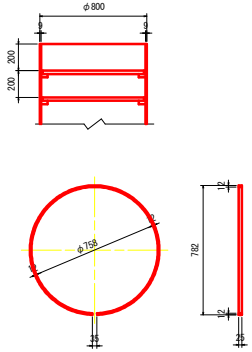
ずれ止め取付詳細図　S=1:4
（現場取付の場合）



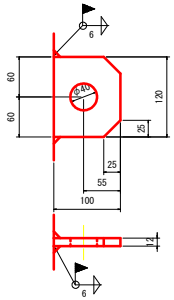
現場円周溶接継手詳細図　S=1:1



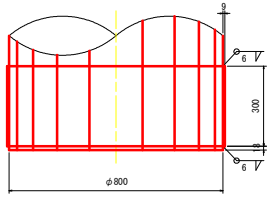
ずれ止め取付図



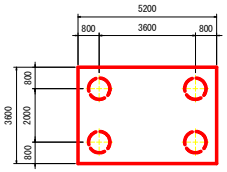
吊金具詳細図　S=1:4
（最大吊荷重３ｔｏｎ以下）



杭先端補強板　S=1:10
1-PL 300x9x2542



位　置　図　S=1:100



年　度	令和5年度	縮尺	図示
河川名	二級河川 牛滝川		
委託名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(牛木高畑R4)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図面名	A2橋台鋼管杭詳細図		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大阪府岸和田土木事務所			

R7_66

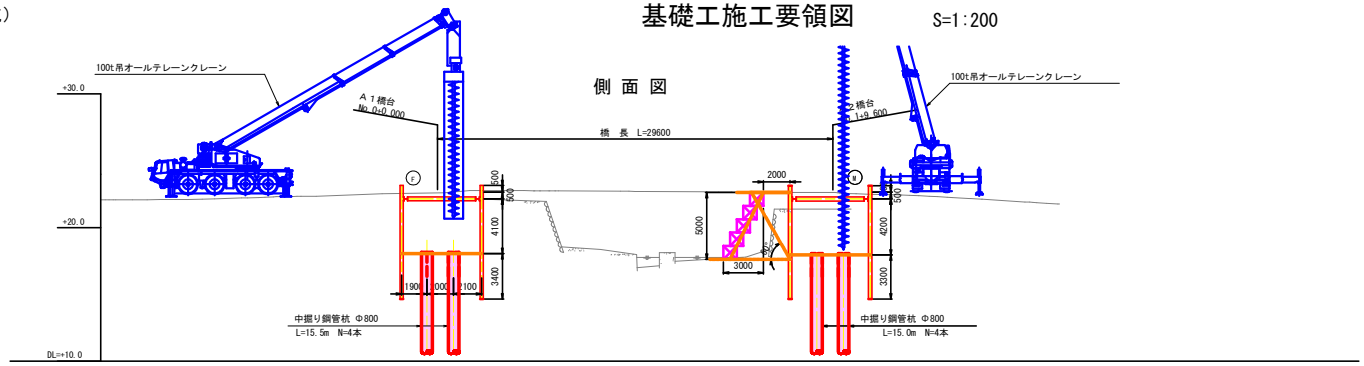
土留工設置、杭打設（中掘り鋼管杭）

基礎工施工要領図

S=1:200

凡例）
河　川：
道　路：
施工中：

側面図



100ｔ吊オールテレーンクレーン定格総荷重表

（アウトリガ最大張り出し：7.2m）

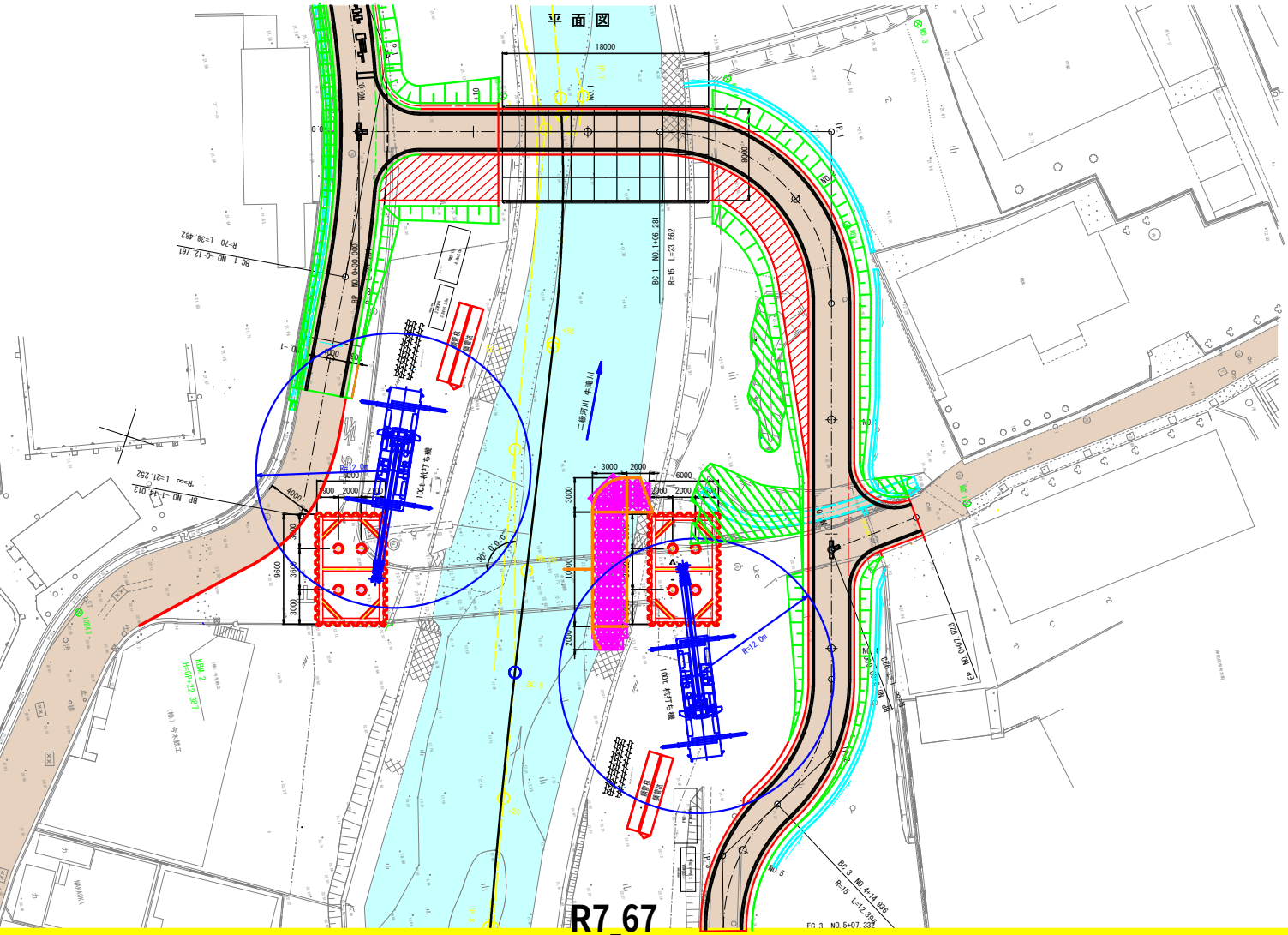
ブーム長さ	10.60	17.80	25.00
作業半径	定格総荷重	定格総荷重	定格総荷重
8.00	37.70	39.00	29.40
9.00		34.50	26.70
10.00		30.50	24.40
11.00		26.40	22.40
12.00		23.00	20.80
14.00		18.00	17.90
16.00			14.50
18.00			12.10
20.00			10.20
22.00			8.80

全体吊重量15.7t ＜ 20.8t ≪OK≫
鋼管杭2.7t+フック0.7t=3.4t ＜ 8.8t ≪OK≫

施工フロー

- 水路付替、ヤード整地、仮橋支持杭打設
- 仮橋上部工架設
- 迂回路整備
- 地下埋設物及び架空線移設
- 既設橋上部工撤去
- 既設橋下部工撤去
- **土留工設置、杭打設（中掘り鋼管杭）**
- 橋台工
- 土留工撤去、橋台前面の護岸設置
- 上部工架設
- 道路施工、交通切替
- 仮橋上部工撤去
- 仮橋支持杭引抜
- 河川整備

平面図

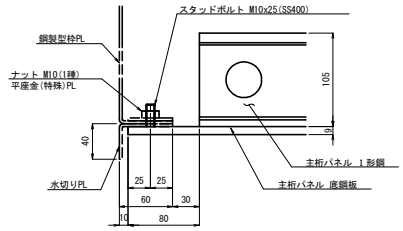


R7_67

年　度	令和5年度	縮尺	図示
河川名	二級河川 牛滝川		
委託名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(今木高架橋4)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図面名	基礎工施工要領図		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大阪府岸和田土木事務所			

共通詳細図

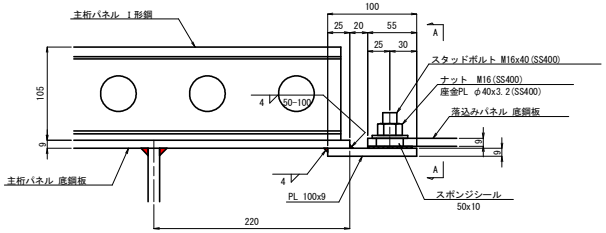
鋼製型枠取付部詳細図 S=1:3



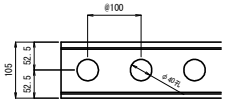
1 - STUD BOLT M10x25(SS400)

※スタッドボルト以外は鋼製型枠で計上する。

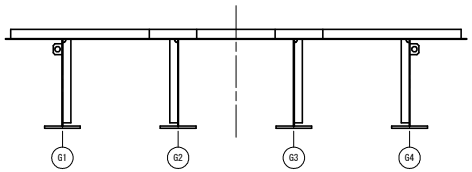
落込みパネル受部詳細図 S=1:3



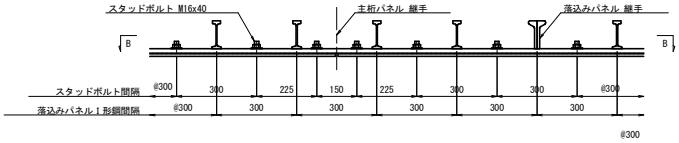
I形鋼ずれ止め用孔詳細図 S=1:5



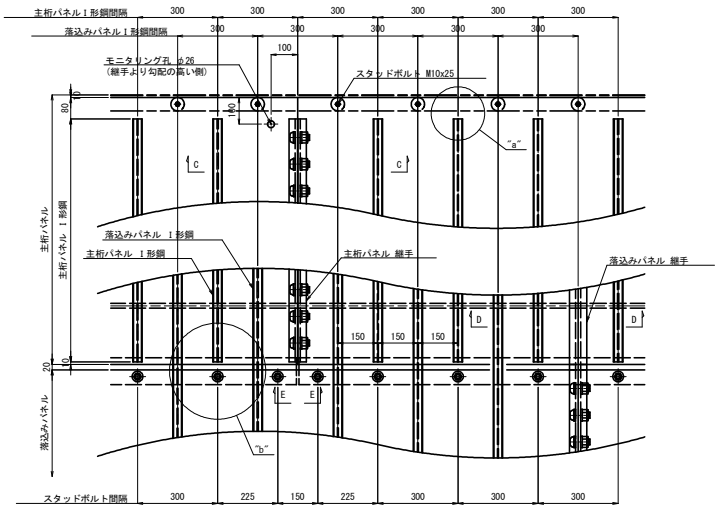
吊金具・垂直補剛材設置図



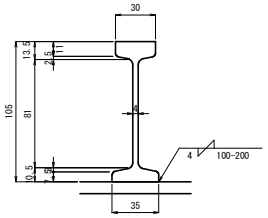
A - A S=1:10



B - B S=1:10

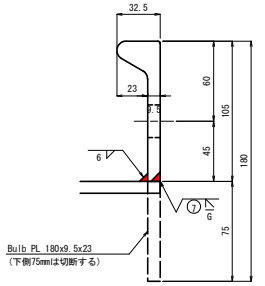


I 形鋼詳細図 S=1:2



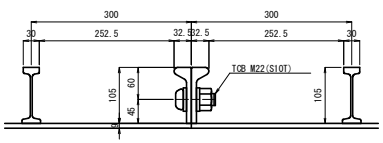
材質 : SS400

底鋼板継手詳細図 S=1:2

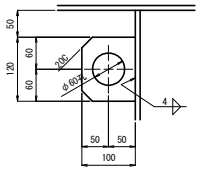


C - C S=1:5

主桁パネル(落込みパネル)

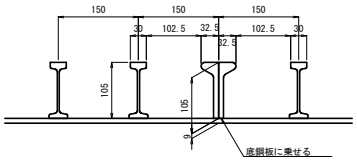


吊金具詳細図 S=1:5

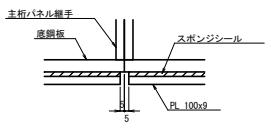


1-PL 100x9x120

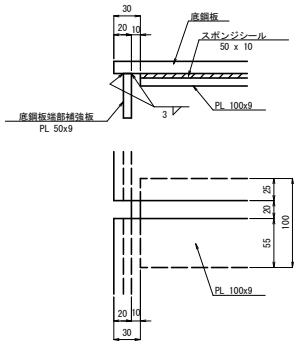
D - D S=1:5



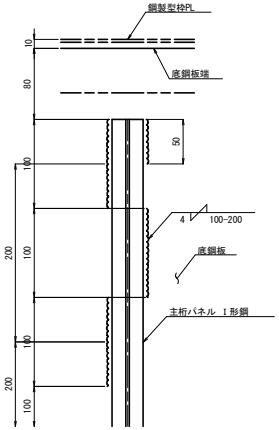
E - E S=1:3



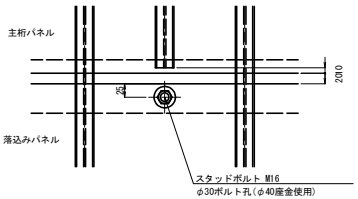
底鋼板端部補強板詳細図 S=1:3



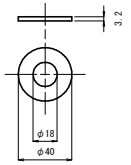
"a"部詳細図 S=1:3



"b"部詳細図 S=1:5



座金詳細図 S=1:2



1-PL φ40x3.2(SS400)

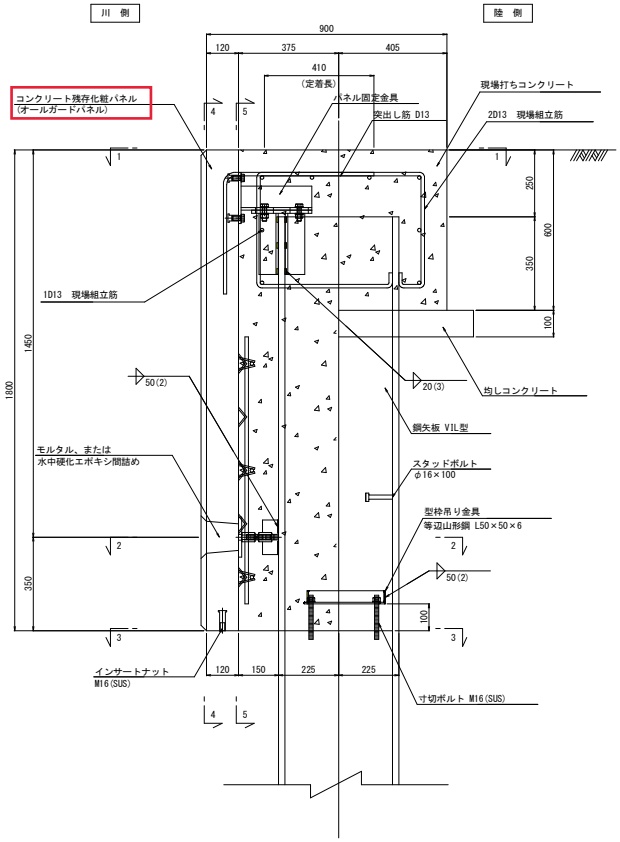
注)

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 施工後の隙間は、現場にてシーリングすること。
3. スポンジシールは、取付ナット締め付けにより十分につぶすこと。
4. スタッドボルト、ナット、座金は、溶融亜鉛めっきを施す。膜厚は JIS H 8641 HDZT49 とする。

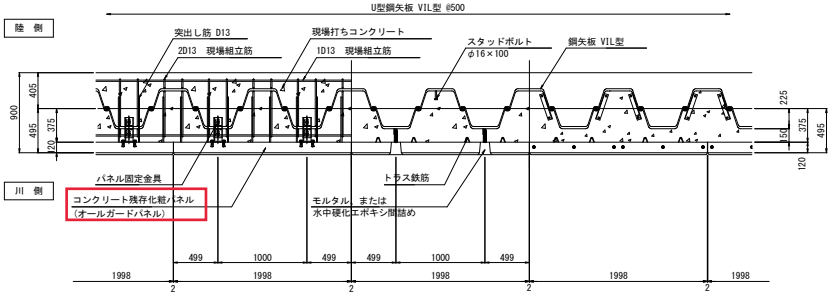
年 度	令和5年度	縮尺	図示
河 川 名	二級河川 牛滝川		
委 託 名	二級河川 牛滝川 橋梁詳細設計委託(寺木高柳IC)		
委託場所	大阪府岸和田市東大路町地内		
図 面 名	共通詳細図		
作成年月	令和 5年 9月	図面番号	/
大阪府岸和田土木事務所			

プレキャスト笠コンクリート構造図

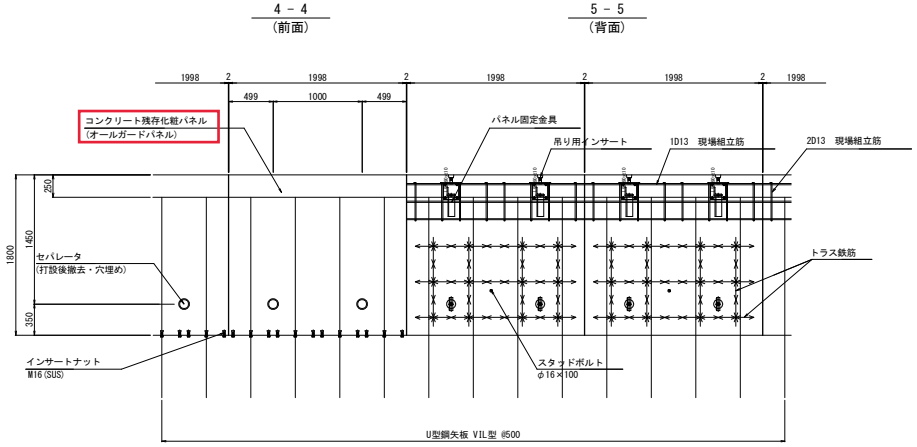
断 面 図　S=1：10



平 面 図　S=1：30

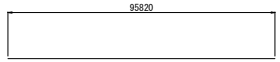


正 面 図　S=1：30

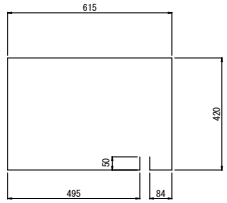


配筋加工図（現場組立筋）

1D13×95820 n=8



2D13×2134 n=384



鉄筋表（SD345）　96.0m当り

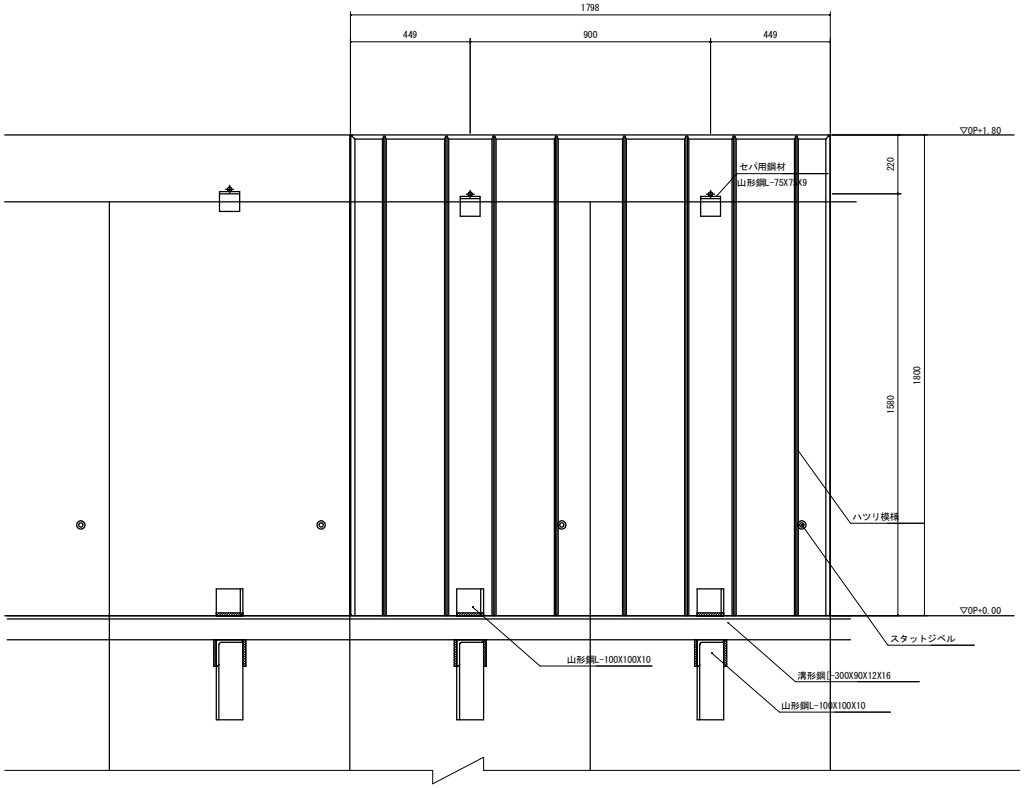
記 号	径	長 さ [mm]	本数 [本]	単位重量 [kg/m]	1本当り 重 量 [kg/本]	重 量 [kg]	摘 要
1	D13	95820	8	0.995	95.34	762.72	
2	D13	2134	384	0.995	2.12	814.08	
合計						1576.80	

プレキャスト笠コンクリート構造図(2/2)

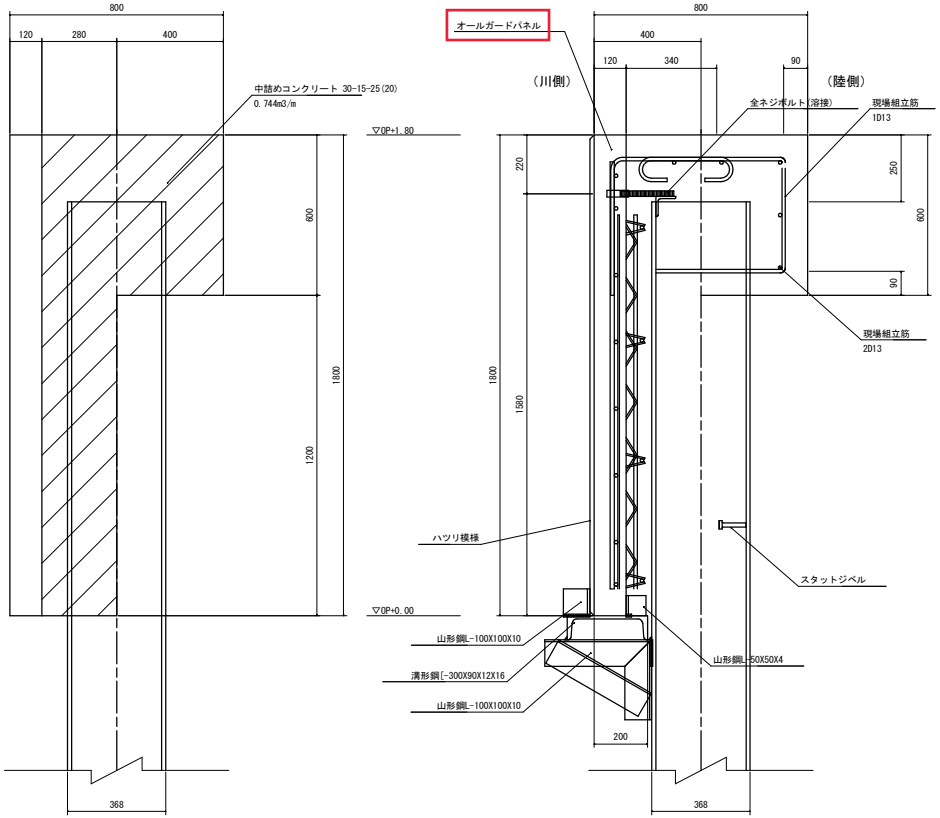
S=1:10

【F区間】

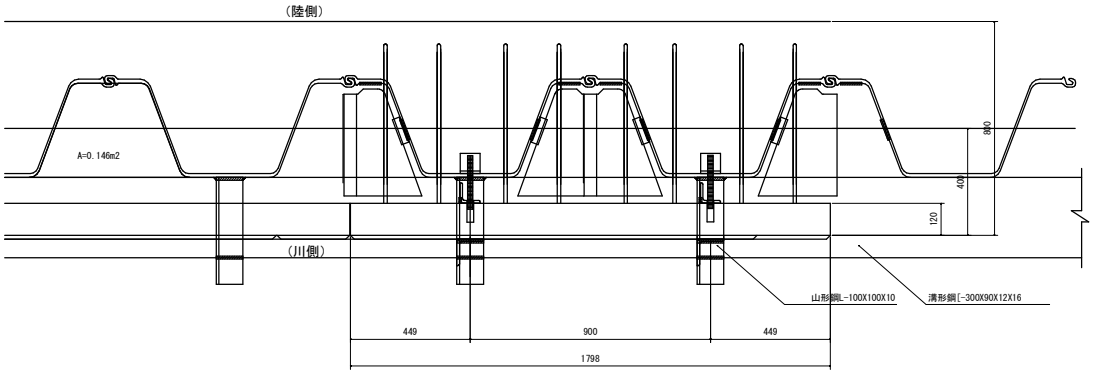
正 面 図



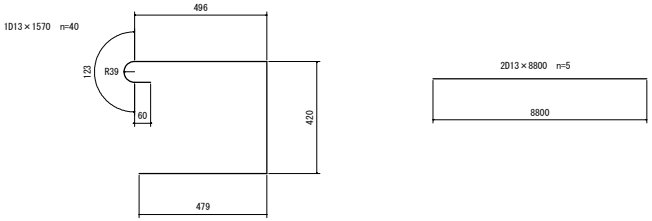
断 面 図



平 面 図



配 筋 加 工 図



鉄筋表(SD345)　　1スパン当り(9m当り)

記 号	径	長 さ [mm]	本数 [本]	単位重量 [kg/m]	1本当り 重 量 [kg/本]	重 量 [kg]	摘 要
1	D13	1570	40	0.995	1.56	62.40	
2	D13	8800	5	0.995	8.76	43.80	
合計						106.20	

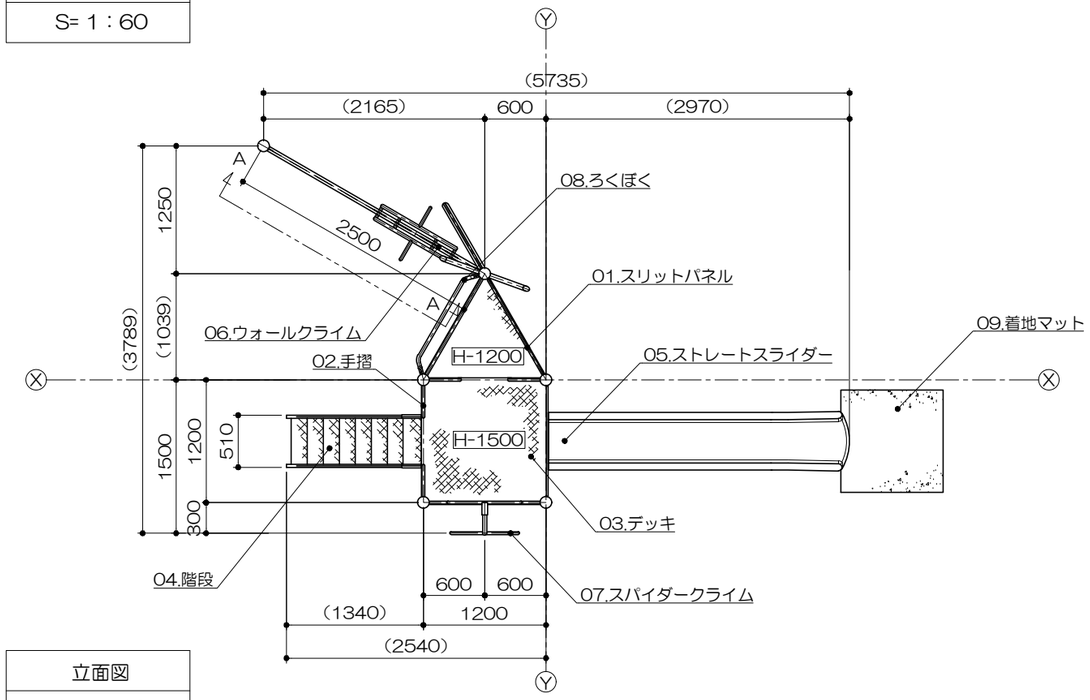
PG33-SC110+マット付

ウッドツリー

S=図示 (K)

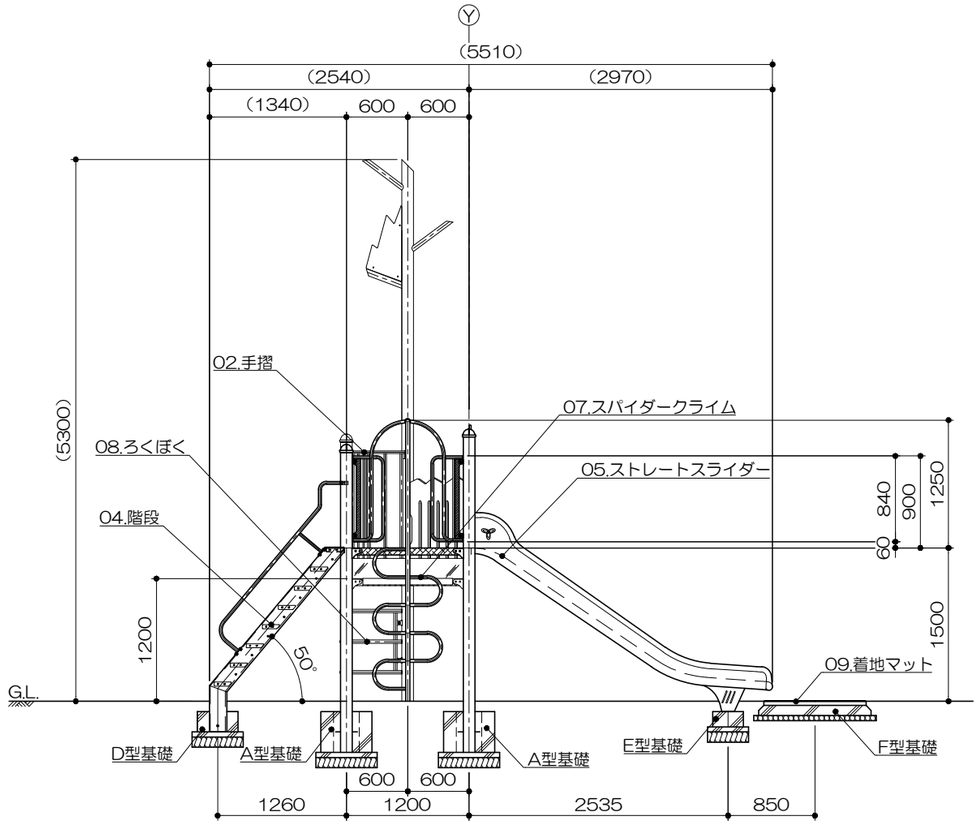
平面図

S= 1：60



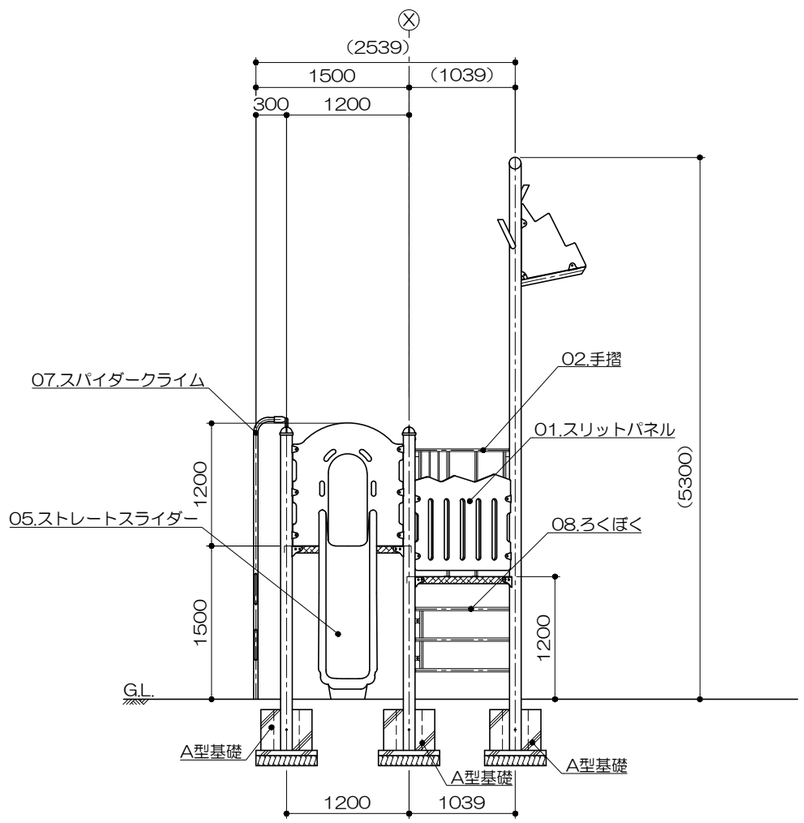
立面図

S= 1：60



側面図

S= 1：60



アイテムリスト

No	アイテム名	主要部材	数量	
01	スリットパネル	ポリエチレン樹脂板（GR） t=19mm	1	基
02	手摺	手　摺：27.2φ 手摺子：RB-13φ	／	／
03	デッキ	C・PL-3.2t	／	／
04	階段	手　摺：27.2φ ささら：PL-3.2t曲げ加工品（スーパースチール） 踏　板：C・PL 曲げ加工品 （溶融亜鉛メッキ仕上・無塗装）	1	基
05	ストレートスライダー	低密度ポリエチレン樹脂回転成型品（TPo-A）黄	1	基
06	ウォールクライム	PL-3.2t アルミにぎり（両面）	1	基
07	スパイダークライム	42.7φ 27.2φ	1	基
08	ろくぼく	34.0φ	1	基
09	着地マット	弾性ゴム製　t=45mm（M004・GR）	1	枚

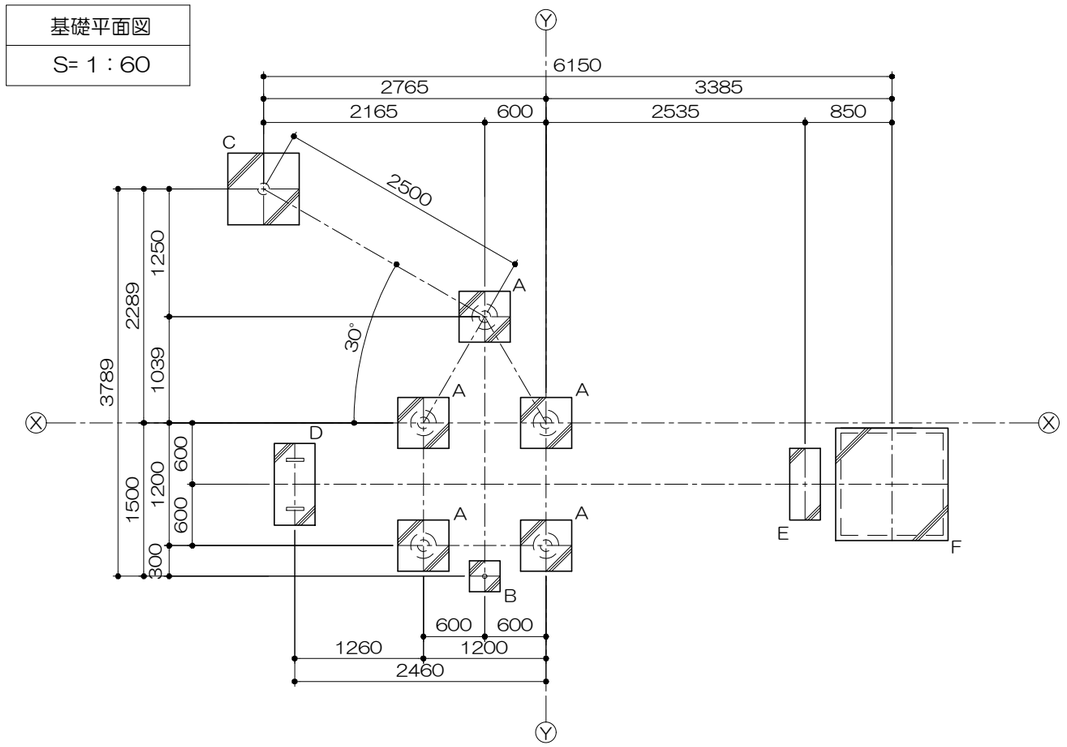
PG33-SC110+マット付

ウッドツリー

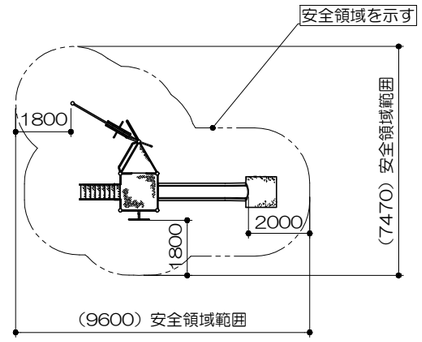
S=図示　（K）

特記事項（1）
塗装　下地：ジンクロメートメッキ（スーパースチール部は除く）
　　下塗：特殊エポキシ樹脂系プライマー塗装
　　仕上：合成樹脂高温焼付塗装
ボルト・ナットは全てジンクロメートメッキとする。
スーパースチールは高耐食メッキ材とする。
樹脂製スライダー部分については、素材及び製作方法の特性上、
形状寸法が若干異なる場合があります。
製品は、ISO9001・ISO14001両規格認証取得企業で製造された製品とする。
製品は、SP表示認定企業で製造された製品とする。
製品は、（一社）日本公園施設業協会・団体賠償責任保険に加入した製品とする。
製品は、（一社）日本公園施設業協会が策定した
「遊具の安全に関する規準（JPFA-SP-S：2024）」に適合した製品とする。
製品の対象年齢は、6～12歳とする。

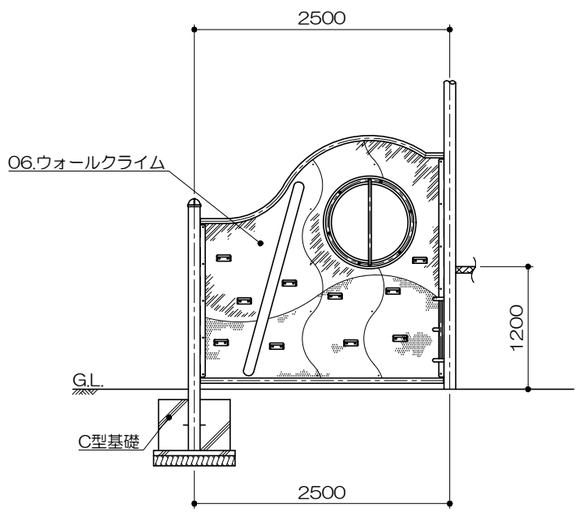
基礎平面図
S= 1：60



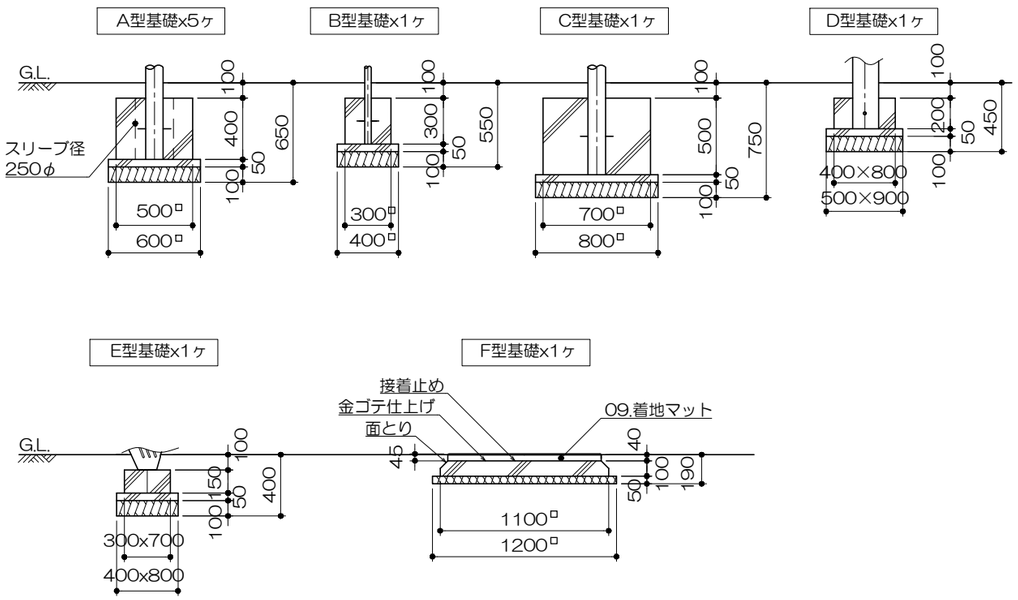
安全領域範囲
S= 1：200



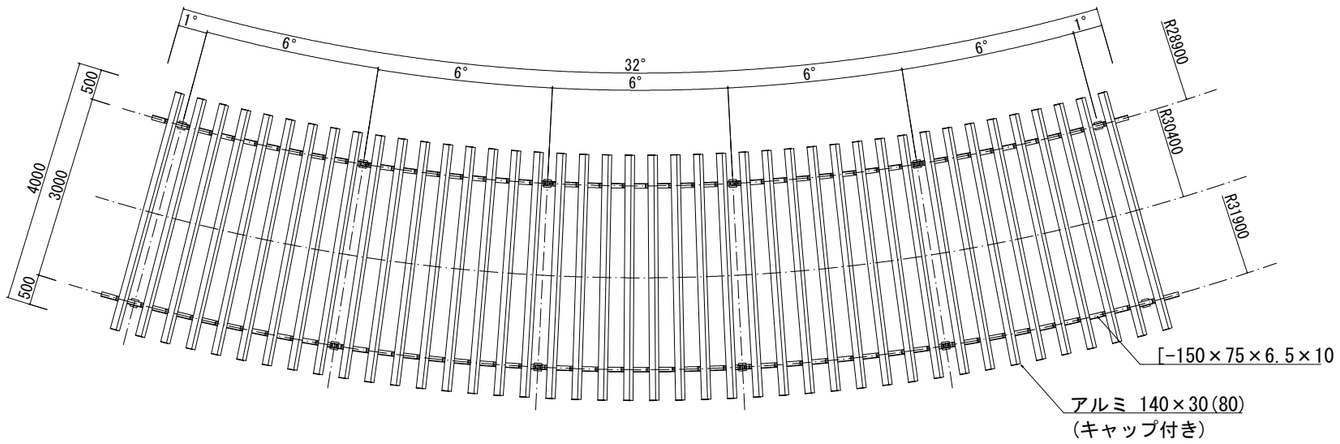
A-A矢視図
S= 1：60



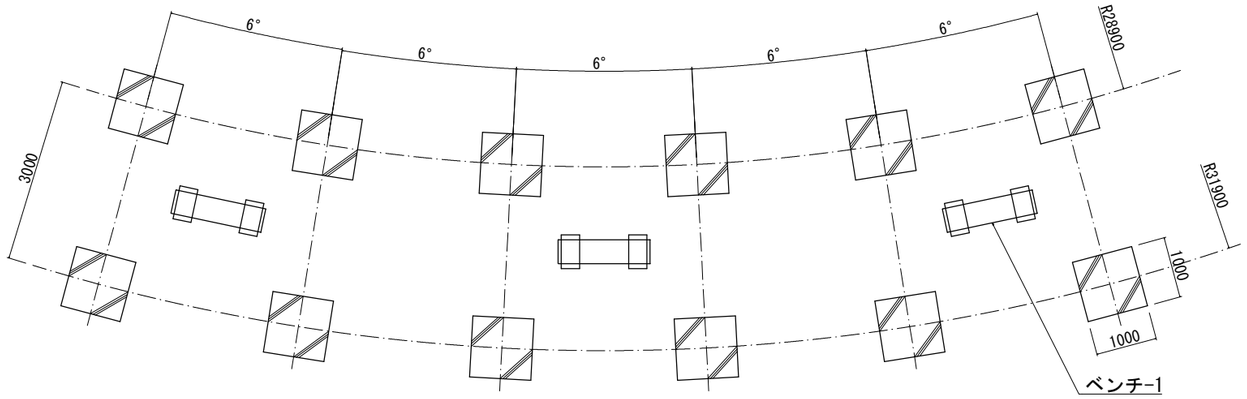
基礎リスト
S= 1：40



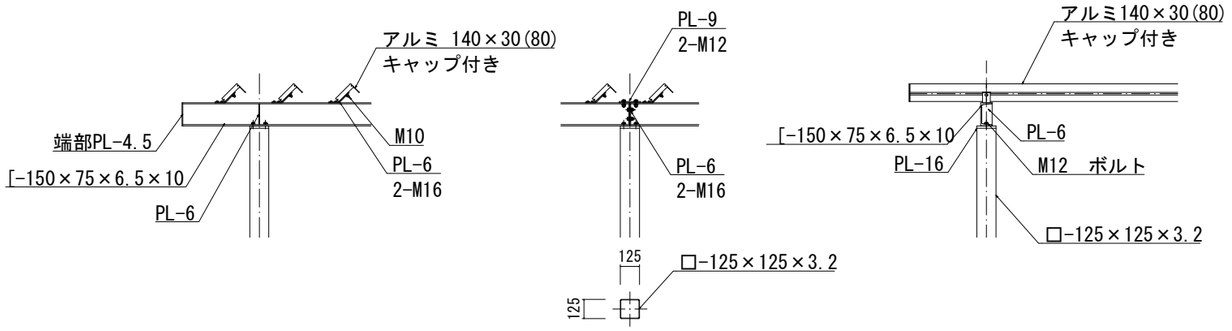
パーゴラ



平面図　S=1:50



基礎伏図　S=1:50



各部詳細図　S=1:20

仕　様

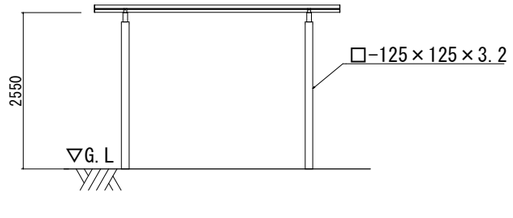
xsm0.8;ルーバー：アルミ押出形材
アルマイト処理、合成樹脂焼付塗装仕上げ
茶色（近似色 日塗工 15-40H）
端部キャップ処理(キャップの厚みは表示寸法に含めない)

鋼材部 ： 溶融亜鉛メッキ下地、塗装仕上げ
濃灰色（近似色　日塗工　Ｎ－３０）
ボルト類：ボルトはSUS(アンカーボルト除く)とする。

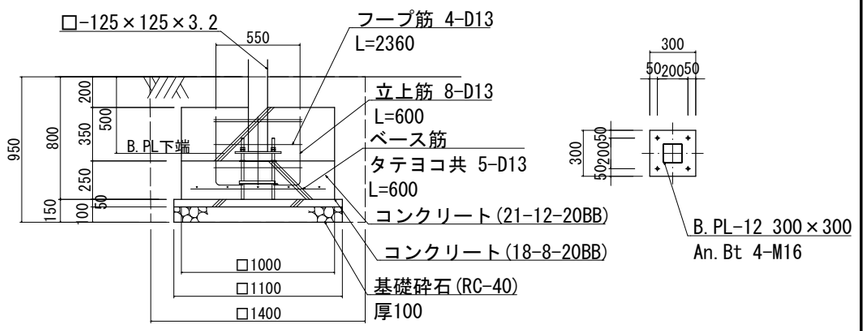
設計条件
積雪荷重　　:29cm（一般地域）、1cmにつき20N/m
風圧力の検討 :基準風速 Vo=32m/秒、地表面粗度区分3
基礎の検討　:長期地耐力＝50kN/m
遮光率　:70%以上

特記事項
・本体は、㈱サカヱ DSFT-164172A 同等品以上とし、施工に先立ち承認図等を提出のうえ監督職員に承認を得ること。
・本製品は（一社）日本公園施設業協会によるＳＰ、又はＳＰＬ表示認定企業の製造品とする。

sm0.8;・本製品は（一社）日本公園施設業協会による公園施設団体賠償責任保険制度の加入品とする。



立面図　S=1:50



基礎詳細図　S=1:20